

ト思ヒ希望スル所ハ既ニ述ヘラレマシタカラ其點ハ繰返ヘシマセ
又唯タ一言添ヘテ置クノハ人ノ精神即チ一人前ニ爲ル一人前ノ精
神ニ爲ルト云フノハドノ位ノ所テ爲ルカト云フト之ハ餘程普通ノ
考ヨリ遲イノテアリマス十二歳或ハ十四、五歳ノ所デ餘程智慧ハ
付テ參リマス智慧ノ分量ハ餘程多ク爲リマス從ツテ是非ノ辨別之
ハ善イ之ハ悪ルイト云フ分別モ餘程能ク出來ル、ソレガ出來ルニ
モ拘ハラス尙ホ犯罪チスル犯罪ト言ヘストモ親ノ叱リチ蒙ルヤウ
ナ事チ仕出カスノハ何ンテ仕出カスノカ是非ノ辨別ガ出來タラ仕
サウモナイモノテアルト一寸思ヘルノテアリマスガ是非ノ辨別カ
出來ルニモ拘ハラス、サウ云フ事チスルノハ裁決之ヲ決定スル能
力カ薄イノテアリマス殊ニ此十四、五歳ノ頃ハ感動力強クシテ其
時ノ感情ニ因テ行爲カ支配サレ裁決スルト云フ能力ノ方ガドウモ
乏シイカラ何時モ感情ノ爲ノニ行爲カ支配チサレテ十分是非チ其

場合ニ臨ンテ考ヘテヤルコトガ出來ヌコトガ多イノテアリマス現
ニ過日モ或ル尋常中學ノ生徒ガ修學旅行チシマシテ宿屋ニ泊ツテ
居ルトキニ斯ウ云フ事チシテ居リマス今夜皆眠ラヌヤウニ若シ眠
ツタナラハ罰トシテ食チ据ヘルト云フ斯ウ云フ約束チシマシタ、
サウシテ居ツタケレトモ段々眠タクナリマシタカラ耐ヘ難イ奴ハ
あちらノ隅こちらノ隅テ眠ムルヤウニ爲ツタ、サウスルトモら來
タト云フノテ得意ニ爲ツテ食チ以テ或ハ眉間ニ据ヘ或ハ鼻ノ上ニ
据ヘ足ニ据ヘ指ニ据ヘタノテアリマス、モウ尋常中學ノ生徒テス
カラ十五、六歳落第シタノハ十七歳位ノ者モ遁入ツテ居リマス其
仲間テ鼻ノ上ニ灸紋チ遺スト云フ恐レノアルニ拘ハラヌ一時ノ興
ニ乘シテ鼻ノ上ニ据ヘ眉間ニ据ヘルト云フノハ裁決力ガ乏シイ勢
ニ乘シテヤル惡ルイ事ト云フコトハちやんと知ツテ居ルカ其時ニ
ハ判断力カ乏シイ犯罪チヤルノモ丁度其通りテアリマス其犯罪ノ

當時ニハ是非ノ辨別ハ常ニハアツテモ其時ニハナイ、ソレテ法廷
テ罰ヘラレテ居ルトキハ必ス悪ルイ事ヲシマシタト云フコトヲ言
フニ違ヒナイ其辨別カアルニ拘ハラヌ罪ヲ犯ス當時ハ十分働カナ
イ即チ裁決ガ出来ナイ、サウ云フ次第デ犯罪チスル言ヒ換ヘレバ、
マダ精神ガ内容ハ發達チスルガ當リ前ノ所マテ發達チシナイ殊ニ
教育ノ宜シクナイ或ハ身體ノ發育力變分病氣ノ爲メニ妨ケラレタ
ト云フヤウナコトガアルト尙ホ相違チ生シテ來マス、テアリマス
カラ現在ノ所ヨリハ餘程智慧ノ發達力遅レテ全ク完全ノ智慧チ備
ヘルト云フノニハ二十歳以上殊ニ二十歳前ノ所十五、六歳氣發動
期、色情ノ發スル所ト發セナイ所ト此處ガ最モ相違ノ生スル界テ
アリマス日本テ其界ハドコニアルカナラバ十五、六歳ニアリマス
病氣ノ上デモ小兒科ト云フ内テモ子供ノ病氣トシテ扱ウノハ十五、
小兒科ニ扱ウ時期ハ十五ソレテ十四、五、六ト云フ所ハ十五テナ

ケレバナラヌ十七テハ往ケナイト云フはつきリシタ界ハアリマセ
ヌガ兎ニ角現在ノ所ヨリハ精神ノ發達ノ上ヨリ伸ハス方ガ結果ガ
宜シイト思ヒマス兎角一時ノ感情テ犯罪チスルノモゴザイマセウ
カラ感化ト云フヤウナ事ニ力チ盡セハ效カアル又囚人トシテ扱ヒ
罪人ト一緒ニスレバ悪ルイ事ニ染ム智慧カアツテ、サウシテ悪ル
イ者ト一緒ニ爲レハ善イ方ヨリ悪ルイ方ニ進ム方ノ早イノハ人間
ノ普通ト言ツテ宜シイ位テアリマス罪人ト短イ間一緒ニシテ置ク
ト云フコトハ最モ恐ルヘキテアリマス改良シ得ヘキ望ノアル人間
モソレカ爲メニ悪ルイ方ニ陥ルト云フ恐レカアリマス其結果ノ悪
ルイコトハ小河君ノ言ハレタ通り全ク其處ニ在ルト思ヒマス故ニ
精神ノ發達上是非ノ辨別力カアルニモ拘ハラヌ犯罪チヤルト云フ
風テアリマスカラ兎ニ角十五歳位マテ伸ハス方ガ宜イト思ヒマス
萬國刑法會議デアレ兎ニ角今日ノ刑法ノ短キニ過キルト云フコト

ハ皆認メテ居リマスカラ之ハ伸ハスコトニシテ實ヒタイト思ヒマ
ス

議長（横田國臣君） ソレテハ採決シマス先ツ五十四條ノ方ニ付テ
決チ採リマス此五十四條ノ十五歳ト云フノチ十二歳ニスル

石渡敏一君 ソレハ總テ一ツニ爲ツテ仕舞ツタノテハアリマセヌカ
議長（横田國臣君） 一ツ宛ツ採ツテ呉レト云フコトテアリマシタ

ソレニ賛成ノ方ハ起立

起立者 正半數

議長（横田國臣君） 私カ決シナケレハナラヌコトニ爲ツテ來マシ
タ私ハ原案通りノ十五歳ノ方テアリマス

三好退藏君 一寸御尋ネシマスガ今日ハ聯合會テアリマスカラ別ニ
修正案等ハ出サレナイノテアリマスカ

議長（横田國臣君） 聯合會ノ性質テハ往ケナイト思ヒマスソレモ

都合次第テハドウカ知リマセヌガ——ソレテハ此五十四條ガ
十五歳ト云フコトニ爲ツタナラバ五十五條ニ付テ決カ必要テゴザ
イマセウカ

富井政章君 ソレハ不必要ト思ヒマス乍併聯合會ニ於テハ修正カ出
來ナイト云フコトハ了解カ出來マセヌ一ツ議題ガ出テ來テ其議題
ニ付テ可トカ否トカ決セヨト云フ制限的テ付セラレテ居ルノテナ
イ都會モ同シヤウニ議案チ付セラレタノテアリマスカラ之ハ斯ウ
云フ風ニスレバ賛成テアルト云フヤウナコトハ矢張り勝手ニサシ
テ宜ササウニ思ヒマスガ

議長（横田國臣君） ソレハ斯ウテス此五十四條ト云フモノニ付テ
之チ可トスルカト云フコトテ勝手ニ出スト丁度都會ト同シヤウニ
爲ルト思ヒマス若シ都會テ決シタモノチ復タ此處テ修正案トシテ
出スト云フコトニナルト際限カナイ此題號テモ斯ウ斯ウスルチ可

トスルヤト云フ題號デアリマス、ソレチ此處ニ外ノ題チ持ツテ來
ルト間ハナイ事チ聯合會カ決スルヤウニ爲ルト思ヒマス次ノ議題
ノヤウニ此箇條ヲ議シテ吳レト云フヤウナコトナラハソレハ事柄
カ違ヒマスガ私ハサウ解シマス乍併此聯合會ト云フモノテ外ノ論
題チモ決スルト云フコトナラハ——ソレガ多數ナラハ、サウ
シテモ宜シイノデアリマス、ケレトモ私ハソレガ正當ジャト思ヒ
マス議題外ニ爲ラウト思ヒマス

富井政章君 可テモ否テモナイト云フ人ハ起立ハ出來ヌノデアリマ
スカ

議長（横田國臣君） ソレハ何モ分ラヌノデアリマス

三浦 安君 第二ノ問題ハ修正モ勝手ニ出來ルノテゴザイマセウ

議長（横田國臣君） ソレハサウテス

三浦 安君 ソレテハ次チ願ヒマス

議長（横田國臣君） 私ハソレガ正當ト思ヒマス、ケレトモ私ノ言
フ所ガ違ツテ居ルト云フコトナラハ多數ノ御意向ニ從ヒマス

尾崎三良君 私ハ一ツ建議チシマス此第二ノ所デアリマスガ之ハ隨
分重大ナ事件ダカラ

議長（横田國臣君） マダ議題ニ爲ツテ居リマセヌ只今ノ事ニ付テ
別ニ御諭ガナケレバ第二ニ移リマス

尾崎三良君 折角聯合會ヲ議シタ所ガ之ハ餘程重大ナ我國體ニモ關
スルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ故ラニ聯合
會ニ付シテ載イタノデアリマスガ然ニ今日ハドウモ一向出席者モ
少ナシ丸テ聯合會ノ效能カナイ殆ンド部會ニシテモ少ナイ位デア
リマスカラドウゾ之ハ御延バシニ爲ツテ他日ニ願ヒタイト思ヒマ
ス

三浦 安君 至極贊成デアリマス聯合會デアリマスカラ是テ延會チ

希望シマス

議長（横田國臣君）ソレテハ今晚ハ是テ散會シマス

于時午後五時十五分 散會

第七回各部聯合會議事速記録

明治三十二年十二月二十日午後三時四十分開會

出席員

委員	三浦	安君
全	尾崎	三良君
全	都筑	馨六君
全	長谷川	喬君
全	富井	政章君
全	梅	謙次郎君
全	井上	正一君
全	倉富	勇三郎君
全	岡野	敬次郎君
全	古賀	廉造君

委員	平田	東助	君
全	穗積	八東	君
全	龜井	英三郎	君
全	道家	齊	君
全	高木	豐三	君
全	菊池	武夫	君
全	重岡	薰五郎	君
全	江木	衷	君
全	小松原	英太郎	君
全	一木	喜徳郎	君
全	三好	退藏	君
全	小河	滋二郎	君
全	湯河	元臣	君

各聯六ノ二八

委員	石渡	敏一	君
全	河村	讓三郎	君
全	田部	芳	君
全	富谷	銚太郎	君
全	土方	寧	君
全	村田	保	君
全	前田	孝階	君
全	橫田	國臣	君
全	波多野	敬直	君
補助委員	中川	孝太郎	君
全	柏原	興次郎	君
缺席員			
委員	穗積	陳重	君

議長（横田國臣君） ソレデハ是レヨリ開會シマス

富井政章君 私ハ今日ノ議事ニ取掛カル前ニ一寸一言希望ヲ述ヘタ
イト思フノテス先日刑法ノ條文ニ付テ意見ノアル者ハ一月七日マ
デニ申出口刑法ノ議事ハモウ是レデ止メルト云フ通知ヲ受ケマシ
タガソレニ付テ異議ハナイノテス併シ是迄總則ヲ議スル間ニ於テ
止タ趣意丈ケチ極メテ文章ヲ起草委員ニ託シテアルモノガ澤山ア
ルソレハ細カナル點ハドウデモ宜イデスガ刑ノ執行猶豫トカサウ
云フ大キナ事柄ハ文ガ出來タ上デ一應此議事ニ御掛ケニナル御考
ヘデアリマスカ

議長（横田國臣君） 其積リデアリマス

富井政章君 私ハ是迄起草委員ニ託シテアル點ヲ實メテ主モナル點
丈ケ出來タナラバ一應此議ニ掛ケテ戴クコトヲ希望スル

古賀廉造君 其積リデアアル

各聯六ノ二九

議長（横田國臣君） ソレデハ今日ノ案ヲ朗讀サセマス

（書記朗讀）

刑法草案第九十六條ヲ聯合會ノ議ニ付ス

（參照）

第九十六條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スル
コトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス
- 二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ無期又ハ五年
以上ノ禁錮ニ處シ其他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ十年以下
ノ禁錮ニ處ス

- 三 附和隨行其他單ニ暴動ニ干與シタル者ハ五年以下ノ禁錮ニ
處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

尾崎三良君 先日部會ニ於テ此内亂ニ關スル罪ノコトニ付テ圖ラズ
議論ガ起リマシテ是ハ重大ノ件デアアルニ依テ聯合會ノ議ニ付スル
ト云フコトニナツタ此草案ノ第九十六條ハ現行ノ刑法ヲ大抵其儘
採用シタノテスガ現行ノ刑法ガ制定ニナツタノハ明治十二三年頃
デ今ノ憲法政治ノ行ハレヌ時デアツテ政府ト言ヘハ皇室モ宮内省
モ總テ遣入ツテ居ツタソレ故政府ヲ顛覆スルト言ヘハ總テ此中ニ
含ムソレカラ朝憲紊亂ト云フヤウナコトモサウ云フヤウナ意味ニ
解セラレテ居ツタ、所ガ今日ハ憲法ガ行ハレテ以來政府ト朝廷ト
判然區別セラレテ居ル區別セラレテ居ル以上ハ今日ノ刑法ガ昔シ
ト同ジヤウデアツテハ甚ダ宜クアルマイ其内ニ村田君カラ國事犯
ヲ死刑ニ處スルト云フコトハ甚ダ宜シクナイカラ之ヲ止メタイト
云フ御説ガ出マシテ今日文明各國ニ於テハ多クハ死刑ニ處サヌコ
トニナツテ居ル日本許リ此ノ如ク之ヲ極刑ニ處スルト云フコトハ

甚ダ宜シクナイト云フコトデアリマシタ、所ガ此中ノ朝憲紊亂ト
云フヤウナコトハ皇室ノ事ニモ關係スルヤウニナル、デ是ハドウ
カニツニ分ケタラ宜カラウ其ニツニ分ケル精神ハ單ニ今日ノ政府
ヲ顛覆スルトカ或ハ政務ノ執行ヲ妨ケルトカ云フヤウナ部類ハ所
謂國事犯トシテ是ハ死刑ニ入レナイト云フ方ニシテソレカラ所謂
邦土ヲ僭竊スルトカ皇室ニ對シテ皇國ノ順序ヲ變更スルヤウナ目
的ヲ以テヤツタ者ハ是ハ死刑ニ入レルト云フヤウナ工合ニ二ツニ
分ツタ方ガ宜カラウト云フ説デアリマシタガソレハ既ニ起草委員
ノ中ニモサウ云フ説モアツテサウ云フ案モ出來テ居ル是ハ倉富君
カラノ御説デアリマシタ、デ圖ラズモ私共ト暗合シタヤウナ譯テ
アリマスカラドウゾ今日ハサウ云フ風ニ二ツニ分ケタ方ガ適當テ
アラウ尤モ各國ノ國事犯ト云フモノノ中ニハ王國ヲ共和政治ニス
ルト云フヤウナモノモ皆遣入ツテ居ルガ日本デハドウモ普通ノ國

事犯ト一緒ニ看做シテハ日本ノ國情、國體ニ適ハヌテアラウト思ヒマスカラ是ハ別段ニシタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ唯今案ハゴザイマセヌガ丁度倉富君ガ拵ヘラレタ、拵ヘラレタカ何カ知ラヌガ過日御示シニナツタ案ガアルサウテスカラサウ云フ工合ニシタ方ガ宜カラウト思フドウカ是ハ大體ニ於テ御決シニナツテ其文章ハ起草委員ニ任セテ拵ヘテ貰ヒタイ

議長（横田國臣君）一寸尾崎君ニ申シマスガ案モ何モ出來テ居ルノテハナイ唯政府願覆ヲ取除ケテ此處ニ書カヌ方ガ宜カラウト云フ位ノ論デアル此外ニ九十六條ノヤウナモノハナイ

尾崎三良君 ソレハサウカモ知レヌガ司法省デ出來テ居ルノガアルノテセウ

議長（横田國臣君）アリマセヌ

尾崎三良君 先日倉富サンガ、、、、、、、、

議長（横田國臣君）ソレハ今度ノ起草委員テ尙ホ、、、、、、

尾崎三良君 詰リサウシタイト云フ私ノ論ナンドス

石渡敏一君 一應之ヲ拵ヘマシタ趣意ヲ述ベテ置キマス先日倉富君ガ申サレタノハ司法省デ拵ヘタ草案、其草案ノ中ニアルト云フ話ナントスソレハ今取りニヤリマシタカラソレガ來マシテカラ御話ヲ致シマス吾々ハ此規定ハ從來ノ體ニシテ置キマシタノテス唯「内亂」ヲ「暴動」ト替ヘタ丈ケデアリマス朝憲紊亂ノ中ニハ皇統ヲ紊ス、皇室典範ニ依テ極マツタル皇統ヲ暴動デ紊亂シヤウト云フノモ此中ニ遁入ル又政府ヲ願覆スルト云フ中ニハ陛下ノ思召チバ暴動ヲ以テ替ヘヤウト云フノモ此中ニ遁入ル斯ウ云フ考ヘテ書キマシタカラ政府ヲ願覆シ邦土ヲ擾亂シ朝憲ヲ紊亂スルト云フ辭ヲ用キタノテス趣意ハ現行法ト少シモ變ハリマセヌ唯今ノ御説ノ如ク旨ク分ケラレマスレバ宜カラウト思ヒマスガ分ケルコトハ困

雖デアルト思ヒマスカラシテ從來ノ儘ニシテ置イタノテアリマス
村田 保君 私モ分ケルコトガ出來レバ宜イト思ヒマスケレトモ一
體此現行刑法ト云フモノハ明治十年カラ審査委員ヲ開ベタノテス
其草案デハ總テ政事犯ト云フモノハ死刑ニ入レナイ無期ノ流刑ト
云フモノ許リニナツテ居ツタ是ハ此間モ申上ダタ通りテアル今日
ハ新タナ御方モ御出テ、アリマスカラ一應御參考マテニ申上ダマ
スガドウモ今日ハ段々歐羅巴テモ政事犯、國事犯ト云フモノハ死
刑ニ入レナイ又死刑ニ入レヌノミナラス通常ノ刑ヲ用キナイ例ヘ
バ懲役トカ徒刑トカ云フモノガアツテモサウ云フ刑ハ用キズニ流
刑トカ禁獄トカ云フヤウナ別ノ刑ヲ即チ名譽刑ト言ツテモ宜イ其
名譽刑ヲ用キテ居ル、所ガ日本ニ於キマシテハ國事犯ト云フモノ
ハ昔カラ大變ニ重イ昔ハ殆ト親族マテ絶ヤシタ御承知ノ通り御一
新後ニナツテモ國事犯ヲ犯シタ人ガアル犯シタ人ハあの通り中ニ

ハ別ニ調ベヌテ直クト死刑ニシテ仕舞ウト云フヤウナ譯テ或ハ臨
時裁判ト云フモノヲ開イテ法律外ニ處分チシテ何時テモ直グニ處
分チシ來ツテ居ツタ併シ國事犯ヲ死刑ニ入レルト云フコトハ宜ク
ナイ話デアルカラ特ニ是ハ其時分ニ上奏シテ伺ツタ、所ガ國事犯
ノ爲メニ別ニ刑ヲ設ケルコトハ宜イケレトモ矢張り死刑ニハ入レ
ナケレバ可カナイト云フコトテアツタソレ故今日ノ刑法デハ死刑
ニ入レテアルケレトモ一方ニハあの通り流刑トカ禁獄トカ云フ別
ノ刑ガ設ケテアリマスカラ體分妙デアル是ハ翻譯シテ外國ニ廻マ
シマシマシタガ外國ノ法律家ハ非難シテ國事犯ヲ死刑ニ入レル位
ナラ別ノ刑ヲ設クルニハ及バナイ特別ナル刑ヲ設クル必要ハナイ
ト云フテ居ル一體國事犯ト云フモノハ一般社會デ罪犯ト認メルノ
テハナイ強盜トカ強姦トカ云フノハ社會ガ罪犯ト認メルケレトモ
國事犯ト云フモノハサウ云フモノテナイ或處ニ依テハ罪犯ト認メ

ナイ或ハ國事犯ハ場合ニ依テハ犯ス者ノアル方ガ良イカモ知レナイ既ニ御一新ニナツタヤウナモノテアリマスカラ、ソレテスカラソレチドウモ死刑ニ入レルト云フコトハ甚ダ種カデナイト思ヒマス併ナガラ唯今尾崎君ノ言ハレル皇朝ノ順序ヲ變更スルトカ云フヤウナコトニナリマシタナラバソレハ通常ノ國事犯デナイノテスカラソレデ是ハ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ憎竊シ朝憲ヲ紊亂スルト云フコトニナツテ居リマスケレトモ此朝憲ヲ紊亂スルト云フコトハ取ツテ置イタラ宜カラウト思フ今日ハ政府ト皇室ハ別ニナツテ居ル舊トハ朝憲紊亂ノ中ニハ大臣ヲバ廢シテ仕舞ウト云フヤウナ事モ這入ツテ居ツタソレデ朝憲ト云フコトハ漠然トシテ居ツテ定義ガ與ヘラレナイノデスカラ寧ロ之ヲ取ツテサウシテ皇室ニ對スル罪ト云フモノガアルノデスカラあの方へ譲ツテ置イタラドウデアラウカト思フ時ニ之ヲ別ニスルト云フコトハ随分六ヶ敷クハナイカ

此處デハ朝憲紊亂ト云フコト丈ケチ削ツテ置イタラドウデアラウカト思ヒマス、サウシマシタナラバ皇室ニ對スル罪ト云フモノハ其儘デモ宜カラウト思ヒマスソレテドウゾ皆サンニ御賛成チ願ヒタイノハ國事犯丈ケハ死刑ヲ除クト云フコトニシタイト思ヒマスドウモ國事犯チ死刑ニ入レルト云フコトハ舊トハ仕方アリマセヌケレドモ今日刑法改正ノ際ニハ歐羅巴デモ皆國事犯チ死刑ニ入レヌコトニナツテ居リマスカラドウゾソレ丈ケハ御賛成チ願ヒタイ尾崎三良君 倉富君ノ案ハドウ云フノテスカ
古賀廉造君 今取りニヤリマシタ、一寸村田サンニ御尋ネチシタイガあなたハ朝憲紊亂ニ付テハ死刑ノ廢止ハ主張ナサレナイノテスカ

村田 保君 別ニシヤウ

古賀廉造君 サウスルト尾崎サンモ政府顛覆丈ケニ付テ死刑ヲ除ケ

ハ宜イト云フノテスカ

尾崎三良君 ソレデ宜カラウ

梅 謙次郎君 一寸繋キ合セニ素人論デアリマスガ私ハ今日ハ他ノ
會議ノ爲ノニ此會議ヘハ出席ガ出来ヌ積リデアリマシタカラ尙更
ラ能クハ讀ンデ来ナカツタノデアリマスソレ故他ノ條トノ鈞合ヒ
等ハ一向分ラヌノテ今此處ニ參ツテ二三ノ御方ノ御論ヲ拜聽シマ
シテソレニ付テ一寸考ヘ付イタ所デアリマスガ成程憲法ト云フモ
ノガ出来マセヌ以前ニ在テハ九十六條ニ列擧シテアルモノノ中デ
區別チスルト云フコトハ餘程困難デアツタラウト思ヒマス、所ガ
今日ハ憲法ト云フモノガ出来マシテ其憲法ト云フモノニハ日本テ
ハ長クモ 御上ト雖モ從ハセラルルト云フコトニナツテ居ルノテ
スソレテスカラ詰リ憲法ヲ或茶々ニスルヤウナ目的ヲ暴動ヲ爲
スト云フヤウナ者ハ最モ重ク罰シテ宜カラウ此邦土ヲ擾亂スルト

各附六ノ三四

云フコトハ憲法何條ト云フコトハアリマセヌケレトモ無論國家ト
云フモノハ邦土ヲ基礎トシテアル憲法ト云フモノハ先ツ以テソレ
ヲ前提シテアル邦土ヲ擾亂スルト云フノハ憲法違反ノ最モ太甚シ
キモノテアル朝憲紊亂ト云フコトモ從來ハドウ云フ解釋ニナツテ
居ルカ知リマセヌガ今日ニナツテ見ルト憲法紊亂ト云フコトニ解
釋シナケレハナラナイ、サウスルト直接ニ憲法紊亂ト云フコトテ
先測カラ出テ居ル所ノ皇位繼承ノ順序ヲ紊亂スルト云フコトモ便
宜上皇室典範ニ讀ツテアリマスケレドモあれハ憲法上ノ規定ト看
ナケレバナラヌカラサウ云フモノハ重ク罰シナケレバナラヌ若シ
此文字ガ多少不明ト云フコトデアレバ成ルヘク文字ヲ明カニスル
コトハ宜シウアリマスガ私共ノ解釋スル所テハ斯ノ通りデアリマ
スソレカラ政府ヲ顛覆スルト云フコトハ石渡君ノ御論デハ 天皇
ノ恩召ヲ替ヘルト同シコトテハナイカト云フコトデアリマスガ是

ハ間接ノ話デアル直接ニ憲法ヲ云々ト云フコトテハナイ吾々ハ政府
府顧覆ノ爲メニ暴動ヲ爲スト云フコトハ罪惡ト考ヘテ居リマスガ
併ナガラ國々ニ於テ随分名高い學者ガ已ムチ得ナケレバ斯様ナ舉
ニ出デテモ宜カラウト論ジテ居ル人サヘアル私ハ國事犯ニ全ク死
刑ヲ廢スルト云フコトハ或ハ宜イカモ知レマセヌガ先ヅ其説ハ姑
ク措テ邦土ヲ擾亂シ朝憲ヲ紊亂スルト云フヤウナ甚シイ者ハ死刑
ニ處スルトモ單ニ政府ヲ顧覆スル目的ヲ以テ暴動ヲ爲シタノハ首
魁ト雖モ無期禁錮ニ處スル方ガ穩當デハアルマイカト思ヒマス聊
カ意見ヲ述ベテ置キマス

尾崎三良君 詰り論ノ立テ方ガ梅サント違ウヤウテスケレトモ歸着
スル所ハ同ジコトテアル成程 天皇ノ御信任アラセラル、大臣チ
無理ニ暴動ヲ逐退ケルトカ言ヘバ間接ニ 天皇ニ對シテ不敬トカ
何ントカ云フコトニ當ルカモ知レマセヌケレトモソレチ言フタラ

刑法ト云フモノハ行ハレヌコトニナル言論ノ上デソレチヤルコト
ハ憲法デ許シテアル暴動デヤツテ始メテ罰ガアル其罰モ元來ノ目
的ガ良イカモ知レヌニ依テサウ暗クヤラヌガ宜イ死刑ニ入レルマ
デヤラヌガ宜イト云フ説ハ文明國ニ行ハレテ居ツテ一定動カス可
ラザル説デアル

議長(横田國臣君) サウスルト尾崎サンノ御説チ確メタイガ孰レ
起草者ハ此政府顧覆モ邦土擾亂モ皆朝憲紊亂ノ中ニ遁入ツテ居ル
ト看テ居ラウト思ヒマスガ政府顧覆丈ケニ付テ死刑ヲ廢スルコト
ニシタイト云フコトニナルノテスカ

尾崎三良君 サウテス

議長(横田國臣君) ソレデハ首魁ハ死刑ニ處スルト云フ所ニ持ツ
テ往ツテ「但政府ヲ顧覆スルノ目的ニ出テタル者ハ」斯ウ云フ風
ニ書イタラ宜イノテスカ

梅 謙次郎君 法文トシテハ不體裁ダナ

議長（横田國臣君） 同シヤウナ事ヲ別條ニ書イテハドウテスカ

梅 謙次郎君 私ハ尾崎君ト同意見ダト云フコトテアリマスガ私ノ考ヘ丈ケチ申上グマス私ノ考ヘテハ政府顛覆ト云フコトハ朝憲紊亂ノ中ニ道入ラヌト思ヒマス是レテハ入レテアリマスケレドモ入レルノガ悪ルイソレダカラ此九十六條ハ「邦土ヲ脅竊シ朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス」一「首魁ハ死刑ニ處ス」二、三ハ此儘ニシテ置ク、ソレカラ九十七條ニ持テ往ツテ「政府ヲ顛覆スル目的ヲ以テ暴動ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス」斯ウヤツテ「一「首魁ハ無期禁錮ニ處ス」ソレカラ二「三」ノ所ニ五年ヲ三年ニシ十年ヲ七年ニシテ刑ヲ下ゲテ往ク

尾崎三良君 暴動ノ豫備トカ陰謀トカ云フノモ、、、、、、、、、

各聯六ノ三六

梅 謙次郎君 其邊ハドウカ一旦決議ニナツタラ起草委員ノ方デ直シテ貰ヒタイ

議長（横田國臣君） 趣意ハ政府顛覆ト邦土脅竊、朝憲紊亂ト同ジコトニセスシテ刑ハ皆輕クスル

梅 謙次郎君 サウデス、ソレガ私ノ主義デス

土方 寧君 此政府ト云フ言葉ハ從來ハ餘程漠然トシテ居リマシタケレトモ憲法ガ發布ニナツテ後ハ意味モはつきリシテ居リマスノデ憲法發布以前ノ政府ヲ顛覆スルト云フノニ較ブレバ幾ラカ輕イト思ヒマス併ナガラ政府ヲ顛覆スルト云フ所爲ハ私ノ考ヘテハドウシテモ朝憲紊亂ノ中ニ道入ルヘキモノト思フ現在ノ政府ハ如何ニモ暴政ヲ行ウ政府デアルト云フノナラバ憲法的ニソレヲ變更セシメル方法ガアル言論ノ自由ハ許サレテ居ルサウシテ尙ホ顛覆スルコトガ出來ナイ適當ナ憲法的ノ方法デ以テ政府ヲ變更スルコト

ガ出来ナイト云フ場合デアツタナラバ立憲政體ノ下ニ在テハ輿論
ガ政府チ是認シテ居ルモノト看ナケレバナラヌ私ノ考ヘテハ暴動
チ以テ政府チ顛覆セントスルノハ則チ憲法チ破ルノテアル私ハド
ウシテモ政府顛覆ノ所爲ハ朝憲紊亂ト云フコトニナラナケレバナ
ラヌト思ヒマス又御一新ノ時杯ハ政府チ顛覆シ終ツテモ罰セラレ
ナイソレガ即チ國事犯ノ特質デアアルサウ云フ場合チ慮ツテ首魁ハ
死刑ト云フノハ重イト云フ御説モアリマスケレトモソレハモウ事
實論デアツテ法律論テハナイソレテ私ハ政府顛覆丈ケチ分ケテ刑
チ輕クスルト云フコトハ不同意デアリマス原案賛成デアアル

三浦 安君 尾崎君ニ質問チ致シマスルガ憲法發布後ハ日本ノ國體
ガ變ツテ了ツタト云フヤウニ聞エルヤウデアリマスガ蓋シサウテ
ハアルマイト思ヒマス憲法發布後モ發布以前モ日本 天皇陛下ノ
統治權ト云フモノハ少シモ變ルコトハナイ憲法ニ因テ區域チ定メ

分析ガ明瞭ニナツタ是ハ今日デハ開化シテ來テサウナツタガ國體
ニ於テ變ツタコトハ少シモナイト思ヒマスガソコハドウ云フ御説
デアリマスカ國體ガ變ジタト御覽ニナルノカ唯法律チ以テ主權チ
明瞭ニシタト云フコトニ止マルノデアルカ、此前モ國體ガ變ジタ
ト云フヤウニ聞エテ不安心ニ思フタカラソレ位ノ大議論ニナルノ
ナラバ聯合會デ以テ大ニ研究シナケレバナラヌト思フテ聯合會チ
請求シマシタガ幸ニ今日此會カ開ケタソレデ若シカ國體ガ變ジタ
ト云フコトニナレバ以テノ外ノ話デアツテ大ニ議論チシナケレバ
ナラヌ國體ハ變ジナイ 天皇陛下ノ統治權ト云フモノハ憲法發布
後モ以前ト變ラヌ唯分析ガ明瞭ニナツテ來テ政治チ施ス上ニ於テ
ノ區域ガ明瞭ニ爲ツタト云フ丈ケノコトデアルト思ヒマスガソコ
ハ御同論デアルカソレ丈ケチ質問チシテ後ニ説チ吐キマス

尾崎三良君 三浦君ノ問ヒハ頗ル奇ナ問ヒテ學校デ生徒ガ互ニ辯駁

スルト同シヤウニ思ハレマスルガ併シサウ云フ間ヒガ起ツテ見レ
バ言ハンナラヌソレハ我國ハ萬世一系ノ帝國デアツテ之レガ變ツ
タト云フコトテハナイ今更ラ問ヒチ起スト云フノハ餘程不思議ナ
點シテアル併ナガラ憲法ト云フモノガ行ハレテカラ政體ト云フモ
ノハ餘程變ツテ來タ貴衆兩院ノ議決ヲ經ナケレバ法律ハ發布スル
コトハ出來ナイ明カニ政體ハ變ツテ居ルニ違ヒナイソレ故ニ憲法
發布以前ハ政府ノ官吏ト言ヘハ宮内省ノ官吏モ何モ罷ツテ居ツタ
ガ今日ハ官吏ト言ヘハ行政官吏丈ケニナツテ居ルソレガ即チ憲法
ガ行ハレテ以來變ツタト云フコトテアルソレテ國事犯ト云フモノ
ニ付テハ歐羅巴テモ色々アル歐羅巴デハ革命ヲ企テタモノマテモ
國事犯ノ中ニ入レテ居ル、ケレトモ我國ニ於テハ是ハドウシテモ
赦サヌト云フコトニ極メナケレバナラヌ、依テハ皇室ヲ顛覆スル
トカ或ハ皇嗣ノ順序ヲ紊亂スルトカ云フヤウナ者ハ是ハ一層重ク

シテモ宜カラウ、ソレカラ單ニ政府即チ行政部ニ屬スルモノチ之
ヲ紊亂スル爲メニ暴動ヲ企テタト云フ者ハ歐羅巴テ謂フ所ノ國事
犯ト同ジヤウナ取扱ヒニシテ宜カラウスウ云フ大體ノ精神デアリ
マス其法律ノ立テ方ニ付テ今梅君カラ御説ガ出マシタガ此處ニ司
法省デ調ベタモノガゴザイマスガ之レデハドンナモノテセウ之レ
ナラ至極宜カラウト思ハレル即チ「皇室ヲ顛覆シ皇嗣ノ順序ヲ紊
亂シ邦土ヲ僭竊シ其國權ヲ變更スルコトヲ目的トスル内亂ニ與シ
タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス」「首魁及煽動者ハ死刑ニ處ス」
斯ウ云フヤウナコトニシテ其次ニ別ノ條ニ持テ往ツテ「政府ヲ顛
覆シ政務ヲ變亂シ其他政事ニ關スル事項ヲ目的トスル内亂ニ與シ
タル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス」サウスルト死刑ハ無期ニ
ナル其次ニ持テ往ツテ「前二條ニ記載シタル内亂ヲ起ス爲メ云々
」跡ハ皆同シコトニシテアル

梅 謙次郎君 至極贊成デスナ

議長（横田國臣君） 唯「一等」ト云フコトハ今度ノ刑法ニハナイ
尾崎三良君 ソコハ起草委員ニ御頼ミシテソレト同ジコトニナルヤ
ウニシテ貰ヒタイ

三浦 安君 唯今尾崎君ノ御答ヘニ審生ノ問答見タヤウナモノテア
ルト云フ御断デアリマシタガ果シテ國體ガ變更シタノテハナイト
云フコトデアリマスカラ本員ハ安心シマシタ併シ唯今ノ「皇室ヲ
顛覆シ云々」ト云フヤウナコトハ決シテ刑法上ニ現ハスベキモノ
デナイ即チ現在ノ刑法ハ明治十三年ニ出來テ政府モ皇室モ一緒ニ
ナツテ居ツタト云フ御説デアリマスケレトモソレテモ皇室ニ對ス
ル罪、内亂ニ關スル罪ト差別ヲシテアル皇室ニ對スル罪ノ所テモ
「危害ヲ加ヘントシタル」ト云フ一言デ漢トシテアツテ委シク言
フテナイ抑モ日本國ニ於テ皇室ヲ顛覆スル杯ト云フコトハ古來ア

ツタコトハナイ國體上ニ於テ有間敷キコトデアル是ハアラウ答ハ
ナイ然ルノチ外國政府杯ノコトヤ外國帝室杯ノ薄弱ナモノチ持ツ
テ日本ニ比較シテ刑法上ニ「皇室ヲ顛覆シ云々」ト云フコトヲ現
ハスノハ甚ダ以テ國體ヲ傷ケルモノト思フサウ言ハヌテモ現行法
ノ通り政府顛覆、邦土僭竊、朝憲紊亂ト云フ三ヶ條アレバ解釋ノ
仕方ニ依テ澤山デアル今日ハ言論ハ自由ニ出來テ勝手次第デアル
若シ政府ガ悪ルイ事ヲスレハ議會ニ於テ充分ナコトガ出來ル併シ
政府ト雖モ矢張り陛下ノ統治内ノ政府ニ違ヒナイソレチ顛覆セン
トシテドノ位亂暴ナ事ヲシタノテモ死刑ニ處スルニ及バヌト云フ
コトハ甚ダ宜クナイト思ヒマス政府ヲ顛覆スルニモ其仕方ガ良ク
テ統治權ニ於テ御認ノニナレバ其方が都合ガ好クナルト云フコト
ハ免カレヌ兎角御一新ノ事ヲ御引用ニナリマスケレトモ是ハ抑モ
七八百年以前カラ武家が政權ヲ握ツテ居ツテ爲メニ國ノ政紀ガ紊

亂シテ居ツタカラ之ヲ改正シテ王政維新ニ復シタノテアル決シテ
政府ヲ顛覆スル杯ト云フヤウナコトヲ持テ來テ引用スヘキモノデ
ナイ國政ガ變ジテ居ツタノチ舊ニ戻シタニ過キナイ恐レナガラ
天皇ヨリ幾度モ御内旨ガ下ツテ居ル即チ御一新ノ事ハ 天皇ノ意
思ヲ奉ジテヤツタノテアル之ヲ以テ云々スルノハ間違ツテ居ル是
ハ亂レテ居ツタノチ舊ニ復シタノテアリマスカラ即チ皇室ノ意思
ヲ奉ジテヤツタト言ツテモ宜シイ皇室ヲ顛覆スル杯ト云フコトヲ
法律ノ文言ニ現ハスノハ我國體ヲ傷ケルト言ハナケレバナラヌ之
チ口ニ言フモ汚ラハシイト思ヒマス政府ト云フモノハ今日ニ在テ
ハ憲法以前トハ違ウト言ハレマスケレトモ統治權ニ於テハ少シモ
變ラナイ同ジコトテアル 天皇ノ御信任セラルル政府デアレバ亂
暴ノ仕方ヲ以テ之ヲ顛覆セントスルノハ取りモ直サス 天皇ニ背
ク事ニナル萬々有間敷キコトトハ思ヒマスケレドモ若シカ皇室ニ

對シテ不都合ヲ謀ル者ガアレバ朝憲紊亂ノ中ニ籠ツテ宜イ朝憲紊
亂ノ中ニソレガ遁入ツテ來ルノハ詰リ現行法ガ善ク出來テ居ルト
言ツテ宜シイ此處等ハ外國ト變ツタ儘デ少シモ差支ナイ皇室ヲ顛
覆スル杯ト云フヤウナコトハ決シテ刑法デ言フベキコトテナイ、
サウテナシニ良キ御修正ガアルナラバ兎モ角モ、本員ハ此儘テ差
支ナイト思ヒマス御論ガ細カニナリマスレバ本員モ細カナ意見ヲ
吐キマスケレトモ今ノヤウニ皇室ヲ顛覆スル杯ト云フコトヲ書ク
ノハ以テノ外ノ話ト思ヒマス

梅 謙次郎君 一寸私ハ申上ゲテ置キマスガ尾崎君ノ御讀ミニナツ
タ文章ノ儘テハ可カヌト思ヒマス唯今ノ三浦サンノ御説ノ起ルノ
モ御尤モト思フソレタカラ假リニ決議ニナツタラ文字ハ餘リ露骨
ナル文字ヲ用キラレヌコトヲ希望スル

古賀廉造君 吾々ノ趣意ハ寧ロ政府顛覆、邦土僧竊ハ不用ノ積リテ

アツタノテモウ「朝憲紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ云々」デモ宜イト云フ趣意デアツタ、所デ之ニ付テ御諭ヲ聞クト此中カラ政府ヲ顛覆スル所爲丈ケチ抜イテ了ハウ是ハ軀イ所爲デアル外國ニ於テモ特別ナ扱ヒチシテ居ル犯罪テアルカラ日本ノ刑法モソレニ倣ツテ違ヘタ方ガ宜カラウ殊ニ又政府ハ時々顛覆スルモ變更スルモ宜イテハナイカ悪ルイ政府ナラバ宜シイダラウ政府ヲ顛覆スル罪ヲ犯シテモ格別憎ムノ價值モアルマイデハナイカト云フ御趣意ノヤウニ承リマシタガ然レトモ私ノ考ヘチ以テスレバ政府ヲ顛覆スルト云フ事柄ハ今日ノ如ク憲法政治ニナツテモ憲法上決シテ之ヲ許シテアル所ノ規則ハアルマイト思ヒマス憲法ガ出タラ政府ハ勝手ニ顛覆ガ出來ルト云フ事柄ハ憲法ニハ些ツトモ見エテ居ラナイ又成程朝廷ト政府ハ之ヲ分ツタニ違ヒナイ即チ宮内省ト其他ノ政府所ト分ツタニ違ヒナイ併ナガラ此政府ト云フ

コトハ宮内省一ツチ指シタノデハゴザイマセ又總テノ政務ヲ扱ウ所ノ、制規ノ職務ヲ執ル所ノ場所ヲ網羅シテ之ヲ政府ト言フタノデス所謂内閣ナルモノヲ指シタノデアリマスサウスルト 天皇ハ海陸軍ヲ帥統スルト云フコトハ憲法ノ明文ニアル國民ハ陛下ノ御親任ニナツタ海陸軍ノ大臣ノ施政ガ氣ニ喰ハナイ國民ノ租稅ヲ濫徴スル虞ガアルニ依テ其大臣ガ氣ニ喰ハナイ然ルニ 天皇ハ海陸軍ノ大臣ヲ帥統モ御信用ニナツテ之レガナケレバ帥統ハ出來ナイト云フ思召ガアルノニ亂暴ニ依テ之ヲ征伐スルト云フコトガアツタナラバ果シテ其行爲ハ他ノ朝憲ヲ紊亂スル所爲ト何處ニ違ヒガアリマスカ亂暴人ノ意思ガ行ハレテ海陸軍ノ大臣ガ放逐ニナツタナラバ若クハ殺サレタナラバソレガ爲ノニ違ニ國家ハ防禦權ヲ失フニ至ル虞ガアルカモ知レ又昔ト今ハ政府ノ組織ガ違ウカラシテ政府ハ時々顛覆スルモ宜シイソレニ付テハ死刑ヲ免スルガ宜シ

イト云フ御議論ハ請取悪クイ論デアル如何ニ憲法政治デアツテモ
人民ノ恣マニ之ヲ顛覆シテモ宜シイト云フコトハナイ況ヤ暴動ニ
於テオヤ此暴動ト云フ中ニハ各本條ニ於テ規定スル總テノ犯罪モ
含ンデ居ル或ハ強姦モスルデアラウ人モ殺スデアラウ貨幣モ偽造
スルデアラウ總テノ悪ルイ行爲ガ暴動ノ中ニ含ンデ居ル一人ガ一
己人ニ對シテ殺人罪ヲ犯シタ時分ニ死刑ト云フコトヲ確定シテ居
ルコトデアルト思フ然ルニ其範圍ガ非常ニ廣クシテ強姦モシ人モ
殺シ貨幣モ偽造スルト云フヤウナ數個ノ犯罪ヲ重ネテ犯シタ場合
ニ於テ其目的ハ國事犯デアル政府顛覆デアルカラシテ之ヲ助ケテ
宜シイ目的ガナカツタカラシテ殺サヌデ宜シイト云フコトハ條理
上ナイ斷デアル實ニ暴動ト云フモノハ國ノ基本ヲ動カス國全部ニ
害ヲ流スノデアル國全部ニ血ヲ降ラスノデアル恐慌ガ起ツテ來ル
カラ其犯罪ヲ禁ズル、然ルニ暴動デアルニ依テ縱令全國ニ血ヲ降

ラスニ至ツテモ之ヲ助ケテ置クト云フ御議論ニ至ツテハ甚ダ感服
スルコトガ出來ナイ歐羅巴ノ或學者ハ國事犯ト云フモノハ名譽ノ
犯罪デアルカラ寧ロ國事犯ハ犯セト云フ語氣ヲ以テ之ヲ獎勵シテ
居ル是ハ實ニ妄想ノ太甚シキモノデアル若シモ犯罪ヲ犯シテ宜シ
イモノデアアル名譽ノモノデアルト云フノナラバ刑法ニ於テ之ヲ禁
ジナイ方ガ宜シイ何ゼ國家ガ之ヲ禁ズルノデアルカ一方ニ於テハ
之ヲ禁ジ一方ニ於テハ之ヲ獎勵スルト云フナラバ寧ロ國事犯ニ關
スル刑罰ハ之ヲ廢スルノ優レルニ如カヌト思ヒマス併シ今日ニ至
ツテハ段々國事犯ト云フモノハ實際國家ニ大害ヲ爲スモノデア
ル普通ノ一己人ガ普通ノ犯罪ヲ犯スヨリモ國事犯ハ害ガ多イモノデ
アルカラ普通ノ犯罪ヨリモ重ク罰シナケレバナラヌト云フ議論ガ
歐羅巴ニモ行ハレテ居ル其議論ノ行ハレテ居ルニ拘ハラズ日本ハ
昔ノ餘程古イ議論ニ依テ以テ刑罰ヲ設ケルト云フノハ歐羅巴ノ主

義ニモ到底適ハヌモノテアルト思ヒマス旁々政府顧慮ノ所爲丈ケ
ニ付テ特別ノ條ヲ置クト云フ説ニハ御同意ハ出來ヌノテアリマス
梅 謙次郎君 一寸質問シタイ私ノ考デハ如何ナル目的ヲ以テヤツ
タノテアラウトモ人ヲ謀殺シタ者ハ謀殺ヲ以テ斃レル故殺シタ者
ハ故殺ヲ以テ斃レル放火シタ者ハ放火罪ヲ以テ斃レル斯ウ云フ考
ヘテアル唯今ノ古賀君ノ御論ニ據ルト人ヲ殺サウガ貨幣ヲ偽造シ
ヤウガ強姦シヤウガ總テ皆此暴動ノ中ニ道入ルサウスルト首魁丈
ケハ重キ所ノ死刑ニナツテ跡ノ者ハ五年以下ト云フ輕キ刑ニ處セ
ラレル若シサウ云フコトテアルナラバ此刑法ハ根本カラ改メテ賈
ハナケレバナラヌト考ヘマス、一寸序ニ申シマスガ政府顧慮ト云
フコトハ今日ノ如ク自由ノ世ノ中デハ言論ニ訴ヘル或ハ其他間接
ノ方法デ出來ルカラ眞ニ惡ルイ政府ナラ之ヲ顧慮スルコトガ出來
ル御尤モノコトト思ヒマス從テ政府顧慮ハ惡ルイコトテアル從テ

無期徒刑マデ往ツテモ差支ナイト思ヒマス併ナガラ今日文明國デ
日本ヨリ多クモ少クナイ人員ヲ有ツテ居ル國デモ不幸ニシテ暴動
ト云フモノガアルソレハ適法ノ方法ヲ以テ政府ヲ顧慮シヤウトシ
テモ中々容易ニ出來難イ、所ガ政府ハ惡ルイ政府デアツテ其間ニ
數多ノ罪惡ヲ犯スノテ之レテハ堪ラヌト思フテ迷ニ精神錯亂シテ
暴動ヲ爲スヤウニナル日本ニ於テモ維新ノ事ハ是レニ較ヘテハ可
ケマセヌガ彼ノ西南ノ役、佐賀ノ暴動、あれ等ハ私ハ能クハ知り
マセヌケレトモ政府ヲ顧慮スル目的ヲ持テハ居ラナカツタ私ノ信
ズル所デハ勤王家テアル唯當時ノ時勢カ立たセテ自己ガ政府ヲ乘
取ラウト云フ丈ケノコトデアツタラウト思ヒマス、所ガ其首魁^所テ
ハナイ皆死刑ニ處セラレタ今日ニ至ツテ吾々ハ大變ニ之ヲ惜ムデ
居ルソレデドウカ是ハ無期徒刑ニシタイト云フ意見デアリマス
古賀廉造君 暴動カラ或ハ放火チスルトカ人ヲ殺ストカ若クハ貨幣

ヲ偽造スルトカ云フ行爲ヲ離スト云ハレマスケレトモ此草案ノ主
義ニ據ルト重キニ從テ論スルト云フノテアリマスケラ實際暴動ニ
伴フテ爲シタ行爲ハ暴動ノ中ニ含蓄シテ居ラナケレバナラナイ差
引勘定ハ出來ナイ詰リ鹿兒島戰爭ノ如ク數年モ續クト云フ時分ニ
ハ貨幣偽造モアレバ人殺シモアレバ色々アル其行爲ハ皆暴動ノ中
ニ包含シテ論ジナケレバナラヌ

土方 寧君 一寸質問シマス今ノ梅君ノ質問ニ對シテ古賀君ノ御答
ヘニナツタノハ起草委員三人ノ意見デアルカドウカソレチ一ツ例
ヒタイ

石渡敏一君 一概ニ私ハサウハ思ハナイ、場合ニ依テサウ云フコト
モアルカモ知レマセヌケレトモ今日ノ刑法ヲ見マスルト「政府ヲ
變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ擧クルニ至ラスト
雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス」斯ウ云フ

コトガアルノテス斯ウ云フ風ニヤリマシタナラバ無論内亂罪ノ中
ニ入レナイ積リテアリマスソレカラ現行法ノ百二十八條ノ「内亂
ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯
シタル者ハ通常ノ例ニ照シ重キニ從テ處斷ス」斯ウ云フノモ此中
ニ入レナイ暴動ガ起ツタ場合ニ互ニ打チ合ツタサウシテ一方ガ死
ンダ、傷ケタト云フノハ暴動ノ中ニ入レル、尙ホ一應私ノ趣意ヲ
述ベテ置キタイ所謂大磯案ト名ケテアル案ニ據ルト二ツニ分ツテ
アル其說ニ從ウコトハ出來ナイ所謂内亂罪ノ場合ニハ殆ド國チ有
形ノ人ト見タモノデアラウト思ヒマス其人ヲ殺スヤウナ所爲ハ總
テ内亂罪トシテ罰シヤウト云フノガ大體ノ趣意ダラウト思ヒマス
併ナガラソレチバあぶすさらくさニ書クト廣過キルカラ一ツ一ツ
拾ツテ今日ノ刑法ハ書イテアルノダラウト思フ先ツ邦土ヲ僭竊ス
ルトカソレカラ憲法ヲ變ヘルトカ云フコトニ付テハ何處マテモ一

致シテ居ル唯政府ヲ顛覆スルト云フ言葉ガ日本ノニアツテ外ニハ
ナイカラ起ツテ來ル議論ト思ヒマス、ガ併シ此處ニ一ツ議會ガア
ル此議會ヲ潰シテ了ハウト言ツテ暴動ヲ起ス者ハごちらニ入レル
カ矢張り朝憲紊亂デアルト思ヒマス議會ガアルソレチ今日ノ議會
ハ詰ラヌカラシテ此議會ヲ潰シテ了ツテ矢張り從來ノ憲法發布以
前ノ政體ニ更ヘヤウト思ツテ暴動ヲ起スト云フ時分ニハソレハ朝
憲紊亂ノ中ニ入レナケレバナラヌモノダラウト思ヒマス政府ト云
フモノモ矢張り憲法上デ極マツテ居ル所ノ一ツノ政體ト思ヒマス
サウスルト暴動ヲ以テ之ヲ壞ハシテ了ウ、破壞シテ了ウト云フノ
ハ矢張り憲法上ノ規定ヲ止メテ了ウト云フコトニナルト思ヒマ
ス從テ 陛下ノ所謂恩召ヲ枉ゲルト云フコトニナル暴動ヲ以テ枉
ケルト云フコトハ宜シクナイ、政府顛覆ト云フトサウ云フ場合許
リデナクシテ一ニ大臣ヲ殺スノモ道入ルト云フ説ガアルソレガ

危險デアル從來ノデアルト矢張り内亂罪ヲ以テ論ズルト云フ風ニ
シテアツタニ違ヒナイ其場合ヲ吾々ハ此處ニ入レズシテ此所デハ
一二ノ大臣ヲ殺ストカ云フノハ全く別ニシテ現在ノ政府ヲ破壞シ
ヤウト云フ方丈ケナラバ丁度議會ヲ暴動ヲ以テ破壞シヤウト云フ
ノト同ジヤウナ釣合ヒニナツテ來ルカラ從來ノト同シヤウニシテ
宜カラウト思フテ之ヲ置イタノテアリマス先程言ヒ殘シマシタガ
九十六條ノ一號ノ所チ「首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス」トシタ
外國ノ法律ヲ見レバ無期刑ニナツテ居リマスカラ極ク仕方ノナイ
者ハ死刑ニシヤウ併ナガラ場合ニ依テハ首魁デアツテモ無期禁錮
ニシヤウソレデ「死刑又ハ無期禁錮ニ處ス」トシテ此範圍ヲ以テ
判事ノ判斷ニ任カセタ從來ノ刑法ノヤウニ悉ク死刑ノミト云フコ
トテナクシテ無期禁錮ニ處スルコトモ出來ルトナツテ居リマスカ
ラ今日ノ程廣クハナカラウト思ヒマス私ハ矢張り此案ノ通りガ宜

カラウト信ジマス

富井政章君 此問題ハ結リ一方ニ於テハ國事犯ト云フモノハ如何ナル場合ニ於テモ死刑ヲ以テ罰シナイコトニシタイ、ソレカラ他ノ一方ニ於テハ性質ハ國事犯ト見ルベキモノデ朝憲紊亂ト言ヘル程ニ國ノ害ト爲ルヘキ重大ナモノハ死刑ヲ以テ罰スルガ至當デアル少クモ罰シテモ構ハナイト云フ説ニ分レテ居ルノタラウト思ヒマスソコデ今日マデノ學説ト立法例ノ傾キヲ見マスルト如何ニモ尾崎サン村田サンノ述ベラレタ如クニ國事犯ニハ成ルベク生命刑ヲ科サナイト云フ方ニナツテ居リマスケレトモ之レモ果シテ進歩シタ見方デアルカ少シ疑ハシイ、デ近頃ニ至ツテハ却テサウ云フ見方デハ可カナイ國ノ秩序ヲ紊亂スル重大ナ所爲ハ何モ生命刑ヲ以テ罰スベキモノテナイト云フヤウナコトヲ言フニハ及ハナイ其方ノ説ガ大ニ勢力ヲ持テ來ツテ居ルソレデ是ハ見方ニ依テごもらニ

各聯六ノ四六

モ言ヘルモノテアル借此處ノ政府ヲ顛覆スルト云フコトハドウ云フ事カト言ヘバ詰リ此文字ニ付テ議論ガアルノテアリマスルガ是ハ誠ニ分リ易イヤウナ言葉デアルケレドモ實ハ餘リはつきりシテ居ラナイ非常ニ大キナ烈シイ所爲ヲ言ヘハ唯内閣大臣ヲ外ノ人ト更ヘルト云フノテナシニ政府ト云フモノハ要ラナイ全部罷ノルトシテ了ウト云フノモ矢張り政府顛覆ニ違ヒナイ、ソレカラ輕イ方ニ付テ適用ガアルト思フテ想像スレバ大臣ヲ更ヘヤウ、國務大臣一同ヲ何處カヘ押籠メテ他ノ人間ヲ以テ是レニ代ヘヤウト云フ目的ヲ以テ暴動ヲヤルサウ云フノガ比較的ニ惡ルイ所爲トシテ適用ガアルノダラウト思ヒマスソレニシテモ私ハごもらカト言ヘハ矢張り土方君ノ述ベラレタヤウナ考ヲ持テ居ル憲法上ニ認メテアル方法ヲ採ラスシテ憲法上ノ仕組ヲ壞ハスソレハ則チ朝憲紊亂ト言ツテ宜カラウト思ヒマスサウ云フ目的ヲ以テ暴動ヲヤル國一般ノ

秩序ヲ害スルト云フコトハ非常ニ重大ナ所爲デアルカラ死刑ヲ以テ罰セラレナイト云フコトハ理論上ナイ却テ今日マテ一時行ハレタ所ノ學說ニ偏スルノテハナイカト思ヒマス併ナガラ又一方カラ見ルト今石渡君ノ言ハレル如ク政府顛覆ト云フ言葉ハ如何ニモ漠然トシタ言葉デアツテ随分輕イ所爲モ含ムヤウニ見ユル恐レガナイトモ言ヘナイソレデ朝憲紊亂ト言ヘル丈ケノ政府顛覆デナイト可カヌソレテアルカラ却テ斯ウ云フ言葉ハナイガ宜イ私ハ一ツ修正案ヲ出シマスソレハ「政府」カラ「其他」マテヲ削ル此邦土情竊ト云フヤウナコトハ大抵朝憲紊亂ニナリ得ルソレカラ政府顛覆モ私ノ想像スルヤウナモノハ皆朝憲紊亂ニ入レルベキモノデアルト思ヒマス併ナガラソレ程ニ見ルベカラザル輕イモノマテモ含マスト云フヤウナコトニナツテハ面白クナイト思ヒマスカラ率口斯ウ云フ言葉ハナイ方ガ宜イ頭丈ケ削除スル説ヲ出シマス

土方 寧君 意見ハ富井君ト同ジコトデアリマスケレドモ今修正案トシテ出タ所ハ感服シナイ政府顛覆ト云フ言葉ハはつきリシナイカラ之ヲ拔テ了ウ成程朝憲紊亂ト云フ言葉ハ廣イ言葉デアルカラ宜イヤウナモノデアリマスケレドモ富井君ノ案ノヤウナ形ニナツテ私ノ意見ガ行ハルルコトハ好マナイ私ハ矢張り是ハ置キタイ都筑馨六君 私モ梅サン、尾崎サンノ御論ト同シ感覺デアリマス、ト云フノハ此邦土ヲ徇ムト云フヤウナコトハドウシテモ國家ノ爲ト云フヤウナ感じヲ以テヤリヤウガナイ然ルニ時ノ政府顛覆、時ノ政府ヲ仆サウト云フノハ國家ノ爲ノニ其政府ハ宜シクナイト云フ方カラ來ル縱シ其感情ガ間違ツテ居ルニシタ所ガ兎ニ角サウ云フ感情ヲ有ツテヤル場合ガ少ナクナイソレデ此處ノ邦土情竊、朝憲紊亂ト政府顛覆ト其精神ニ至ツテハ憎ムベキ程度ニ差ガアル又極ク通俗ノ感じデモ勝テバ官軍負ケレバ賊ト云フノハ人情感シ易

イノデス無論朝憲ヲ紊亂スル或ハ邦土ヲ僭竊スルト云フヤウナ事柄ハ誰シモ國ノ爲メニナラヌト云フコトヲ知ツテ居ツテヤルモノデアアル然ルニ時ノ政府ヲ顛覆スルト云フコトハ雖分國家ノ爲メニ思フテヤル人間ガ多イ雖シ間違ツタニシタ所ガ有リ勝チノ間違ヒデアアル、ドウモ憎ムヘキ程度ガ餘程違ウト思ヒマスカラ其間ニ矢張り差ヲ設ケテ置カンケレバナルマイト思フ無論今日ノ政府ヲ仆スト云フコトヲナク政府ノ組織ヲナクスト云フコトニナルト議會ヲ潰スト云フノト同ジテ朝憲紊亂ト同ジコトニナル、ケレドモサウデナク時ノ政府ヲ仆スト云フコトハ反對黨ハ皆ヤツテ居ル町村ノ行政デモ府縣ノ行政デモ顛覆シテ宜イト云フモノハ一ツモナイ荷モ國ニ秩序ガアル以上ハ秩序ヲ紊スノハ宜シクナイ唯其手段ガ平和ノ手段ニ出ヅレバ宜シイ、シテ見ルト政府ヲ顛覆スルト云フコトハ邦土僭竊程ニ憎ムベキモノデハナイ其目的ノ間ニ自ラ差異

ガアルナラバ變シ手段ガ同ジヤウニ憲法ニ背クカラト言ツテ同ジヤウニ之ヲ罰スルノハ酷イヤウニ感ジマス若シ其用キル手段ガ憲法ニ背クカラ朝憲紊亂ニナルト云フコトデアアルナラバ憲法ノ一條ニ背イテモ朝憲紊亂ニナリハシナイカ從テ不法監禁モ朝憲紊亂ニナリハシナイカ極端ヲ言ヘハ、私ハ其目的ガ政府ヲ顛覆シタカラト言ツテ邦土僭竊ノ目的程ニ惡ルイトハ認メマセヌノテ尾崎サン、梅サンニ贊成ヲ致シマス

尾崎三良君 是ハ能ク諸君ニ御考ヘテ願ヒタイ段々御論ジニナリマシテ粗ボ御了解ニモナツテ居リマセウガ當時ノ政府ヲ顛覆スルト云フノハ多クハ何卒國家ヲ良クシタイト云フ所カラ出テ來ル或ハ間違ツテ居ルカモ知レヌ或ハ宜イカモ知レヌ、所ガ此刑罰ヲ掌ル方ハ現在ノ政府ニ緣故ノ近イモノテアツテ兎角之ヲ酷クシタガル重ク罰シタガルノデアアル之ヲ後トカラ能ク考ヘテ見ルトあの時ニ

殺シテ置カナカツタナラバ今大キニ間ニ合ツタラウ惜シイコトチ
シタト云フヤウナ例ガ幾ラモアル國事犯チ段々輕クシ出シタト云
フノハ國家治亂興廢ノ跡チ見テ極ク冷ヤカナ頭チ以テ考ヘテ追々
サウ云フコトニナツテ來タ是ハ殺サヌ方ガ宜イソレハ則チ國家ノ
爲ノテアル之チ殺シテ了ウト丁度維新ノ際ニ於ケル水戸藩邊リノ
例ノ如ク惡結果チ來タスニ依テ成程其心事ハ惜ムベキモノデ方法
ノ手段ガ法律ニ觸レタカラ罰シナケレバナラヌケレドモ決シテ之
チ極刑ニ處スルモノデナイト云フコトチ歐羅巴杯デハ考ヘテ死刑
ニ處セヌト云フコトニナツタノテアラウト思ヒマス是ハ能ク考ヘ
テ置テ御實ヒ申サンナラヌノハ當時ノ政府チ顧慮セント思フ時分
ニハ成ルベク其政府ノ惡事チ擧ゲルトカ何ントカシテ人民ノ同意
チ得テ其時ノ政府ニハ惡感情チ起サセルヤウナ惡口モ言ヒ色々ス
ルデセウ、ソレダカラ若シソレガ失敗シタトキニハ引續マイテ斷

イ目ニ合ハス普通ヨリモ一層酷クシタイト云フ感情ニナルノハ是
ハ勢ヒ免カレヌコトデアルカラ成ルベクサウ云フコトニナラヌヤ
ウニ即チ冷淡ノ頭チ以テ極端ニ至ラヌヤウニ法律ニ規定シテ置ク
ト云フコトガドウモ必要デアラウト思ヒマス其理由ハ私共喋々述
ベルマデモナイデスガドウモ之チ區別スルト云フコトガ必要デア
ラウ成程石渡君ハソレガ爲ノニ死刑又ハ無期ノ禁錮、ごちらデモ
用キラレルヤウニシテアルカラ輕イ者ハ無期ニ處スル斯ウ云フ御
説デアリマスケレドモソレガ甚ダ安心ガナラヌ、ト云フモノハ兎
角感情ニ制セラレテ彼奴憎イ奴ダカラ酷ク罰シテヤリタイ刑法ニ
ごちらモ出テ居ルト云フコトアルトドウシテモ重ク罰スルト云フ
コトニナルダラウト思ヒマス今日ソレチ極ノルノテアリマスカラ
成ルベク輕クスルト云フ御説デアル以上ハ判然ト區別シテ置イタ
方ガ宜カラウト思ヒマス又古賀君カラ色々妙ナ御説ガアリマシタ

ケレトモソレハ梅君ノ御質問デ大抵破レテ了ヒマシタガ文字ノ事
ニ至リマシテハ斯ノ如ク餘リ露骨ニ書クノハ宜シクナイカモ知レ
マセヌデ其處ハ何ントカ書キヤウガアラウト思ヒマス又皇室ニ對
シテドウトカ斯ウトカ云フヤウナ御説モアリマシタガソレハ今日
ハサウ云フ者モナイデセウ併シソレヲ言フ位ナラハ第一「天皇
ニ對シテ危害ヲ加ヘル」ト云フヤウナコトモ言ヘナイ筈デアルト
云ハナケレバナラヌ斯ウ云フコトヲ書クモ不詳ト言ハナケレバナ
ラヌ奈何セン今日ハ法律ニ正條ノナイモノハ罰セヌト云フコトニ
ナツテ居ル以上ハ何ントカ正條ヲ作ツテ置クコトガ必要デアル併
ナガラ舊ノ司法省ノ原案ノ通り露骨ニセニヤナラヌト云フ趣意ヲ
ハアリマセヌカラ其處ハ何ントカ良イ文字ガアレバソレニ修正ヲ
加ヘテ刑法ニ置クコトヲ希望スルノテアリマス

三浦 安君 私ハ先刻大體ノ説ヲ粗ボ述ベタノデアリマスガ今尾崎

君カラシテ皇室ニ對スル罪ノ所ニ「危害ヲ加ヘル」ト云フコトガ
アル以上ハ矢張り同ジコトダラウト云フ御説ガアリマシタガ「危
害ヲ加ヘル」ト云フ方ハ 天皇ノ御一身ニ對シテ心得違ヒノ者ノ
アルト云フコトハ免カレヌコトデアル我日本ノ國ニ於キマシテハ
皇室ヲ顛覆スルト云フヤウナコトト御一身上ニ危害ヲ加ヘルト云
フコトトハ大變ナ違ヒデアル誠ニ言フニ忍ビヌコトデアリマスケ
レドモ危害ヲ加ヘルヤウナ心得違ヒノ者ガ或ハナイトモ言ヘヌカ
ラ是ハ加ヘテ置ク併シソレガ加ヘテアルカラシテ皇室ヲ顛覆スル
ト云フコトモ加ヘテ構ハヌト云フ御説ハ甚ダ感服シナイ今ノ皇室
ヲ顛覆シ皇嗣ノ順序ヲ紊亂スルト云フコトト危害ヲ加ヘルト云フ
ノト比較シテノ御議論ハ間違ツテ居リマスカラ辯ジテ置キマスサ
ウシテ政府ヲ顛覆スルト云フノモ其仕方ニ依テ或ハ重クスルコト
モアリ或ハ輕クスルコトモアルカラシテ死刑ニ無期禁錮ト云フモ

ノモ加ハツテ居ル感情上カラ之ヲ重クスル或ハ輕クスルト云フコトヲ言ヒ出シタラ速モ刑法ト云フモノハ行ハレヌコトニナルカラ刑法ニ對シテハ感情ノコトハ説カヌ方ガ宜カラウト思ヒマス時ノ裁判官ノ考ヘデ重イ罪ヲ輕クシタリ輕イ罪ヲ重クシタリスルコトハ是ハ裁判官一身ノ善惡ニ依ル國事犯ヲ罰スルト云フコトニ付テモ其處マデ論ジテ居タ日ニハ際限ノナイコトニナルト思ヒマス苟モ死刑又ハ無期禁錮ニ處スルトアル以上ハ其輕重ニ依テ意思ノ感ムヘキ者ハ無期禁錮ニ處セラルルシ又最モ憎ムヘキ者ハ死刑ニ處セラレル斯ウ云フコトニナツテ居レハ矢張り政府ヲ顛覆スルト云フコトモ此處ニ入レテ置タガ宜シイ又入レテ置テ少シモ差支ナイ古賀廉造君 此「暴動」ト云フ言葉ニ付テ先刻石波君ハ全然同意デナイト云フコトテアリマシタガ現行刑法ノ「政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ擧ルニ至ラスト雖モ内亂ト同シ

ク論シ云々」ト云フ此規則ハ無論進入ツテ居ラヌノテス、ソレカラ又「内亂ニ乘シテ人ノ身體財產ニ對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス」是レモ同ジデアル私ノ先刻申シタノハ内亂ニ關シテ人ヲ殺ス家ヲ燒ク若クハ其他ノ罪ヲ犯シタ場合ヲ見テ言フタノテ其場合ハ皆含ム、ソレカラ今尾崎君カラ御説ガアリマシタケレドモソレハ詰リ政府顛覆ノ惡意ノ善ナル方ヲ御覽ニナルカラデアラウト思ヒマス實際國事犯ヲ行フ所ノ人ハ必ズシモ國家ヲ慮ツテ憂慮ニ堪ヘヌト云フ所カラ一身ヲ犧牲ニ供シテ國事犯チャルト云フ人許リニ限ラナイ例ヘハ由井正雪ガ國事犯ヲ犯サウトシタ場合若クハ巽井龍雄ガ維新ノ際ニ兵ヲ擧ケテ官軍ニ抗敵シタ場合ノ如キ孰レモ憂慮ニ堪ヘヌカラ身ヲ犧牲ニ供シテ政府ヲ顛覆シヤウト云フ考ヘデハナカツタ、國事犯ノ名義ヲ以テ罪ヲ犯ス者ハ澤山アリマスケレトモ悉ク其人

ハ忠義ノ心ヲ以テヤルトハ限ラナイ自分一己ノ私心ヲ過フシヤウ
或ハ忿怒ヲ發サウト云フ考ヘデ犯ス者モ身分アル一己人トシテ罪
ヲ犯スノハ小サイカラシテ大キナ事ヲ起シテ自分ノ忿怒ヲ發サウ
ト云フ考ヘテ持テヤル者モ澤山アル、ダカラ到底善キ場合許リテ
見ルコトハ出来ナイ果シテ國事犯ヲ犯ス人間ハ皆國家ノ忠臣ト許
リ言ヘルノナラバ之ヲ罰スル所カ褒美ヲ遣ツテモ宜イ、ケレドモ
ソノ人許リテハナイ身分亂臣賊子ガ多イノテアルソレ故ニ惡ル
イ人間ニ對シテハドウシテモ死刑ハ科サナケレバナラヌ又尾崎サ
ンノ御説ノ如ク善イ人間ニ對シテハ無期禁錮ニ處スル此處ニ兩方
アル以上ハ何ソデモ彼ヲモ皆之ヲ殺シ盡サナケレバナラヌト限ツ
タコトハナイ刑法ノ主義トシテ善イ人間ニ對シテハ良イ刑ヲ科ス
惡ルイ人間ニ對シテハ惡ルイ刑ヲ科スルト云フコトニナツテ居ル
ノテアリマスカラドウカ原案ニ御賛成ヲ願ヒタイ

各聯七ノ五二

村田 保君 古賀君ニ質問シシマスガ古賀君ノ御説ハ暴動ノ際ニヤ
ツタ事ナラ縱令強姦チシヤウト強盜チシヤウト其刑ヲ以テ論シナ
イ

古賀廉造君 現行刑法ハ「内亂ニ乘シテ人ノ身體財產ニ對シ云々」
ト云フ規定ガアツテ斷リガ言フテアル是ハ無論ノコトテアル然レ
ドモ前ニ私ノ言フタノハ暴動ノ中ニ付テヤツタノテアル

村田 保君 暴動ノ中デ、……、……、
古賀廉造君 内亂ニ必要ナル行爲ニ限ル

村田 保君 斯ウ云フ事ガ確カニ分ツタラドウデス暴動ノ際ニ附和
隨行、強盜強姦チヤツタ、ソレチバ禁錮杯ニ處スルノハドウ云フ
譯デアリマスカ

古賀廉造君 ソレハ別問題ダ

村田 保君 何故ニ國事犯ニハ普通ノ刑ヲ科サズニ特別ノ禁錮杯チ

設ケタノテアリマセウカ皆サンノ御論デアレバ懲役ニシテ置テ宜カラウト思フ

古賀廉造君 私ノ論ハ懲役ニスル論ダ

村田 保君 ソレチ懲役ニシナイデ禁錮ト云フ特別ノ刑ヲ設ケルノハ抑モ國事犯ト云フモノハ普通ノ犯罪デナイト云フコトガ分ルダラウト思フ普通ノ刑ニ處サヌデ特別ノ刑ヲ用キル者チ何故ニ死刑ニ處スルカ私共ハ分ラナイ

議長(横田國臣君) モウ大概宜カラウト思ヒマスガーツ尾崎サンノ御説チ確カノタイノデアリマス政府願覆チ別ニスル、一體日本ノハ大キク國事犯トぼんやり言フタノデ外患ニ關スル罪デモ國事犯ニ入レテアルソコデ例ヘバ議院チ打拂ツテ了ウト云フヤウナノハ、、、、、、、

村田 保君 議院ノ制度チ、、、、、、

議長(横田國臣君) 今ノ議院チ、、、、、、

梅 謙次郎君 一寸ソコデ私ノ先刻ノ質問ガ必要デアル私ノ考ヘテハ其目的如何ニ拘ハラナイ議員チ叩キ殺スト云フノハ謀殺デアアル議長(横田國臣君) 決シテ一己人チ謀殺スルト云フ意味デハナク、、、、、、

梅 謙次郎君 ソレハ國ヨリ想像シテ見レバ色々ナ場合ガ起ルデセウガ幸ニシテサウ云フコトハ見タコトモ聞イタコトモナイ又サウ云フ事ガアリサウテナイノハ日本ナラ三百人ガ獲ラズ惜イト云フコトハ事理ニ於テ有リ得ヌモノデアアル獲ラズ殺シテ了ウト云フコトハ氣違ヒニ非ズンバ想像ハ出來ナイソレダカラ外ノ國デモサウ云フ場合ニ關スル刑ハ定メテナイ私共ノ謂フノハ朝憲紊亂ト言ヘナイ政府願覆ノ積リデアアル

議長(横田國臣君) 御趣意ハ政府願覆ト云フモノハ朝憲紊亂ニナ

ラヌ、議院ノ如キハ別ニナル

梅 謙次郎君 政府顛覆デモ政府ト云フモノヲ罷ノテ了ウト云フコトニナレバ朝憲紊亂ニナル

議長（横田國臣君） 國事犯ト云フ意味ガ此處デハ丸デ外ノ國ト變ルダラウト思ヒマス、ソレダカラ政府顛覆ト云フ國事犯ヲ輕クスル意味ニナルノテアリマスカ

都筑馨六君 時ノ政府ヲ顛覆スルト云フ意味ニナル

議長（横田國臣君） ソレテスネ、必ズシモ總テノ國事犯ヲ輕クスルト云フ意味デハナイ

都筑馨六君 サウデス

議長（横田國臣君） ソレテハソレニ付テノ文ハ起草者ニ任セルトシテ兎モ角モ此處デ肝要ナノハ政府ヲ顛覆スルト云フコトヲ別ニシテ是レ丈ケヲ輕クスル、之レデ決テ採ツテ宜イノテスネ

各聯七ノ五四

尾崎三良君 ソレデ宜イ

議長（横田國臣君） ソレデハ尾崎サンニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 少数

議長（横田國臣君） 少数、サウスルト今ノ九十六條ヲ此處デ議スルト云フノテスカ

尾崎三良君 モウソレ丈ケデ宜イ今ノガ成立タネバ外ハ議スルニ及バヌ

議長（横田國臣君） ソレテハ今晚ハ是レデ閉デマス

午後五時十分 散會

第八回刑法各部聯合會議事速記錄

明治三十三年一月二十二日午後三時三十五分開會

出席員

副總裁	清浦	奎	香	君	
委員	三浦	安	君		
全	尾崎	三	良	君	
全	都筑	馨	六	君	
全	長谷川	喬	君		
全	富井	政	章	君	
全	穗積	八	東	君	
全	井上	正	一	君	
全	倉富	勇	三	郎	君
全	古賀	廉	造	君	

日本法律學會
 編輯部
 東京市千代田區
 本町二丁目

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	委員
柏原	中川	波多野	小河	一木	小松原	重岡	道家	亀井	岡野	梅	平田	穂積
與次郎君	孝太郎君	敬直君	滋二郎君	喜徳郎君	英太郎君	薫五郎君	齊君	英三郎君	敬次郎君	謙次郎君	東助君	陳重君

各聯八ノ五六

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
横田	三好	前田	江木	村田	菊池	高木	土方	富谷	田部	河村	石渡	田部	河村	石渡	田部	河村	石渡	田部	河村	石渡
國臣君	退藏君	孝階君	裏君	保君	武夫君	豊三君	寧君	銚太郎君	芳君	謙三郎君	敏一君	芳君	謙三郎君	敏一君	芳君	謙三郎君	敏一君	芳君	謙三郎君	敏一君

缺席員

本學社
御
興會

議長（清浦副總裁） 是レヨリ聯甲第八號議案ニ付テ會議ヲ開キマ
ス

（書記朗讀）

聯甲第八號

一刑法ニ於テ親族相姦ノ規定ヲ設クルヲ可トスル哉

村田 保君 今日ノ會議ニナリマシタル親族相姦ノ規定ヲ設クルヤ
否ト云フコトテゴザイマスカ之ハ私ハ先日修正案トシテ出シマシ
タカ遂ニ聯合會ヲ開クコトニナリマシタ此度ノ修正案ニハ此親族
相姦ノ尊屬親ト卑屬親トノ姦通ト云フモノハ不問ニ措テ刑法ニ掲
ケテナイソレト云フノハ現行法ニモ此親族相姦ノ刑カ掲ケテナイ
ソレ故ニ此度ノ修正案ニモ掲ケラレナイノデアリマスカ併シ現行
法ノ親族相姦ヲ掲ケナカツタノハ私モ其時分ニ丁度其會議ニ與ツ
テ居リマシタカ其時分ニ親族相姦ヲ掲ケナカツタノハ日本ニハ斯

各聯八ノ五七

ウ云フ事ハナイ尊屬親ト卑屬親トノ姦通ト云フヤウナコトハ日本
杯ハ最モ人倫ヲ尊フ國デアルカラ人倫ヲ尊フ國ニハサウ云フ事ハ
ナイカラ斯ウ云フ規定ヲ設ケルニハ及ハヌト云フヤウナ理由ガ主
モトナツテサウシテ今日ノ刑法ニハ掲ケナイコトニナツタノデア
リマス乍併親族相姦ノ罪ト申スモノハ本邦ニ於テモ太寶律以來ア
ツタモノテ明清律モ其通りデアリマス又御維新後ニモアリマシタ
幕府ノ百ヶ條杯ハ最モ嚴密ニ設ケテアリマシタ新律綱領モ矢張り
之ハ嚴ニ罰スルコトニナツテ居リマシタソレカラ私ノ調ヘマシタ
所テ各國ノ刑法ヲ見ルニトコノ國ノ刑法テモ此親族相姦ノ刑ノナ
イ所ハ殆ントナイトコトモ設ケテアリマスソレテ此現行法ヲ頒布
ニナリマシタ後私カ獨逸ニ往キマシテあそこノ「ベルネル」ト云
フ人ニ就テ三ヶ月モ日本ノ刑法ヲ講究シマシタ時分ニ日本ノ刑法
ニ此親族相姦ノ刑ノナイノヲ非常ニ異ンテ居リマシタ大變異ミ又

之ヲ驅チマシタカ私ハ其時分ニ報告ヲ致シマシテ確カ司法省ニコ
 サイマセウカ非常ニ向フテ驅ツノミナラス外國人カラ見ルト非常
 ニ驚クコトダラウト思ヒマス今日刑法カ改正ニナル際ニハ別シテ
 私共ハ此親族相姦ハ熱心ニ設ケタイト思ヒマス之ヲ揭ケテ置カナ
 イト尊屬親ト卑屬親トノ間ニサウ云フ姦通ヲシテモ構ハヌト云フ
 コトニナリマス刑法ニナケレハ一向構ハヌカラシテモ構ハヌト云
 フコトニナリマス現ニ刑法ニナイ事ハ、ソレヲ置クト違レテ色々
 ノコトヲシマス既ニ此間モ此處テ問題ニナリマシタカ猥褻ノ圖畫
 ト云フヤウナモノハ公然陳列スルコトハナラヌトアルト公然テア
 ルカラ譬ヘハ店ニ出サヌテ裏ニ置クトカ又販賣スルト云フコトタ
 カラ實本テ貸スノハ構ハヌト云フノテ少シテモ刑法ニナイ事ナラ
 ハヤル刑法ニナイ事ナラハ大事ナイ構ハヌト云フコトニナリマス
 既ニ先日モ申シマシタカ江藤新平ト云フ人カ親族相姦ノ事カ書テ

ナカツタ、ソレカ出タ、トウシテ處分ヲシタラ宜シイカト書フタ
 ラ死刑ニ處シテ仕舞ヘト書ツタソレハえらひテハナイカト書ツタ
 ラ親子テヤツタノタカラ之ハ畜生テアル畜生テアルカラ殺シテ仕
 舞ヘト云フヤウナコトテ遂ニ死刑ニ處シタコトカアリマス隨分田
 舎杯ニ往クト親子テ姦通ヲ致シテ居ル者モアリマス兄弟テヤツテ
 居ルノモアリマス事實カ段々アリマスアツテ見レハ此刑ヲ設ケヌ
 ト云フコトハナイト思ヒマス此位倫理ヲ破ルコトハナイソレヲ此
 刑法ニ置カナイト云フト——刑法ニ掲ケテナイテ親子姦通モ
 兄弟姦通モ構ハヌ暗ニ宥スト云フコトニナラウト思ヒマス最モ倫
 理ヲ重ンスル——教育上デモ倫理ヲ最モ重ンシナケレハナラ
 ヌ然ルニ一方ノ刑法ノ方テ些ツトモ構ハヌト云フコトハドウモ私
 ハ道理上ニ於テモソシナコトハアルマイト思ヒマスソレテドウソ
 此改正ノ際ニ當ツテハ之ヲ設ケテ置キタイ又各國ノ刑法ニモアル

印度ノ刑法ニモアルサウシテ看ルト我邦ニ於テ今日此改正ノ際ニ當ツテ之ヲ設ケヌノハ最モ缺點ト思ヒマス折角今日刑法ノ改正ヲシテ善クシヤウト云フノニ斯ウ云フ缺點ノアルノハ如何ニモ遺憾ニ思ヒマスカラトウソ皆サンノ御賛成ヲ得テ是非之ヲ設ケルコトニシタイノテアリマス

倉富勇三郎君 只今村田委員カラ親族相姦ニ關スル規定ヲ刑法中ニ設ケタイト云フ御説カ出マシタ、所カ此點ニ付テハ私ハ兼テ刑法中ニ親族相姦ニ關スル規定ハ設ケナイカ宜カラウト云フコトヲ信シテ居リマス勿論其趣意ニ至ツテハ村田君ト同様テ親族相姦ハ極悪ルイコトテアルト云フコトハ同感テアリマス乍併之ヲ刑法上ノ罪トシテ刑法ヲ以テ之ヲ禁スルト云フコトハトウモ實際得策テナカラウト思ヒマス成程只今村田君カラ御述ヘニナツタ通り我邦ニ於テモ古來親族相姦ニ關スル規定ハアツタニ相違ナイ維新後ニ於

テモ新律綱領ニモ確カニアル又外國ノ例ヲ見テモ各國ノ刑法ニモ大概アルヤウテアリマス然ニ現行刑法ニハ親族相姦ニ關スル規定カナイ其ナイノモ大變理由ノアルモノト思ツテ居リマシタカ只今村田君ノ御説明ニ據ルト日本ニハ親族相姦杯ノ事實カナイカラ規定ヲ設クルニ及ハヌト云フ詮議テアツタサウテアリマス其詮議ハ是迄想像シテ居ツタ事トハ違ヒマスカ兎ニ角其理由ノ如何ニ拘ハラス現行法ニ此規定ノナイノチ大變悅ンデ居リマス親族相姦ハ勿論悪ルイコトテアリマス乍併之ヲ刑法上ノ罪トシテ罰スルト云フコトハ私ハ罰スル所ヨリ生スル利益ヨリモ之ヲ罰スル所ヨリ生スル弊害即チ不利益ノ方カ多カラウト思ヒマス刑法テハ悪ルイ事ハ悉ク網羅スルト云フコトハ出來ナカラウト思ヒマス現ニ姦通ニ關スルコトハ刑法テ普通ノ場合ニ罪トスルニ拘ハラス其被害者ノ親告ヲ俟ツテ罰スルト云フコトカアリマス同シ罪トスルナラハ被害

者ノ親告チ俟タヌテ罰シサウテアリマスカ被害者ノ親告チ俟タヌ
 テ罰スルノハ却テ罰セナイヨリモ罰スル方カ弊害カ多イト云フコ
 トテ此親告罪ト云フモノチ刑法ニ設ケルノテアラウト思ヒマス此
 親族相姦モ其通リト思ヒマス徳義上ハ成程悪ルイコトテアリマス
 カ此罪チ刑法ニ設ケルカ爲ノニ穩密ノ間ニ匿レテ居ル事チ暴露シ
 テサウシテ醜狀チ世ノ中ニ公ニスルコトハ之チ罰セナイヨリモ罰
 スル方ノ弊害カ多カラウト思ヒマス若シモ悪ルイコトテアルト云
 フ一點カラ議論チ立テレハ親族相姦ハ勿論悪ルイ、ソレカラ又履
 主カ履人ト姦スルト云フコトモ悪ルイ又同性ノ間ノ姦淫ト云フコ
 トモ悪ルイ總テ刑法チ罰スルト云フコトニスレハサウ云フ種類計
 リテナク普通ノ和姦テモ悪ルイニ相違ナイ現ニ新律綱領ニモ普通
 ノ和姦モ罰スル規定カアツタノテアリマスカ乍併之ハ罰セヌヨリ
 モ罰スル方カ弊害カ多イト云フコトテ廢サレタノテアリマスソレ

各聯八ノ六〇

ハ罰セヌヨリモ尙ホ弊害カ多イカラテアリマス只今ノ村田サンノ
 御説ノ如クスルト現ニ今日テモ和姦ト云フ律ハナイソソナラ和姦
 ハシテ宜シイカシテ宜シイ事タカラ獎勵スルト云フコトテハ勿論
 ナイカ和姦マテ罰スルト云フコトハ其隱秘マテモ許クヤウニナツ
 テ却テ弊害カ多イカラ罰セナイノテアルト思ヒマスソレテ此親族
 相姦モ決シテ善イ事テハナイカ之チ罰スルカ爲ノニ弊害カ生スル
 ナラハ刑法上テハ罰セヌ方カ宜シイト思ヒマス刑法チ禁セナイ事
 ハ總テシテ宜シイト云フ事柄テナイト思ヒマスソレハ刑法上ノ制
 裁チ付ケヌテモ一般ノ徳義上ノ制裁ニ止メテ置ク方カ實際利益ガ
 アルト思ヒマス今日日本ニハ親族相姦カナイ事實カナイカト云フ
 ト決シテナイトハ申シマセヌ隨分アラウト思ヒマス乍併ソレカ刑
 法上ノ罪トナツテ居ナイカラシテ先ツ隱密ノ間ニ濟ンテ仕舞ウ幸
 ニ日本テハ社會ノ徳義上ノ制裁ニ付テハ隨分烈シイモノテアリマ

スカラ刑法上之ヲ罪トセヌテモ社會ノ制裁ガアルト云フコトハ確
 カテアリマスカラ此制裁ニ止メテ往クト云フコトテ宜カラウト思
 ヒマス之ヲ刑法上ノ罪トスルト云フコトニ付テハ先刻モ申シマシ
 タ通り隱密ノ醜狀ヲ暴露シナケレハナラヌト云フコトカ私共ノ心
 配スル所テアリマスカソレノミナラスモウ一ツアリマス假リニ親
 族姦ニ因テ生レタ子カアルトスルト今日ノ有様テアレハ單ニ私生
 子ト云フ有様ニ止マル全體私生子ト云フコトカラ其子ニ對シテ忍
 ヒヌ何モ罪ノナイノヲ法律上罪トスルノハ甚タ氣ノ毒ナ位テアリ
 マスソレカ氣ノ毒ナ位テアルニモウ一ツ斯ウ云フ規定ヲ設ケルト
 其子ハ亂倫ノ子ト云フ事ヲ證明スルコトニナルノテアリマス今日
 私生子ト云フコトカ一般ノ人カラ餘リ善ク待遇サレマセヌ其上ニ
 持ツテ往ツテ親族相姦ノ子テアル亂倫ノ子テアルト云フコトヲ言
 フ以上ハ子タル其者ニ對シテハ此上モナイ不幸テアルト思ヒマス

ソレテ如何ナル有様カラ觀テモ之ヲ刑法上ノ制裁ニセヌテ全ク社
 會ノ德義上ノ制裁ニ止メテ置クカ宜カラウト思ヒマス若シ各國ニ
 例カアルト云フコトテ之ヲ規定スルコトニナレハ一寸私杯カ見タ
 所テハ芬蘭ノ規定テハ此邊ノ規定テハ此邊ノ規定ハ有ラユル大變
 詳シイ規定ヲ設ケテ居リマスカ刑法ニ規定シナイコトハ總テシテ
 モ宜シイト云フ事ノ論カラ往ケハアノヤウナ詳シイ規定ヲ設ケナ
 ケレハナラヌサウ云フ事ハ到底出來得ラレルモノテアリマセヌカ
 ラ之ハ刑法上ニ特別ノ規定ハ設ケナイト云フコトニシタイト思ヒ
 マス

村田 保君 只今倉富君カラ段々御反響カアリマシタカ倉富君モ之
 チ惡ルイ事ト御認メニナツテ居ルノハ同シ事ト言ハレルカトウモ
 論カ買カヌト思ヒマス成程新律綱領杯ニ和姦カアリマシタカ之ハ
 和姦トハ一緒ニナリマセヌトウモ和姦ハ是カラ婚姻チスルカモ知

レ又婚姻ノ下地カモ知レ又單ニ親告罪ノコトヲ申サレタカ是レ丈
ケハ是非申サナケレハナラ又何セト云フニ之ヲ許キ出スト云フト
是レカラ嫁ニ往カントシテモ往クコトカ出來又ヤウニナルカモ知
レ又有夫姦テモサウテアリマス夫カ承知シテ居ルカモ知レ又ソレ
チ脇カラ許キ出スコトハ出來マセ又又處女テアルト雖ヘハ他人ニ
強姦チサレタ默ツテ居レハ穴カ知レ又ノニ之ヲ許テ其人ノ一生ノ
名譽チ害シテモ何ニモナリマセ又ソレ故ニ親告罪テナケレハナラ
又、所カ此親族姦ハサウ云フモノテナイ若シ倉富君ノ御論ニスレ
ハ親族ノ婚姻チサセテモ宜シイ親族間ノ婚姻チ許シテ宜シイケレ
トモ之ハ民法上許シテアリマセ又民法ニ於テ禁シテアリマスサウ
シテ看ルトソレチ犯スト刑法上テ罰スルノハ當リ前テアリマス乍
併此和姦トカ雇主カ雇人トヤルトカ云フコトハ之ハ民法上構ヒマ
セ又隨分婚姻カ出來マスソレチモ罰スルト云フコトハ或ハ酷イカ

モ知レ又ト思ヒマスカ此親族相姦ニ至ツテハ親子トカ兄弟トカ云
フ者ハ之ハトシテニ罰シテモ却テソレカ爲メニ害カ多イト言ハレ
ルカ決シテサウ云フ事ハナイ害ハ少ナイト思フ後ノ懲シメノ爲メ
ニ酷トク罰スル方カ宜シイサウ云フ者ハ成ルヘク酷トク懲シテ後
後サセヌト云フ事ニシナケレハナラ又一體刑法チ設ケル趣意ハ後
ノ弊チ防クカ爲メニ刑法チ設ケ罰チ設ケルノテアルサウスルト後
ノ者ニ出來ナイヤウニ前ニ懲シメテサセナイヤウニシナケレハナ
ラヌト思ヒマス和姦杯ハ惡ルイニハ相違ナイカ婚姻ニハ澤山出來
マスソレハ御論ハ間違ツテ居ルタラウト思ヒマス

小河滋二郎君 私モ大體只今倉富サンノ御説ト同感テアリマス即チ
親族相姦ノ規定ハ此際刑法ニ設ケタクナイト云フ考テアリマス村
田サンカラ段々御説モアツテ各國ノ法律ニアル印度ノ法律ニモア
ルト云フコトテアリマシタカ私カ惟フニ支那ノ法律ニハ尙ホ嚴重

ナ規定ヲ設ケテ居ルト思ヒマス斯ウ云フ規定ヲ印度、支那、朝鮮
 杯ニ要スルノハ即チ野暮ニ適當スル證據ニアリマス村田サンノ御
 意見テハ羅馬刑法以來各國皆アルト云フコトテアリマスカ羅馬ニ
 ハアルマイト思ヒマス獨乙杯テハ中古時代ニハ非常ニ嚴重ニ罰シ
 タモノテ甚敷ニ至ツテハ之ヲ火炙リニシタイト云フ例モアリマス
 然ルニ社會カ段々進ムニ從テ之ヲ罰シテモ其範圍カ狭クナツタノ
 テアリマス、テ今日各國皆此規定カアルト云フコトテアリマスカ
 成程之ニ多少似寄タモノハアリマスカ近來ノ學者ハ見テ居ラヌ
 ヘハ和蘭刑法ハ此親族相姦ハ見テ居リマセヌ又羅馬系統ノ各國ノ
 刑法ヲ見テモ村田サンノ御意見ノ意味ハ殆ント獨乙ト同様テアリ
 マスカ此規定ハ羅馬系統ノ規定ト自カラ趣チ異ニシテ居リマス
 ヘハ尊屬親ノ如キ監督者タリ保護者タル地位ニ立ツヘキ人カ其權
 チ濫用シテ姦通チシタト云フヤウナトキハソレハ重ク罰スルト云

各册八ノ六三

フコトハ各國ニ規定カアリマス併シ之ハ別問題ト思ヒマス單ニ親
 屬テアル尊屬親卑屬親テアルト云フカ爲ノニ其姦淫ヲ罰スルト云
 フコトハ近來ハ段々歐羅巴杯ニ於テモ之ヲ採用シナイ傾キモアリ
 マス現ニ「テーリー」杯ノ説テモ斯ウ云フモノヲ罰スルノハ善ク
 ナイト云フコトヲ言フテ居ルノテアリマス此「テーリー」杯ノ説
 イテ居ル所ヲ見テモ斯ウ云フ犯罪ハ詰リ下等社會ノ風儀ノ必要カ
 ラ出ル法律テ縱令法律ニ定メテモ醜チ社會ニ現ハス丈ケテ刑罰ノ
 效能カナイト云フコトヲ言フテ居リマス尙ホ之ハ歐州ノ如キ階イ
 所ノ穴倉ノヤウナ狭イ處ニ一家カ一緒ニ寢テサウシテ兄弟或ハ親
 子カ同衾スルト云フヤウナ風習ノアルカ爲ノニ其結果トシテ親族
 ノ相姦ト云フ事實カ現レテ居ルノテアリマス然ルニ我邦ニ於テハ
 幸ニ未ダサウ云フ有様テナイ社會ノ有様カ大ニ歐羅巴杯ト異ニシ
 テ居リマス殊ニ現行刑法ノ發布以來斯ウ云フ必要チ認メル事實カ

ナイノテアリマス且近來ノ學者ノ説ニ據ツテ見テモ斯ウ云フ親族相姦杯ヲ法律テ罰スルコトハ宜シクナイト云フ説ヲ主張スル者モ大分アリマスノテ唯タ各國ニ例カアルカラ日本ニモ之ヲ設ケルカ宜シイト云フ説ハ感服カ出來マセヌ飽ク迄モ原案ノ通りニ設ケナイト云フコトニ贊成シマス

古賀廉造君 一言村田君ノ案ニ贊成ノ趣意ヲ述ヘマス其趣意ハ略ホ村田君ノ説ヲ分ツテ居リマスカソレニ加ヘテ言フ事ハ親族相姦カアツタト假定チシテ其間ニ出來タ子カアル其子ハ親族上トコニ位スル凡ソ親族ト云フモノハ夫婦ノ關係カラ生シテ來ル夫婦カ即チ此親族ヲ作ル根原テアリマス此夫婦チナイ婚姻外テアツテモ内亂ノ關係ハ親族ヲ作ル根原テアリマス今親子ノ間テ姦通チシタ之ハ親族テアル其親族ノ間ニ出來タ子ハ何ンテアル私ノ親ハ私ノ子ノ親テアル到底今日ノ親族ノ制度チ全ク擾亂スルコトニナル兄弟テ

モ同シテアツテ兄弟ノ子ハ他ノ兄弟カラ言ヘハ叔父甥ノ關係テアル其間ニ出來タ子ハトウカナラハ子カラ言ヘハ母テアリ親テアル外ノ兄弟カラ言ヘハ叔父、甥テアル若シ此世ノ中ニ親族關係ヲ必要トシナケレハ格別テアルカ親族關係ハ總テノ權利關係ニ必要テアルト云フノカ道理テアル此道理ニ基イテ民法カ出來テ居ル之カ果シテ此世ノ中ニ必要ナラハ此禁制ヲ設ケナケレハナラヌ外ノ理由ハ除ケテ議令ヒ日本ノ家族制度ニ於テ親族關係ヲ擾亂スルト云フ方法ハ之ハ許シテ宜シイト云フ御議論ハ外ニ小河君杯ノ言ハレタヤウナ理由カアツテモ此理由ト比較シテ何レカ重イカ私ハ親族關係ヲ亂スノハ實ニ恐ロシイ弊害カアルト云フ慮リカアルカ故ニ之ヲ設ケタイト云フ考テアリマス倉富君ノ亂倫ノ子カ出來タラトウテアルソレカラ又親族相姦ニ付テ之ヲ許キ出シタラ一家ノ和合ヲ擾亂スルト云フコトテアルカサウ云フ家ハトコマテモ止メタイ

恰モ今日ニ於テ父母ニ對シテ毒養ヲ缺クトカ監禁罪ヲ犯ストカ其
 他ノ罪ト雖モ今日ノ刑法ニ於テ重ク罰スルノテアリマス、ダカラ
 シテ倉富君ノ言ハレタヤウナ理由ハ到底此親族關係攪亂ノ弊害ニ
 打勝ツコトハ出來ヌト思ヒマスソレカラ今日ノ刑法學者ハ此規則
 チ置クカ惡ルイト云フカ「テーリー」ハトウテコサイマセウカ刑
 法ヲ以テ罰スルノハ總テ犯罪ノ豫防法テアル已ムヲ得サル場合ニ
 於テハ法律ヲ以テ防カナケレハナラヌ法律ヲ作ツテ原因ニ於テ惡
 ルイモノカアレハ總會ヒ法律ヲ作ツテモ其法律ハ死ヌルカ先ツ原
 因ノ惡ルイモノヲ防カナケレハナラヌト云フ説テアリマス要スル
 ニ苟モ此親族ノ制度ヲ維持セントスレハ之ヲ亂ス原因ハ刑法ニ於
 テ禁スルカ國ノ法律トシテ必要テハナイカト思ヒマス

横田國臣君 此風俗ヲ害スル罪ニ付キマシテ猥褻トカ姦淫トカ云フ
 コトニ付テ先刻カラ色々議論ガアリマシタ是ニ付テ私ハ甚タ惡意

各論八ノ六五

カ違ウノテアリマス其惡意カ違ウト云フノハ之ヲ重ク防キ出サウ
 トシテ極、立入ツテヤルト云フコト其惡意ト違ウノテアリマス私
 ハ猥褻トカ姦淫トカ斯ウ云フヤウナモノハ唯々現ハレタ所ヲ罰シ
 テ置ケハ宜シイト云フノカ惡意テアリマスソレハ何セカト云フニ
 此猥褻斯ウ云フ罪ニ付テハ一體風俗ヲ害スルノハ大概サウテアリ
 マスカ直接ノ被害者ト云フモノハナイ唯々間接ニソレテ以テ社會
 ニ惡風俗カ蔓延シテハナラヌト云フ丈ケテ直接ノ被害者ハナイ直
 接ノ被害者ノアルノハ有夫姦ト良家ノ子女ヲ惡ルクシ爲スト云フ
 ノカ先ツ被害者カアルト言フテ宜カラウト思ヒマス其被害者ノナ
 イモノテアリマスレハ成ルヘクナラハ非常ナ弊害ノナイ限リハ唯
 タ現ハレタ所ヲ置キタイト思ヒマスソレテ現行刑法ニ此親族姦ト
 云フモノカ省テアリマスカ私ハ此現行刑法中ノ一番トマテハ性カ
 ヌカモ知レマセヌカ現行刑法ノ大變ニ宜イ出來事ト思ヒマス古實

君ハ惡事タカラ罰スルカ宜イト云フコトヲ先達モ言ハレタカ決シ
 テサウ云フモノテナイ其惡ルイ事ト云フノカ今大變外ノ者ニ害ヲ
 及ホストカ何ントカ云フ事ナレハソレハ一ツモ容赦ハ出來マセヌ
 先ツ早イ事カ實際ノ事古賀君ハ實際ノ事ニ極、明ルイカラシテ此
 姦罪ヲ繼會ヒ立タ所カ惡事ナラハ必ラス罰スルカ宜シイト言フカ
 ハ知ラヌカ是計リテナイ犯姦罪テモサウテアルカ之ハ被害者ノ告
 訴ヲ待ツテヤラネハナラヌトアル町内ニ知ラヌ者ハ亭主計リト言
 フカラシテ之ヲ必ス罰スルト云フコトナラハ古賀君ノ如キハ日日
 探偵カ何カ使ツテお前ノ所ノ女房ハ間男チシテ居ルテハナイカ訴
 ヘルカ宜イト云フコトチヤルニ相違ナイ又あの内ハ親子テヤツテ
 居ルト云フヤウナコトテ縁ノ下杯ニ探偵チ入レテ探ルト云フヤウ
 ナコトニナルカモ知レヌ若シ此親族姦チ罰スルト云フヤウニナツ
 タ所カサウ云フ檢事ヤ警察官カアツタナラハ其方チ免職シテ宜シ

各聯八ノ六六

イ位テアル犯姦罪ノ如キハ猶然リテあそこノ奴ハトウトカ云フヤ
 ウナ事ヲ探スヘキテナイソナ事ハタトヒアツタ所カほつたらか
 シテ宜シイ又之ニ付テ餘程歴史上考ヘテモ見マシタカ日本ニハ幸
 ヒノコトニトウ云フコトカラ來タモノカ知ラヌカ或ハ感覺カラ來
 タノカモ知レヌカサウモ思ヘヌ其仕合セト云フノハ何レ此ノ親族
 相姦ノ如キハ昔シハ多カツタニ違ヒナイ昔シハ親族姦ノ善シ惡シ
 ハ知ラヌコトモアツタカモ知レヌ此日本ノ歴史上見ルヘキモノカ
 澤山アリマスソレカ次第々々ニ滅シテ來テ居リマス吾ハ自分ノ郷
 里ニ遊ンテ居ツタコトモアルカ吾々ノ郷里テハ此親族相姦ハ殆ン
 ト耳ニモセヌテアツタ儘カニ此東地ニ來テカラ叔父叔母トカ云フ
 ヤウナ者カアルト云フコトヲ聞テ居リマス、所カ向フテハサウテ
 ナイ佛蘭西テハ現ニ叔父叔母トカ何ントカ云フ婚姻ハ大統領ノ許
 可ヲ得レハ許サレルヤウニナツテ居リマス或ハ獨逸杯テハ公然之

三編 法律 卷之八
チ許シテ居リマスサウシテ見ルト此姦罪チ罰スルカラシテ大變其
國ハ此親族姦ハナイト云フ譯テハナイト思ヒマス丸テあべこべト
思ヒマス之ハ歐羅巴ノ實際晰シテアリマスカ地獄杯カアリマス吾
吾ハ兄弟ノ間カラシテ生レタト云フヤウナ者カアリマスソレハ其
咎テアリマス向フハ貧乏人ハ寢床ニ金カ掛ルカラ皆一ツノ寢床ニ
寢ルカラテアリマスソレハソレ計リノ原因テモアリマスマイカ今
日私カ實事上チ舉ゲタラ此親族姦チ罰スルナラハ歐羅巴ノ方カ餘
程こちヨリモ斯ウ云フ者カ多イト思ヒマスソナラ歐羅巴ニハ
刑法ニ斯ウ云フ事カ上ケテアルソレナラハ内々陰索シテ罰スルカ
ナラハソレハ決シテサウテナイソレテ斯ウ云フ者ノ罰セラルルノ
ハ必ス是レカラ何カ事カ起ツテ暴露シタ場合ヨリ外ナイソレテ古
賀君ハ兄弟ノ間ニ出來タ子ハ戶籍ニトウスルカト云フヤウナ御話
シモアリマシタカ決シテ戶籍ニ兄弟カ已レノ子ト云フヤウナコト

各編八ノ六七

チ認メル者ハ居リハシナイ是迄現行法カ行ハレテ以來認メマセヌ
或ハ兄弟カ往ツテ認メルカモ知レマセヌカサウ云フ者ハアリハセ
ヌソレテ今此親族姦ノ如キハ些ツトモ刑法ノ罰チ用キスシテ歴史
上ハ次第々々ニ減シテ來テ無クナツテ往クヤウニナツテ來マスソ
レニ持ツテ來テ刑法テ罰スルノハ私ハ却テ之チ刑法テ作り出スヤ
ウニナルト思ヒマス斯ウ云フ者ハ決シテ罰チ恐レテヤラヌト云フ
ヤウナモノテナイ若シアレハ餘儀ナイ事情カラ起ツタノテ減汰ニ
ナイ之ハトウモ日本計リテモアリマセヌカ人間ノ性質ニ反シタモ
ノテアリマス之ハ是レ計リテナイ餘所ニハ重姦チ罰スル女ト女ト
シタノチ罰スルト云フヤウナコトモアリマス種々ナ事カアリマス
唯タ法文チ穢ナクスルノミテソレ文ケノ效能ハナイト思ヒマス私
ハ有夫姦デモコンナ罰ハ取ツテモ宜シイト云フ位ノ考ヘテアリマ
ス、カソレカトウモ行ハレヌノテアリマス今日ノ時代テハマタソ

レマテニハ往カヌカモ知レマセヌカ餘リ深ク道徳ヲ責メテ此間モ
 枕草紙ヲ見タ者モ罰スルトカ云フヤウナ色々ナ説モアリマシタ實
 質チスルノチ罰スルト云フヤウナ色々ナ説カアリマシタカソレ所
 テナイ現ニ實事チヤル者チ罰セスシテ唯タ本チ借リテ見ルト云フ
 ヤウナ風ニ行届カヌテ宜シイ行届カセヤウトスルト其爲ノニ非常
 ナ手數カ掛ツテ片付キハシナイ元來直接ノ害ノナイモノハ總テサ
 ウテアル相場トカ賭博トカ之ハ非常ニ弊害カアルカラ仕方カナ
 ヤウナモノテアリマスカ斯ウ云フ者ハ何カ盜坊トカ何トカ云フ者
 トハ大變事カ變ツテ居リマスソレテ姦罪ノ如キハ上邊チ綺麗ニシ
 テ最モ公然ノ場所テヤルトカ風俗ノ亂レルコトカ出來レハソレハ
 充分取締ルカ宜シイカ之チ内ニ遁入ツテ今ノ道徳カヤルヤウニ立
 テタ所カシツカリハ出來ヌ何時モ詮索チシテ必ス罰スルト云フヤ
 ウナコトハ出來ヌ若シ罰スルナラハ何カ是レカラシテ事カ起ツテ

各聯八ノ六八

丁度墮胎ノ現レタヤウナ風ニ其現ハレタ所チ罰シテ置ケハヨロシ
 イソレテ私ハ非常ニ現行刑法ノ方チ贊成シマス

三浦 安君

此事ニ付テハ種々ノ御説カ出マシタ就中親族相姦ト云

フモノハ少シモ弊害チ蒙ラヌト云フ御説モ出マシタカソレハ理窟
 チ付ケテ言ヘハ言ヘマセウカ抑モ民法親族編ニ於テ第七百六十九
 條第七百七十條第七百七十一條マテニ直系血族間、直系姻屬間ニ
 於テハ婚姻チスルコトハナラヌト云フコトチ極メテアルノニ之カ
 公然ナラヌト雖モ即チ婚姻ニ屬スル姦通ハトウシテモ罰セサルチ
 得ヌ若シ之チ罰セサルトキハ民法ニ於テ是々ノ者ハ婚姻ハ出來ヌ
 ト云フコトチ極メタ效カナイ成程曠事テアルカラ現ハレルコトハ
 少ナイカナイトハ言ヘナイ現行法ハ暫時ノ間テ改正ニナルカラ宜
 シイカ從前アツタモノチ今日ニ於テ省クト云フカハ少シモ見ヘナ
 イ之チ刑法ニ設ケテ置テ少ナクナツテ罰スル箇條チ用キルコトカ

ナケレハ寔ニ仕合せテアル親族相姦ハ外ニ現レルニ依テ探求力要
ル事實現ハレヌノニ探求ヲ其家ニ入レルト云フヤウナ心配ハ要ラ
ヌ斯ヤウナ醜體カ自然ニ現レテ來ルノヲ罰スルノテアル、アルカ
ナイカチ詮索シテ罰スルノテナイソコノ緩急ハアルノテアリマス
カラ之カ設カツタニ依テ直クニ每晚庭ノ隅ニ遁入ツテ竊ハナケレ
ハナラヌト云フヤウナ心配ハ要ラヌト思ヒマス大體ニ於テ民法ニ
是々ハ婚姻ヲスルコトハナラヌト極メタ以上ハ其婚姻スマシキ者
ト姦通シテソレカ世上ニ現レ繼令ヒ告訴者ナキト雖モ世上ニ現ハ
レテ捨テ置ケヌモノハ罰シテ宜シイ元來人ノ禽獸ニ異ナル所以ハ
親族ノ差別カアルカラテアル禽獸ハソレチ知ラヌカラテアル人ハ
其親族ノ差別チ知ツテ居ルカ爲メニ秩序カ立ツテ居ルノテアル然
シ姦害チ蒙ラヌカ知レマセヌカ親子相姦シ兄弟姦スルノハ即チ禽
獸ト同シテアルソレハサセナイヤウニ刑法ニ設ケテ置テ若シナケ

レハ仕合せ、アレハ已ムチ得ズ罰スルト云フコトヲ規定スルカ宜
シイト思ヒマス是等ハ理窟チ言ハヌデ能ク分ツテ居ルコトデア
西洋ノ例チ引テ寢床チ一緒ニスルト云フヤウナ説モアツタカソレ
ハ唯タ辭チ巧ミニニスル丈ケテアル大體人ノ禽獸ニ異ナル所以ニ依
テ之チ大體ニ於テ罰セナケレバナラヌソレテ民法ニ於テモ婚姻カ
出來ナイ其出來ナイノチ相姦シタト云フ事カ苟クモ世上ニ現レテ
捨テ置クヘカラサル者チ刑スルノデアリマス然ラハ其罰ノ設ケ方
ニ至ツテハ種々御説モゴザイマセウガ之チ設ケル設ケナイニ至ツ
テハ若シ之チ設ケスンバ日本ハ父子相姦シテモ構ハヌ國ト謂ハサ
ルチ得ヌ諸君ノ些々タル御説ニ付テハ申シマセヌカ此大體ニ於テ
之ニ反對セラルル御方ハ民法ニ於テ是レ々々ハ婚姻ヲスルコトハ
出來ヌト云フコトヲ極メタノチ御考ヘニナツタラ當然之ハ設クヘ
キモノト云フコトニ御贊成ニナルベキコトト思ヒマス

議長（清浦副總裁） 議論モ大概竭キタヤウニ思ヒマスカラ採決シ
マセウ親族相姦ノ規定ヲ設クルヲ可トスル方ハ起立

起立者（三人） 少数

議長（清浦副總裁） 少数ソレデハ此問題ハ消滅シマス、、、

今日ハ聯合會ノ問題丈ケテアリマスカ續テ都會ヲ御開キニナリマ

スカ

横田國臣君（部長） 若シ御異議ガナケレハ開キタイト思ヒマス

議長（清浦副總裁） ドウゾサウ願ヒマス

（後都會ヲ開カントセシモ出席人員少数ノ故ヲ以テ散會セリ）

于時午後四時二十五分 散會

XB60
N6
1b

法典調査會

XB230
11-1

刑法聯合會議事録

第2巻

のこし「第9回議事録」は
早大図書館蔵分も抜けて
ありません。

61.3.14 受

社団法人 商事法務研究会

調査會蔵書

學術振興會

議長（清浦副總裁） 議論モ大概竭キタヤウニ思ヒマスカテ採決シ
マセウ親族相姦ノ規定ヲ設クルチ可トスル方ハ起立

起立者（三人） 少數

議長（清浦副總裁） 少數ソレデハ此問題ハ消滅シマス、、、
今日ハ聯合會ノ問題丈ケテアリマスカ續テ部會ヲ御開キニナリマ
スカ

横田國臣君（部長） 若シ御異議ガナケレハ開キタイト思ヒマス
議長（清浦副總裁） ドウゾサウ願ヒマス

（後部會ヲ開カントセシモ出席人員少數ノ故ヲ以テ散會セリ）

于時午後四時二十五分 散會

昭和十二年九月十四日寫了司法省法律調査會藏書

日本學術振興會

第四部第十回各部聯合會議事速記錄

第一頁
第二頁
第三頁
第四頁
第五頁
第六頁
第七頁

第一頁
第二頁
第三頁
第四頁
第五頁
第六頁
第七頁

第四部第十回各部聯合會議事速記錄

明治三十三年五月二十三日午後三時五十分開會

出席員

- | | | |
|----|-----|------|
| 委員 | 三浦 | 安君 |
| 全 | 尾崎 | 三良君 |
| 全 | 都筑 | 壽六君 |
| 全 | 長谷川 | 喬君 |
| 全 | 穂積 | 八東君 |
| 全 | 梅 | 謙次郎君 |
| 全 | 井上 | 正一君 |
| 全 | 倉富 | 勇三郎君 |
| 全 | 古賀 | 康造君 |
| 全 | 河村 | 謙三郎君 |

委員 田部 芳君

全 村田 保君

全 江木 夏君

全 小松原 英太郎君

全 一本 喜徳郎君

全 横田 國臣君

全 波多野 敬直君

缺席員

副總裁 清浦 奎吾君

委員 穂積 陳重君

全 平田 東助君

全 富井 政章君

全 岡野 敬次郎君

全 富谷 銚太郎君

全 土方 寧君

全 道家 齊君

全 高木 豊三君

全 菊池 武夫君

全 重岡 薫五郎君

全 前田 孝階君

全 三好 退藏君

全 石渡 敏一君

全 松浦 儀二郎君

事務囑託 原田 眞義君

議長（三浦 安君） 本日ハ副總裁ハ御差支へ、ソレカラ四部長ノ都筑サンカ議長ヲセラルヘキノタカ席上テ御議論カアルソウテスカラ餘儀ナク私カ代理ヲ致シマス、是レヨリ開會シマス。

（書記朗讀）

聯甲第九號

司法裁判所ニ繫屬スル事件ニシテ行政官吏カ權限ヲ越エ又ハ職務上ノ義務ニ違反シタルヤ否ニ從テ決スヘキ場合ニ於テ行政廳カ其官吏ノ行爲ハ權限ヲ越エタルモノニ非ス且職務上ノ義務ニ違反シタルモノニ非スト認ムルトキハ行政廳ヲシテ爭議ヲ提起スルコトヲ得セシムヘキヤ否ヤ

一木喜徳郎君 唯今朗讀セラレマシタ問題ニ付キマシテ一應趣旨ヲ申述ベテ置キマス此問題ハ主査會ニ於テ權限裁判法ヲ起草致シマス際ニ起リマシタ問題デゴザイマシテ通日部會ノ議ニ付セラレマ

シタノテアリマスルガ大分重大ナ問題デアリ法案全体ニモ餘程關係ヲ及ボスヘキモノデアリマスカラソレ故ニ聯合會ヲ請求致シマシテ今日御出席ヲ願ヒマシタ譯デアリマス此處ニ「爭議ヲ提起スルコトヲ得セシムヘキヤ否ヤ」ト云フコトガ書イテゴザイマスルガ此言葉ハ確定シタ言葉デモアリマセヌカラ或ハ此文字ニ付テ御疑ヒモアラウト思ヒマスノデ旁々此問題ノ趣旨ヲ一應申述ベテ置キマス御承知モゴザイマスル通り司法裁判所ニ繫屬スル事件ニ關シテ先決問題トシテ行政法上ノ爭ヒヲ決シナケレバナラナイト云フヤウナ場合ニハ其爭ヒヲ決スルコトハ絕對ニ司法裁判所ニ權限ガナイト斯ウ定メルノモ一ツノ立法デアルト考ヘマスソレカラ又先決問題トシテハ司法裁判所ガ行政法上ノ爭ヒヲモ決スルコトガ出來ルト云フコトニ致シマスルノモ一ツノ立法デアルト思ヒマス御承知モゴザイマス通り佛蘭西ノ制度デハ行政法上ノ爭ヒガ司法

裁判所ノ先決問題トナツテ居ルトキニハ司法裁判所ハ其争ヒガ行政裁判所ノ判決ナリ又行政廳ノ裁決ナリニ依テ決シテカラデナケレバ其事件ヲ裁判スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ルヤウニ思ヒマス又獨逸ノ方ノ主義ハ之ニ反シテ原則トシテハ先決問題ハ縱令行政法上ノ争ヒニ關スルトモ司法裁判所ガ之ヲ裁判スルコトガ出來ル斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウニ承知シテ居ルノテアリマス殊ニ中間ノ一ツノ制度ガアリマシテ是ハ獨逸ノ國々ニ行ハレテ居ル制度デアルヤウデアリマスガ權限争議ノ外ニ争議ト云フ制度ヲ認メテアリマスこんべてんつこんふりくさノ外ニ唯こんふりくさト云フ制度ヲ認メテアリマス是ハ別段説明スルマデモナイ御承知ノコトデアルト思ヒマスガ念ノ爲メニ申シテ見マズレバ丁度唯今問題ニナツテ居リマスル行政官ニ對シテ刑事ナリ又民事ナリノ訴ガ起ツタ場合ニ於テ行政官ガ其職權ヲ超エタモノデア

又ハ職務上ノ義務ニ違反シタモノテアルヤ否ヤト云フコトガ先決問題ニナツテ其問題ノ決セラレ方ニ依テ或ハ司法裁判所ガ之ヲ罰ニ處シ賠償ノ義務ガアルト云フ言渡ヲスル結果ガ生ジテ來ル場合ニ行政廳ガ黙ツテ居レバ其僱裁判所ハ判決スルコトガ出來ルケレドモ若シ監督行政廳ガ其處分ハ職權ヲ超エタモノデナイ又職務上ノ義務ニ違反シタモノテナイト信ズルトキニハ争議ヲ起スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスソレデ其場合ニ於キマシテ現行ノ獨逸諸國ノ法ニ依リマスレバ其場合ハ行政裁判所ニ提起シテ行政裁判所ガ裁判スルコトニナツテ居ル或ハ獨逸帝國ニ於キマシテハ權限裁判所ヲシテ此問題ヲ裁判サセタ例モアリマス併シ今ノ權限裁判所ニ裁判セシメル或ハ行政裁判所ニ裁判セシメルト云フコトハ第二ノ問題デゴザイマシテ今日問題トナツテ居ル點デハアリマセ又今日問題トナツテ居ルノハ唯今申述べタヤウナ争議ト云フ制度ヲ權限裁判法ヲ定メ

ルノ際ニ併せて定ムルヤ否ヤト云フ問題デアリマス此點ニ付テハ主
査會ニ於テモ意見ガ分レ又過日ノ部會ニ於テモ意見ガ分レマシタノ
デアリマスソレデ其爭議ノ制度ヲ設クルガ必要デアルト云フ方ノ議論
ハ此争ヒノ如キハ全ク公法上ノ争ヒデアツテ且最モ分リ悪クイ所
ノ問題デアル行政官ガ權限ヲ超エタルヤ否ヤ或ハ職務上ノ義務ニ
違反シタルヤ否ヤト云フコトニ付テハ懲戒ノ手續モアリ其他行政
法上ニ訴ヲ提起スルノ手續モアリ此問題ハ疑ハシイ場合ガアル若
シ司法裁判所デ此問題マデ併せて決スルコトニナルト裁判所ハ元
來行政官廳ノ處分ヲ無効ニスルト云フ職權ハナイニ拘ハラズ事實
無効ニスルノト同ジ結果ヲ生ズルヤウニナツテ來ル即チ私人ハ行
政官廳ノ處分ヲ取消シテ吳レト云フ訴ハ司法裁判所ニ起スコトハ
出來ナイケレドモ賠償ノ訴トシテ例ヘバ行政官廳ガ處分ヲ爲ス際
ニ其權限ヲ超エ又ハ職務上ノ義務ニ違反シテ斯ウ云フ處分ヲシタ

ノテアル從テソレガ爲メニ損害ヲ受ケタカラ其賠償ヲ求メタイト
云フヤウナ場合ニハ司法裁判所ハ裁判ヲスルコトガ出來ルコトニ
ナル私人ハ其處分ヲ取消シテ吳レト云フ訴ヲ起サズシテ例ヘバ賠
償ノ形ヲ以テ裁判所ニ訴ヘラレルコトニナレバ折角司法裁判所ニ
於テハ行政廳ノ處分ニ關スル訴ヲ受理セシメナイト云フコトヲ定
メ尙ホ司法裁判所ガ之ヲ受理シタ場合ニハ權限爭議ヲ起サセルト
云フ規定ヲ設ケテ置テモ實際働キチ爲サヌコトニナルト云フノガ
此制度ヲ必要トスル方ノ重モナル論旨デアツタヤウニ承知シテ居
リマスソレカラ又一方ニ於キマシテハ此先決問題トシテハ司法裁
判所ニ於テ行政法上ノ問題ヲ決スルコトガアル許リデナク行政裁
判所ガ亦民事上ノ問題ヲ決スルコトモアル其一例ヲ擧グテ見ルト
租税ノ賦課ニ對シテ行政裁判所ニ訴ガ起ツタ時分ニ租税ノ賦課ヲ
受ケタル者ハ果シテ其租税ノ目的トナツテ居ル所ノ土地ノ所有者

デアルヤ否ヤト云フコトヲ行政裁判所デ決シナケレバナラヌト云フヤウナ場合モアルソレデ先決問題トシテハ行政裁判所モ民事上ノ關係ヲ決シナケレバナラヌト云フコトガアルト同ジク司法裁判所ニ於テモ亦行政法上ノ關係ヲ決シナケレバナラヌコトガアル必ズシモ行政裁判所デアルカラ司法上ノ規定ヲ適用スルコトハ出來ナイ又司法裁判所デアルカラ行政法上ノ規定ヲ適用スルコトガ出來ヌト云フ理由ハナイ殊ニ此爭議ト云フノハ權限爭議ノ場合トハ異ナツテ司法裁判所ガ裁判スベカラザルモノヲ裁判シヤウト云フノデハナクシテ原則上ハ當然司法裁判所ニ於テ裁判スベキモノテアル唯司法裁判所ニ於テ通常ハ先決問題トシテ決スル所ノ問題ハ行政廳ガ爭議ヲ起シタガ爲メニ特別ノ裁判所即チ權限裁判所ナリ或ハ行政裁判所ナリデ其先決問題ヲ決スルコトニナル恰モ其場合ニハ不法行爲ガアルヤ否ヤト云フ問題ヲ他ノ裁判所ニ決セシメル

ト同ジコトニナル權限爭議ハ固ヨリ必要デアツテ一方ノ官廳ノ權限ヲ他ノ官廳ガ侵スト云フヤウナコトデアレバ何處マデモ之ヲ矯正シナケレバナラヌガ今ノ場合ハサウデナクシテ元來司法裁判所ハ裁判シ得ル事柄デアルガ唯行政官廳ガ不法行爲ガナイ即チ權限ヲ超エタモノデモナシ又職務上ノ義務ニ違反シタモノテモナイト罷ノタ場合其特定ノ場合ニ於テ不法行爲ガナイト主張スル場合ニ不法行爲ガアルヤ否ヤト云フ先決問題ヲ他ノ裁判所ニ決セシムルノデアアルカラ權限爭議トハ異ナツタモノデアアル故ニ權限爭議ノ場合ハ必要デアルケレドモ爭議ノ場合ニハ例外規定ヲ設クル必要ハナイト云フノガ一方ノ論旨デアツタヤウデアリマス其他尙ホ種々ノ御議論モアツタヤウデアリマスルガ過日部會デ出タ御議論ハ此問題ニ歸着スルヤウニ思ヒマス尙ホ若シ爭議ヲ起スコトヲ許スナラバ權限裁判所ニ裁判サスカト云フヤウ

ナ御議論モアリマシタケレドモ要スルニ問題トナツテ居ルノハ唯
今申述べタノガ重モナル説デアツタヤウデアリマス私ノ意見ハ後
ニ述ベルコトニ致シテ一應此問題ノ起リマシタ所以並ニ此問題ノ
意味ヲ申述べテ置キマス

梅 謙次郎君 此問題ニ付テ起草委員ノ中デ御意見ガ違ヒマスルナ
ラパーツ雙方ノ御意見ヲ承ツテ然ル后吾々ノ意見ヲ決シタイト思
ヒマス

尾崎三良君 賛成、ドウカサウ願ヒタイ

都筑馨六君 私ハ爭議ト云フ制度ヲ設ケタ方ガ宜イト云フ論ヲ主張
シタ者デアリマス私ハ民事訴訟刑事訴訟ノ手續等ハ詳シク知リマ
セヌデゴザイマスカラ或ハ議論ノ中ニ間違ツテ居ル所ガアルカモ
知レマセヌ若シアリマシタナラバごなたカラカ御直シテ請ヒタイ
私ノ考ヘデハ權限爭議ノ規定ヲ設クル所以ト云フモノハ行政官ガ

自分ノ職權内デシタコトデアルナラバ即チ行政官職ノ保護ノ下ニ
立ツテシタ仕事デアルカラシテ幾シ間違ツタニシテモ多少違法ノ
事ガアツテモ救済ノ途ハ行政ノ手續ニ依テ付イテ居ル或ハ請願ナ
リ訴願ナリ或ハ行政訴訟ナリ兎ニ角行政官職ノ資格ヲ脱セズシテ
行政官吏ガヤツタ仕事ナラバ其救済法ハ付イテ居ル而シテ民事刑
事ノ訴ノ場合ニ於テハ既ニ官吏トシテ其人ヲ看ルコトガ出來ナイ
其行爲者チ官吏トシテ看ルコトガ出來ナイ場合デナケレバ民事若
クハ刑事ノ訴訟ノ如キモノチスベキモノデナイ其訴ガ起ル以上ハ
官吏ト云フ名稱チ付スベキモノデハアルマイ、ソコデ權限爭議ノ
規定ヲ設クル所以ト云フモノハ即チ其處ニ在ルノデハアルマイ丸
行政ノ方ノ仕事ハ總テ行政ノ方ノ手續デ以テ其救済ノ途ヲ付ケテ
ヤル民事ニナツテ始メテ民事裁判所ニ往クナリ其他ノ特別裁判所
ニ往クナリ兎ニ角行政事件ハ往カナイ、所ガ日本ノ訴訟法ノ立テ

方ハ要求ノ性質如何ニ依テ事件ノ性質ガ定マル此事件ガ民事デア
ルカ行政事件デアるかハ要求ノ目的ノ性質ニ依テ定マル、デ要求
ノ理由ハ行政行爲デアるかガ目的ガ賠償デアレバ矢張り民事ニ向ケ
テ訴ヘルコトガ出来、又其訴訟ト云フモノハ民事ニナル斯ウ云フ
風ノ訴訟法ノ立法方ノヤウニ聞イテ居ルサウナツテ來ルト實ハ權
限爭議ノ規定ヲ設ケタ所デ斯ウ云フ爭議ノ規定ヲ設ケ又以上ハ何
等ノ效果ヲ奏セヌト思フノハ實例ヲ舉ゲテ言ヘバ先年衆議院ノ建
物ガ燒ケタ際ニ時ノ書記官長會福荒助ガ此大事ト云フモノハ電燈
カラ出タト云フコトヲ報告シタ、所ガ電燈會社ハ會福書記官長ヲ
被告トシテ報告訂正ノ訴ヲ民事裁判所ニ起シタ其時ニ其事件ハ無
論民事デナイカラ裁判所ニ却下シテ實ヒタイト云フコトヲ内閣カ
ラ要求シタ然ルニ日本ノ訴訟法ト云フモノハソレヲ許サナイソレ
デ妨訴ノ抗辯ヲ訴權ガナイト云フコトニスルヨリ外ニハ裁判所ニ

言フテヤツタ所ガ如何共裁判所ハ仕方ガアルマイト云フノデ終ニ
已ムヲ得ズ妨訴ノ抗辯ヲシタソレハ何ンデアるかト云フト行政官
ガ行政官トシテ爲シタ事ニ付テ裁判權ノ下ニ立ツテ裁判官ノ判斷
ヲ仰グト云フコトデアるか折角行政官衙ノ獨立ト云フコトモ矢張り
憲法政治ノ一大原則デアるかニ拘ハラズ其裁判權ノ下ニ立ツテ民事
デナイト云フコトニ付テノ判斷ヲ裁判官ニ要求シナケレバナラヌ
妨訴ノ抗辯デアるかノガ既ニ可笑シイト思フ併シ假リニ妨訴ノ抗辯
デアるかニシタ所ガソレガ成立タヌ曉ニハドウデアるかト云フト如
何ナル事件ガ行政事件デアるかト云フコトハ丸デ判事ガ之ヲ見テ
了ウコトニナル又要求ガ損害賠償デ丁度會福ノ訴訟デ申シマセウ
ナラバ報告訂正ノ要求デナク斯ノ如キ報告ヲサレタニ依テ私ノ方
ニ損害ガアルカラ賠償ヲ與レト言フタトキニハ要求ノ目的ハ賠償
デアるかデアるか即チ訴訟ガ民事ニナルカラ妨訴ノ抗辯ハ成立

タヌト云フ結果ニナリハシナイカ、サウスルト賠償ヲ遣ルベキデア
ルヤ否ヤト云フコトニ付テ判事ガ公平ナ判断ヲスル所ニ行政官
ガ服スルト云フコトニナル職權上獨立ノ地位ニ在リナガラ其獨立
ノ体面ヲ維持スルコトモ出來ヌ獨立ノ實ヲ舉グルコトモ出來ナイ
斯ウ云フ結果ニナリハシナイカ又モウ一ツハ國田警視總監ガ政社
ノ解散ヲ命ジタ所ガ其解散ノ命令ニ依テ損害ヲ被ツタカラ賠償ヲ
吳レト云フコトガアツタ其時ニ妨訴ノ抗辯ヲシタケレドモ成立タ
ナカツタ無論損害賠償ノ要求ハ成立チマセヌデアリマシタガ鬼ニ
角行政官ガ法律ノ職權内ニ於テ當然爲スベキ事ヲシタニ付テ民事
裁判權ノ下ニ立タナケレバナラヌ又其理由ニ依テ裁判官ガ裁判シ
テモ宜シイト云フコトニナリマスルト遂ニ其結果ドウナルカト言
ヘバ行政官ガ職權ノ範圍内ニ於テ爲シタ事柄デアルヤ否ヤト云フ
コトヲ始終裁判所ガ見テ往タカラ自ラ行政官ノ職務ノ最上ノ監督

權ヲ裁判所ガ持つコトニナルソレハ是迄ハ行政官ノ職務ノ範圍デ
アル是レカラ先キハ一私人ノ範圍デアルト云フコトヲ裁判所ニ一
任シテ置クトソレニ付テ外カラ故障ガ言ヘヌト云フコトニナツテ
ドウシテモ裁判所ガ最上ノ職務ノ監督者ニナル斯ウ云フ結果ニナ
ツテ甚ダ種カナラヌ結果ヲ來タシハスマイカ、ソレデ餘所ノ制度
ハドウカト言ヘバ佛蘭西ノ制度ハ民事裁判所ナリ刑事裁判所ナリ
普通ノ裁判所ニ於テ公法上ノ問題ヲ先決スルノ職權ハナイソレカ
ラ獨逸ハドウカト云フト丁度日本ノ訴訟法ノ立テ方ト同ジク要求
ノ性質ニ依テ事件ノ性質ガ極マルノデ矢張り先決問題ハ之ヲ判決
シテ往タコトガ出來ル併シ色々其原則ヲ和ゲル規定ガ澤山アル訴
訟法ノ百十九條ノ如キ万一公法上ノ問題ガ先決問題トナル場合ニ
於テハ其訴訟ヲ中止シテ置テ其問題ヲ相當ノ行政官衙ニ於テ確定
シテ貰フテサウシテ後ニ訴訟ヲ再ビ繼續スル即チ訴訟ヲ一時中止

シテ置クト云フヤウナ規定モアル然ルニ日本ノ訴訟法ニハ其規定
モナイ警察官ノ如キ始終人民ノ權利ヲ制限シテ行クヤウナ即チ人
民カラ憎マレル所ノ行政官吏ノ爲メニハ特ニ保護スル規定ガアツ
テ警察官ガ被告ト爲ツテ民事ノ訴訟ヲ起サレル時分ニハ警察官ノ
出シタ命令ガ不法ナモノトシテ取消サレタ曉デナケレバ其人間チ
被告トシテ裁判スルコトガ出來ヌト云フコトニナツテ居ル日本ニ
於テハ河川法ヤ砂防法ハサウ云フ仕組ミニナツテ居ル尙ホ他ニア
ルカモ知レヌガ極ク僅々デアアル廣ク行政官吏ヲ保護スルヤウナ規
定ニナツテ居ラナイ、ソコデ徒ラニ關田警視總監チ相手取ツテ賠
償ノ訴ヲ起シタトカ或ハ會輔書記官長チ相手取ツテ報告訂正ノ請
求ヲ裁判所ニ爲シタトカ云フヤウニ斯ウ云フ事ガ將來權利思想ノ
發達ト共ニ類案ニ起リ得ベキデアアルノニ之ヲ保護スル規定ガナカ
ツタナラバ實ニ行政ノ獨立ノ實チ擧グルコトハ出來マイト云フ考

ヘテアリマスソレデ權限爭議ノ規定ヲ設ケテ如何ナル事件ガ行政
事件デアアル如何ナル事件ガ民事デアアルト云フコトノ判斷ヲ獨立ノ
裁判所ニ任セ而シテ其範圍内ニ於テ行政ト司法トノ獨立ヲ維持ス
ルト云フ折角其制度ヲ設クルナラバソレガ無効ニナラヌヤウニ即
チ先決問題如何ニ依テ訴訟ガ決スルト云フヤウナ場合ニハ其先決
問題ニ付テ爭議ヲ起スコトガ出來ルヤウナ仕組ミニシテ置カヌケ
レバ身体丈ケアツテ靈魂ハナイト云フコトニナリハシナイカ無論
公法上ノ全部ニ付テ爭議ヲ起スコトガ出來ルヤウニスレバ此上モ
ナイコトデアリマスケレドモソレマデ行カヌデモ官吏ガ職權内デ
ヤツタ事柄デアアルヤ否ヤニ依テ訴訟ガ決スベキ場合ニハ其先決問
題ニ付テ爭議ヲ起セルコトニシテ置ケバソレデモ丸デ無イニ比ス
レバ餘程效果ヲ奏シマセウト思ヒマスカラ是非普魯士ニ在ル如キ
規定ハ權限爭議ノ規定ヲ設ケラレル以上ハ之レト同時ニ設ケラレ

ンコトヲ希望スルノテアリマス

穂積八東君 私ハ梅サンカラノ御請求モゴザイマスカラシテ一應之ニ對スル私ノ考ヘテ述ベテ置キマス併シ固ヨリ斯ウ云フヤウナ事ガ訴訟ニナツタニ付テ實際ノ事モ能ク存ジマセヌ且ツ又自分デ確信スル所ガアレバ強テ聯合會ヲ請求スル必要モナカツタノテアリマスケレドモ自分デ疑ツテ居リマスカラ皆サンチ煩ハシタヤウナ譯デアリマスノデドウカ其積リデ御聽キテ願ヒタイト思ヒマス唯今都筑サンノ御辯明ニナリマシタ所ハ誠ニ御尤モデアツテソレ等ノ事ニ付テ大体私ハ同意チスルノテアリマス併ナカラ日本テ今斯ウ云フ制度ヲ設クル必要ハアルマイト思フノテアリマス元來此制度ノ起ツタ歴史カラ考ヘテ見マシテモ畢竟實際ノ必要カラ起ツタ制度デアルヤウニ思ハレル是ハ司法裁判所ト行政廳トカ始終伸ガ惡ルク片一方デスルコトヲ片一方デ牽制スル片一方デ張ラウトス

レバ片一方デ抑ヘルト云フヤウナ行政權ト司法權ト争ヒノアツタ時代ニ於テ行政權ヲ保護スルト云フコトノ必要カラシテ此制度ガ起ツタヤウニ記憶シテ居リマス先決問題許リデハアリマスマイ例ヘバ官吏ヲ訴追スルトキニハ行政政府ノ許可ヲ得ナケレバ出來ヌト云フヤウナ制度ヲ設ケタ處モ随分アツタカト思ヒマスソレカラ又官吏ヲ裁判スルトキニ於テハ行政廳ガ先ヅ一ト通り官吏ヲ自分ノ法廷ノ方ニ呼出シテ調ベタ上デナケレバ司法裁判所ノ裁判ニ任サレヌト云フヤウナコトニシタ處モアリマスソレデ行政法上ノ解釋ハ行政廳デサセルガ宜イト云フコトハ詰リ行政ノ官吏ヲ保護スルト云フ所カラシテ佛蘭西邊リニ其制度ガ起ツタノテハアリマスマイカト思ヒマスソレデ何時デモ成文ヲ見ルト云フト行政官吏カ訴ヘラレテ職權ノ問題ニナツタトキニハ云々ト云フコトニナツテ行政法上ノ解釋ハ司法裁判所ニ任サヌト云フ譯デハナイ一個人相

互ヒニ訴訟ヲシテ居ル時ニ於テハ國法ニ依テ裁判ヲスル裁判所ハ國法ト爲ルモノヲ見テ解釋スルノテアリマスカラ一個人ヲ裁判スル場合デアリマシテモ或ハ行政ノ法律ヲ解釋シテ判斷シナケレバナラヌ場合モアラウト思ヒマスソレデアリマスカラ稍々昔風ノ考ヘデ裁判所ト云フモノハ何ンダカ民法トカ商法トカ刑法トカ云フモノヲ解釋シテ適用スル所デアル行政廳ト云フモノハ自分ノ法律ガアツテ自分ノ法律ヲ適用スルノテアルト云フヤウナ考ヘテ持テ居ツタ時代ニアリマシテハ斯ウ云フマウナ制度ガ或ハ必要デアツタカモ知レヌト思フノテアリマス併ナガラ今日我ガ國法ノ立テ方デハ裁判所ハ法律ニ依テ司法權ヲ行フト云フコトモアリマスルシ普通裁判所ハ特別ノ法律ノ規定ガナイ以上ハ民事刑事ヲ裁判スル所デアルト云フコトガ定マツテ居ル以上ハ民事刑事ノ事件ヲ國法ニ依テ裁判スル所デアツテ其法律ガ租稅ノ法律デアラウガ公益ニ

關スル法律デアラウガ又ハ一私人ノ私權ニ關スル私法ノヤウナモノデアラウガ刑罰法デアラウガ何ンデモ構ハナイ裁判所ガ特別ノ職權ヲ以テ特別ノ法律ヲ國ノ法律ト認メテソレヲ解釋シテ是ハ民事ノ訴訟デアアル或ハ刑事ノ訴訟デアルト云フコトヲ判斷スルノデアルカラシテ法律ノ種類ニ依テ裁判所ヲ分タナケレバナラヌト云フコトノ立テ方デハナクシテ訴訟事件ノ種類ニ依テ裁判所ヲ分ツト云フ方針デハナイカト思ヒマス行政廳ノ處ニ對シテ行政訴訟ヲ起スト云フトキニハ行政裁判所ニ訴ヘル又民事刑事ノ訴ハ普通裁判所デ裁判スルト云フヤウニ事件ノ種類ニ依テ裁判所ヲ分ツ所ノ方針ニナツテ居ツテソレニ關係シテ適用スル法則ノ種類ニ依テ裁判所ヲ分ツト云フ方ノ制度ニナツテ居ラヌカト思ヒマスソレデ考ヘテ見マスルト先刻一本サンカラ述べラレマシタガ是ハ自分一己ノ意見トシテ述べラレタノデアアリマセヌケレドモ多分一本サン

モ其御考ヘデアラウト思ヒマスガ行政裁判所デ裁判スルトキデア
ツテモ矢張り民法上ノ規定トカ何ントカ云フモノハ國法ノ規定ト
シテソレニ背クコトハ出來ナイソレニ準據シテ裁判チスルノト同
ジコトニ司法裁判所デ審判スルトキニ於テモ民法商法刑法ノ事許
リデナク即チ國法ノ全体ニ付テ之レガ法律デアルト云フ所チ以テ
審決スルノテアルサウ云フ風ナ立テ方デアリマスカラ民事ノ事件
チ行政裁判所デ裁判スル或ハ行政法上ノ事件チ司法裁判所デ審判
スルト云フトキニハ管轄違ヒノ爭議チ起サセズシテ權限爭議チ起
サセテ何處マデモ適當ナル管轄裁判所ニ移ス方法チ採ルコトガ必
要デアルソレガ爲メニ權限爭議ノ制度ガアリ權限裁判所ガアルノ
デサウ云フコトニナツテ居ル併ナガラ民事ノ訴訟、刑事ノ訴訟チ
裁判スルニ付テ官吏ノ職權ノ事ガ問題ニナツタト云フ場合デアリ
マシテハ矢張り裁判所ハ官吏ノ職權チ審判スルト云フト可笑シイ

ヤウニ聞エマスケレドモ官吏ノ職權チ規定シタル所ノ法則チ解釋
シテソレニ依テ主タル事件ノ争ヒノ點ナリ又民事ナリ刑事ナリノ
問題チ決シテ往クコトガ出來テ少シモ差支ナイト思ヒマス若シモ
今日司法權ト行政權トガ敵味方ノ如クニ岐レテ各々權力チ押據メ
テ争フト云フ時代デアリマシタナラバ行政權ガ司法權ノ爲メニ紊
亂サレルト看テ斯ウ云フ規定チ置ク必要ガアルカモ知レマセヌガ
今日ノ時代ニ於テハサウ云フコトハ見ラレナイソレデ是ハ矢張り
裁判所ハ公平ニ總テノ國法チ解釋シテ適用スルモノテアル當ニ國
法ノミナラズ例ヘバ條約ニ關係シテ居ル事件デアツタナラバ條約
ノ法律チ裁判所ガ矢張り解釋シテソレニ依テ事件チ審判シナケレ
バナラヌデアリマセウ或ハ國ノ習慣ニ依テ決シナケレハナラヌモ
ノデアレバ習慣ニ依テ決スルデアリマセウ、ソレテアリマスカラ
斯ウ云フヤウナ官吏ノ職權云々ノ問題ニ付テ司法裁判所ガ審判ガ

出來ヌト云フコトハ種カデナイト思ヒマス尤モ官吏ノ職權ガ有ル
ヤ否ヤト云フコトガ主タル争ヒノ點デアツテソレテ判決ノ主タル
點トスルト云フコトニナレバソレハ多クハ行政訴訟ニナツテ司法
裁判所デ管轄スベキ範圍デナイカラソレハ權限爭議ヲ起シテ行政
裁判所ニ往カナケレバナラヌガ民事刑事ノ裁判チスル途中ニ於テ
官吏ノ職權云々ノ問題ガアツタ場合ニハ矢張り裁判所ガ解釋シテ
宜カラウト思ヒマス私ノ考ヘル所デハ實際ノ上ニ於テ斯ウ云フ規
定チ置ク必要ガアルヤ否ヤト云フコトガ今日ノ重モナル要點デハ
アルマイカト思フノデ寧ロ理論ト云フヨリハ今斯ウ云フ事ガ必要
デナケラネバ設タルニハ及ブマイト云フ位ノ意見デアリマス尙ホ
一本サンノ御意見ガ違ツテ居リマスルナラバ承リタイモノデアリ
マス

古賀廉造君 一寸質問シタイ先刻ノ都筑君ノ御議論ニ據ルト爭議チ

起セルコトガ必要ダト云フコトニ承ツタノデアリマスガ司法裁判
所ト云フモノハ刑事ノ事件ニ付テハ屢々行政官ノ行爲ニ對シテ裁
判チ爲サナケレバナラヌ必要ガアル例ヘバ刑法ノ中ニ官吏其管掌
ニ係ル法律規則ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ公布施行チ妨害シ
タル者トカ若クハ官吏擅ニ威權チ用ヒ人チシテ其權利ナキ事チ行
ハシメ又ハ其爲ス可キ權利チ妨害シタル者トカ若クハ人ノ身体財
産チ妨害スルノ犯人アルニ當リ云々シタ者トカ其他擅ニ人チ逮捕
シ又ハ不正ニ人チ監禁シタ者トカ云フコトガ澤山アル現ニ官吏ガ
擅ニ威權チ用ヒテ爲シタノハ全ク自分ノ權限以外ノ行爲チ爲シタ
場合デアル此犯罪チ罰スルニ當ツテハ果シテ威權チ用ヒタカ否ヤ
チ審理シナケレバナラヌ然ルニ是ハ官吏ノ爲シタ事デアルカラ司法
法裁判所ハ職權ガナイ爭議裁判所ニ移サナケレバナラヌ、サウス
ルト司法裁判所ハ刑事ニ付テノ裁判權チ持チナガラ爭議裁判所ノ

東縛ヲ受ケナケレバナラヌ犯罪ガアツテモ之ヲ罰スルコトガ出来
ヌト云フコトニナル處ガアリマスガソレハドウナリマスカー一寸伺
ヒマス

都筑馨六君 李瀟西ノ法律ガ御説ノ通りニナツテ居ル重モナルモノ
ハ刑事ノ訴訟所謂權ノ行爲デアツタ即チ官廳ト云フ兩書ヲ以テ權
ナル行爲ヲシタスるすあたふるヲ以テヤツタニ依テ行政訴訟ニ行
クカ刑事ノ訴訟ニ行クカ岐レルソコデア行政官ノ方カラ爭議ヲ起セ
バ前ニハ權限裁判所デ裁判ヲシテ居ツタガ唯今デハ行政裁判所デ
先決問題トシテ判決シテ居リマス

古賀康造君 例ヘバ官吏ガ權ニ威權ヲ用ヒタト云フコトハ是ハ官吏
ノ實罰ヲ定ムルニ付テノ必要條件デアラウト思フサウスレバド
ナ事ガアツテモ刑事裁判官ハ此條件ガ果シテアルヤ否ヤト云フコ
トヲ審問スルノハ當然ノ權利タラウト思フ苟モ此刑法ノ規則ヲ違

用スル場合ニハドウデモ斯ウデモ刑事裁判所ハ行政官吏ガ權限ヲ
越エタトカ職務上ノ義務ニ違反シタトカ云フコトヲ調ベナケレバ
ナラヌ必要ガアルサウスレバ少クモ刑事問題ニ付テ何分ニモ爭議
裁判所ニ持テ行クコトガ出来ナクナル

都筑馨六君 ソコハ民事デモ同ジコトニナル賠償ノ要求ガアツタト
キニ權限ヲ越エテ居レバ賠償ノ責任ガ生ジ權限内デアレバ其責任
ガ生ジナイト云フノデアリマスカラ民事裁判所ハ賠償ノ要求ガア
ツタ以上ハ矢張り今ノ訴訟法ノ立テ方デアアルナラバ當然職權内ノ
行爲デアルヤ否ヤト云フコトヲ見ナケレバナラヌコトニナルカラ
民事裁判ノ方デモ同ジ論ニナリハシマスマイカ其論ガ悪ルイ若シ
穂積君ノ先刻言ハレタ如ク判決ノ主文ニ包含スル點ガ官吏ノ爲シ
タ處分ニ關係スルヤ否ヤト云フ場合ニハ是ハ行政訴訟ニ行クモノ
デアルト云フ以上ハ是ハ唯一ノ理由トシテ訴訟ノ勝敗ヲ決スル場

合デアリマスカラ主文ニ包含スル點チ民事ニ任セテ置クノト其結
果ハ變ハリハシナイカト思ヒマス多少種カナラヌ所モアルカモ知
レマセヌガ今日ハ民事刑事ニ付テ必要ガアルト思ヒマス

江木 衷君 私ハ此問題ハ甚ダ重大デアルト心得テ居ルノデアリマ
ス此問題ニ付テノ私ノ論ハ矢張り總務委員ノ論ト同一ニ歸スルノ
デアリマス併シ一言申シテ置キマスガ此先決問題ノ事體ニ於テ他
ノ行政廳ノ裁判ヲ受ケルト云フコトハ最モ大ケ敷イコトデアルト
思ヒマス先決問題ノ起ル度毎ニ其先決問題ノ事體ニ於テ一應行政
廳ノ判決ヲ受ケテサウシテ司法裁判所デ之ヲ決スルト云フコトハ
實際面倒デアルト思ヒマスソレノミナラズ之レガ先決問題デアル
ヤ否ヤト云フコトノ問題モ亦面倒ニナル殊更ラ官吏ガ擅ニ惡意デ
職權ヲ濫用シテ人ヲ逮捕シタトカ云フヤウナ場合デアルト果シテ
サウ云フ事ヲシタカドウカ事實ノ問題ニナル其事實ノ問題ニ付テ

證人ヲ調べルコトモ出來ズ又續シ調べルコトガ出來ルトシテモ幾
ラ嘘ヲ言フテモソレヲ罰スル制裁モナイ實際行政廳デ實地ノ事實
ト云フモノヲ調べラレルヤ否ヤト云フニ到底調べルコトハ出來ナ
イダラウト思フ今日行政裁判所ニ於テ民事ニ類スル事ヲ澤山裁判
シテ居リマスケレトモ民事ノ手續ニ依テ本統ニ調べタモノデモナ
ケレバ證據ノ取方杯ハ丸デ無茶苦茶ト言ツテモ宜シイ充分ナル調
ベト云フモノハ到底出來ナイ殊ニ官吏ガ職權ヲ濫用シテ爲シタ行
爲ニ付テ種々様々ノ臨檢トカ何ントカ云フヤウナコトハ行政廳デ
ヤリ切レルモノテナイ況ヤ行政廳デヤル事件ニ付テハ立證ナシデ
往クノガ大變ナ過チチ爲シテ居ル斯カル次第デアリマスカラ先決
問題ノ事體ニ於テ直チニ行政廳ノ裁判ヲ受ケルト云フコトハ今日
出來ヌコトデアルト思ヒマス一方カラ言ヒマスルト民事ノ裁判所
ニハ公法上ノ知識ガ充分デナイ者モアル中ニハ隨分驚イタ判決モ

アツタヤウニ考ヘル、ケレドモサウ云フ場合ニハ裁判事件全体ニ付テ爭議ヲ提起スルコトガ出來ルヤウニナツテ居レバ宜イ先決問題ノ事体ニ於テ行政廳ノ判決ヲ受ケテ其後ニ司法裁判所ガ決定スルト云フノハ實際面倒デアルト思フ詰リ都筑委員ノ御議論モ御尤モデアリマスガ先決問題ノ事体ニ於テ行政廳ヲシテ争ヒテ決セシメルサウシテ外ニドシテ證據ガアツテモ裁判所ハ其決定ニ從ハナケレバナラヌト云フコトハ甚ダ不都合ナ結果ヲ生ズルヤウニ考ヘマスソレデ私ハ先決問題ノ事体ニ於テ行政廳ヲシテ爭議ヲ提起サセルト云フコトハ不賛成デアリマス

河村讓三郎君 私ハ部會ニ出席スルコトガ出來マセヌデアリマシタカラ極ク簡短ニ意見デアアリマセヌ疑ヒノ點ヲ認メテ差出シテ置キマシタガ今日幸ニ聯合會ヲ開カレマシタカラモウ少シ此問題ヲ明カニ致シテ其上デ贊否ヲ決シタイト思ヒマス此爭議ノ方法、手

續デアリマスソレニ依テ又意見モ異ナツテ來マス斯ウ云フ先決問題ノアル時分ニハ司法裁判所ハ本案ヲ中止シテ置テサウシテ先決問題ニ付テ行政廳ノ方デ裁判ガアルノヲ待ツタ上デ復タ司法裁判所ニ戻ツテ裁判ナスルト云フコトニナルノデアリマスカ例ヘバ賠償ノ訴デアリマス官吏ガ職權ヲ超エタモノニナレバ司法裁判所ハ賠償ヲ首渡ス、ソレカラ職權ヲ超エタモノデナイト云フコトニ極マレバ原告ノ請求ヲ却下スル又刑事デアツテ職權ヲ超エタモノデアルト判ニ處スルシ職權ヲ超エタモノテナケレバ無罪ニスル斯ウ云フ風ニ一旦先決問題ヲ決シテサウシテ司法裁判所ニ戻シテヤルト云フコトニナルカ或ハサウデナクシテ先決問題ガアル時分ニハ其事件ヲ司法裁判所ノ手カラ棄ツテ了ツテ他ノ裁判所デ其事件ノ裁判ナスル即チ賠償ノ裁判ナリ或ハ刑ノ適用ナリテ他ノ裁判所デヤラセルト云フコトニナルノデアリマスカ其方法ハドウ云フ風ニ

御立テニナルノテアリマスカソレチ一ツ伺ヒタイ
都筑藩六君 ソレハ主査會デモ都會デモマダ其處マデニハ及ビマセ
又私ノ考ヘ丈ケハ多少アルケレドモ考ヘヨリハ外國デハドウ云フ
工合ヒニシテ居ルカト云フニ丁度今江木サンノ仰シヤツタノト結
果ハ同ジコトニナリハシナイカト思ヒマスノハ會編ノ訴訟ニ付テ
書ヘバ報告訂正ノ請求デ來タ時ニハ是ハ行政事件デアルサウ云フ
訴訟チ民事裁判所ニ持テ往ツタナラバ權限爭議チ許サウ、是ハ如
何ナル權限爭議ノ規定チ設ケテモ斯ウ云フモノニ付テハ確カニ許
スト云フコトニハ主査會デモ極マツテ居ル、所ガ其訴訟ガデス會
編カ斯ウ云フ報告チシタガ爲メニ損害チ受ケタカラ賠償チ與レ所
ウ言ツテ來タ時ニ江木サンノ唯今ノ御論ニスルト先決問題ノ事体
デナク全部ニ付テ權限爭議チ起サセヤウ斯ウ云フ御論デアルヤウ
ニ承リマシタガ丁度河村サンノ御問ヒモ其處ヘ歸着シハシナイカ

ト思ヒマスサウ云フ場合ニハドウスルカト云フト果シテ行政官ガ
自分ノ職權内デヤツタ報告デアル即チ衆議院ノ書記官長ノ資格デ
ヤツタノナラバ是ハ行政訴訟ナリ若クハ訴訟ナリシナケレバナラ
ナイ然ルニ彼レガ行政官吏ノ資格チ脱シテ一個人ノ會編助トシ
テヤツタ場合ハ民事ナリ刑事ノ訴訟ニ係ルベキモノテアル、云フ
カラ其先決スベキ問題ガ官吏ノ職權内デ爲シタ行爲デアルヤ否ヤ
ト云フコトニ係ツタトキニハ行政廳ノ方カラハ其事件チ覆ヘシテ
他ノ裁判所ニ理由チ付シテ爭議チ起スト云フコトチ申込ム、サウ
スルト其申込ミチ受ケタ裁判所ハ更ニ裁判所ノ決定チ以テ事件チ
中止シテ置テ其訴訟ノ原被ノ者ニ意見ガアルナラバ意見チ書ヒ出
セト云フコトモ言ヒソレカラ裁判所ノ意見モ付シテサウシテ司法
大臣ノ手チ經テ元トハ權限裁判所ニ送リ居ツタガ今日ハ行政裁判
所ニ送ツテ居ルヤウデアリマス行政裁判所デ判決チスルノニ行政

官ガ職權内デシタコトテアルカラ司法裁判所デ訴訟ヲ起スモノテ
ナイト云フコトヲ言フカ或ハ是ハ行政官廳ノ仕事デナイ行政官吏
ノ資格デヤツタ仕事デナイカラ訴訟ハ起シ次第、斯ウ云フ判決二
ツノ内一ツノ判決ヲシテ例ヘバ訴訟ヲ起スベキモノテナイト言フ
タトキニハ司法裁判所ノ權限ハソコデ止マルソレカラ訴訟ヲ起ス
コトヲ許ス斯ウ云フ判決ヲシタトキニハ元ト決定デ止ノタ點カラ
先キ恰モサウ云フ爭議ハ起ラナカツタガ如クニ繼續シテ行ク仕組
ニナツテ居ル

江木 衷君 一寸都筑委員ニ聞キタイノテスガ私ハ徹頭徹尾裁判ガ
濟ンデカラ全体ニ付テ爭議ヲ起スノテナイト煩ニ堪ヘヌト云フ趣
意テアリマス、アリマスルガ此先決問題ト云フモノガ例ヘバ官吏
ノ職務規程ノ解釋ニ屬スル場合即チ法律ノ解釋ニ屬スルモノヲ先
決問題トシテ司法裁判所デ判決シタソレニ付テ事實ハ無論司法裁

判所ハ審理シテ確定シタニ相違ナイ唯法律問題デアリマス法律ノ
解釋ニ屬スル先決問題ガアツタナラハ全体ニ付テノ權限爭議ハ起
セヌト云フ考ヘデアリマスカソレハ起シ得ラレルト云フノデアリ
マスカ

都筑馨六君 ソコガ議論ノ分レル所デアリマスガ私ノ考ヘデハ起セ
ヌト云フ仕組ニナツテ居ルト思ヒマス一木サンノ御考ヘハ能ク分
リマセヌガ一木サンノ方ガあなたノ御議論ニ近イヤウニ思フ尙ホ
一木サンカラ述ベテ戴イタ上私モ述ベマス

一木喜徳郎君 唯今江木君カラ御質問ノ事ニ付テ私ノ考ヘテ述ベマ
スガ私ハ全体ニ付テ權限爭議ヲ起シ得ル場合ハアルガ總テノ場合
ニ起シ得ルトハ言ヘナイ全体ニ付テ權限爭議ヲ起シ得ル場合ハ即
チ先決問題デハナイ形チハ先決問題デアルカノ如クアリマスルガ
實ハ事件其物ニ付テ争ヒノアル場合デアルト思ヒマス私ノ想像シ

テ居ル場合ハ警察官廳ガ或者ニ向テ其所有地ヲ他人ガ通行スルコトヲ止メルヤウニ何カ柵ヲ結ヘトカ何ントカ云フ命令ヲシタ斯ウ云フヤウナ場合ニ隣リノ者カ何カ其土地ヲ通行スル權ガアルノニ柵ヲ結ハレタ爲メニ妨害ニナツテ困ルカラ民事裁判所ニ訴ヘタ此場合ニ妨害ヲ除クト云フコトヲ目的トシテ居ルノデアルガ警察官ノ處分ヲ取消シテ吳レト云フコトヲ正面ニハ言ハナイ自分ハ通行權ガアルソレニ對シテ隣リノ者ガ妨害ヲ加ヘタカラソレヲ除イテ吳レト云フコトヲ言フノテアル然ルニ土地ノ所有者ハ私ハ自分デ勝手ニ道ヲ塞イタノデハナイ警察官廳ノ命令ニ依テ塞イダト云フコトヲ言フテ居ルサウ云フ場合ニ裁判所ハ警察官廳ノ命令ハ違法ニシテ無効ノモノテアルカラ警察官廳ノ命令ヲ無視シテお前ハ柵ヲ取除カナケレバナラヌト云フ判決ヲシタト假定スルト實ハ行政廳ノ處分ヲ害スルコトニナル何ゼナラバ行政廳ノ處分ヲ不法トシ

テ其處分ヲ丸デ覆ヘスト云フコトニナル若シ此裁判所ノ判決ガ有效デアルト云フナラバ後ノ命令ニ依テ取消サレルト云フ結果ニナリマスサウ云フ場合ニハ裁判所ガ先決問題ノヤウナ形チデ警察官廳ノ處分ガ違法デアルヤ否ヤヲ決スルノテナク警察官廳ノ處分ヲ取消スノテ此場合ハ先決問題トシテ權限爭議ハ起セヌケレドモ事件其物ニ付テ權限爭議ヲ起セルデアラウト想像スル今御質問ノアツタヤウナ場合ハ權限爭議ヲ起スベキモノデナイト思ヒマス
江木 衷君 モウ一應都筑委員ニ伺ヒタイ先決問題ニ付テ結局ヲ見ナイ内ニ行政廳ノ裁決ヲ經ルト云フコトハ煩ニ堪ヘヌソレハ事實ノ調べニ付テモ同ジコトデアル事實ノ調べニ付テモ行政廳ガ判断ヲ下ス

都筑馨六君 私ノ考ヘテアリマスルト日本ノ民事訴訟法ノ立法方ガ如何ナル事件ガ民事デアルヤト云フ問題ハ判決ノ主文ニ包含スル

點丈ケノ性質ニ依テ極マツテ居ルソコデ要求ガ賠償デアル以上ハ其賠償ノ唯一ノ理由ガ官吏ガ職權ヲ超エタカ否ヤト云フ問題ニ係ツテ來ル場合デモ要求其者ガ賠償デアルナラバソレガ民事ニナルノテアリマスカラ權限爭議ノ規定ヲ設クル以上ハ要求其者ノ性質ニ依テ是ハ行政事件デアル是ハ民事デアルト云フコトノ區別ヲシテ往カナケレバナルマイト思ヒマス訴訟法ノ立テ方ガ會同ノ事件ヲ賠償ノ形チニシテ持出シタトキニハ矢張り民事トシテ取扱ツテ往カナケレバナラヌ仕組ミデアルト思ヒマス私ハ辭シク知りマセヌカラ若シ間違ツテ居レバ直シテ戴キマスガサウ云フ仕組デアリマスカラ若シ之ヲ職權内ノ行爲デアルヤ否ヤト云フコトニ付テ許サヌコトニナルト皆賠償ノ形チニシテ民事ニ持テ往ク例ヘバ行政裁判所デハ多クノ場合ニ於テハ勝テナイト云フ習慣ガアリマスカラ行政裁判所ニ持テ往カズシテ多クハ賠償ノ形チニ直シテ皆民事

ニ持テ往ク、ソレカラ又如何ナル程度ニ於テト云フコトニナリマスレバ佛蘭西ノ如キ訴訟法ノ仕組ニ直セバ全体ニ付テヤルコトニナリマスルガサウナルト大騒動ヲ惹起シマスカラ其處マデニハ往カナイ唯行政官吏ガ職權ヲ超エタカ否ヤニ依テ勝敗ガ決スルト云フ場合ニ行政官衙カラシテ爭議ヲ起シテ其問題丈ケヲ權限裁判所デ決シテ貰ウト云フコトニシタナラバ餘程行政ヲ鞏固ニシテ往クコトモ出來又權限爭議ノ規定ヲ設クルノ目的ヲモ達セラルルダラウト思ヒマス

江木 衷君 今ノハ事實ヲ判斷スルノデハナイ官吏ノ權限ヲ超エタカ否ヤノ問題ニナル事實擲ツタカドウカ其事實ガ決シテ了ツテ恰モ法律問題丈ケニ限ルト云フノテスカ

都筑馨六君 事實ノ方ハ決シテ權限裁判所ノ方デハ極メナイ或行爲ガアル其行爲ガ行政官吏トシテ職權ヲ超エタモノデアルヤ否ヤト

云フ丈ケノ點デアル

江木 東君 サウシマスルト益々反對説ヲ主張シナケレバナラヌ話デアアル斯ウ云フ行爲ハ職權ヲ超エタノデアアルカナイカト云フ詰リ法律問題ニナル法律問題丈ケテ先決問題ニスル斯ウ云フコトニスルヨリハ矢張り裁判ガ濟ンダ後ニ争フ所ノ途ヲ開ケバソレデ足リルト思フ事實丈ケテ先キニ極ノテ法律上ノ點ハ行政廳ニ行ツテ決スルト云フヨリモ其方ガ手數モ省ケルト思フ裁判所ト言フテモ一審モアレバ二審モアリ三審モアルト云フ次第デアリマスカラ到底其點ノミニ付テ行政廳ノ判断ヲ受ケルト云フコトハ面倒デアツテ甚ダ不都合ナ場合ガアル私ハ先決問題トシテ獨立シテ行政廳ノ裁判ヲ受ケルト云フコトハ宜シクナイト考ヘル

都筑馨六君 一寸訂正シテ置キマス餘所ノ制度ハドウナツテ居ルカ私ハ今記憶シテ居リマセヌノデ事實ノコトハヤラヌト云フ御答ヘ

四ノ十ノ二二

ヲ致シマシタ所ガ隣席ノ注意ニ依リマスルト隣席モ確カニ記憶シテ居ラヌケレトモ矢張りサウ云フ事チヤラシテ居ルノダラウ、併シ兎ニ角之チヤラセルヤラセヌト云フコトハ第二ノ問題デアルト思ヒマス部會ニ於テモ其處マデハ遣入ラナカツタ

江木 東君 ソレカラ先程都筑委員ハ行政事件ト通常ノ民事刑事ノ區別ニ付テ要求ガ損害賠償デアルナラバ何ンデモ民事ニナル斯ウ云フヤウナコトデアリマシタガソレハサウデナイト思フドウ云フ事件ガ行政、ドウ云フ事件ガ民事ト云フコトハ中々大問題ニ屬スルコトデアツテソレハ一時間饒舌ツテモ二時間饒舌ツテモ議論ノ盡キルモノテナイト思フソレチ都筑委員ハ要求事件デ定メルヤウニ述べラレルソレガ甚ダ不都合デアル私ハ民事ト行政事件ノ區別ニ付テハば—すノ議論、あれガ最も公平ナ議論デアルト思フ要求ガ賠償デアルカラ必ズ民事ト云フ譯デハ決シテナイト考ヘル都筑

委員ハ行政事件ト民事トノ區別ヲ自ラ拵ヘテソレニ依テ論ゼラレ
ルノハ甚ダ不都合デアルト思ヒマス

都筑馨六君 一寸長谷川サンニ質問シタウゴザイマスガ民事ト民事
デナイ區別ト云フモノハ要求ノ性質如何ニ依テ定マルモノデハア
リマスマイカ

長谷川 喬君 今確カナル御答ヘハ少シ出來兼ネル

河村謙三郎君 都筑サンニ伺ヒマスガソレハ外國ノ例デモ宜イノデ
スガ今ノ爭議ヲ起シテ權限裁判所デ權限ヲ超エタモノテナイト云
フ風ニ決シテソレカラ先キノ始末デスナ、賠償ノ訴デアレバ其賠
償ノ訴ト云フモノハ自然ニ消エルコトニナツテ居リマスカ或ハ原
告ノ請求ハ立タヌト云フ判決ヲ民事裁判所ガ下スコトニナツテ居
リマスカ

都筑馨六君 ソレハ權限ヲ超エタモノテナイト云フ判決ハシナイヤ

ウテアリマス此事ニ付テハ權限ヲ超エタ場合ニハ民事ノ訴訟ヲ許
スモノテアルト云フ判決ヲ下ス權限ヲ超エテ居ラヌト云フ場合ニ
ハ民事ノ訴訟ヲ許スモノテアルト云フ判決ヲ下ス權限ヲ超エテ居
ラヌト云フ場合ニハ民事ノ訴訟ハ許サヌト云フ判決ニナル、民事
ノ訴訟ヲ許スト云フ判決ガアツテ續シソレヲ許シテモ民事裁判所
ニ於テ權限ヲ超エナイモノテアルカラ賠償ヲ違ルモノテナイト云
フコトモ出來ル

河村謙三郎君 權限裁判所ガ民事訴訟ハ許ス可ラスト云フコトニシ
タ場合ハ民事裁判所ハドウスルノテアリマスカ

都筑馨六君 其場合ハ其儘消滅スルモノテアラウト心得テ居リマス、
一寸今調ベテ見マセウ

河村謙三郎君 權限ヲ超エナイモノデアルト云フコトニナルト矢張
リソレデ刑事ノ公訴モ消滅スルト云フコトニナリマスカ

都筑馨六君 明文ガナイトキニハ他ノ權限爭議ト同ジ手續デアツタ
ラウト思ヒマスサウスレバ其判決ニ依テ訴訟ハ其儘消エテ了ウノ
デス

道家 齊君 今ノハ何處ノデスカ

都筑馨六君 幸滿西ノテス、ソレカラ私ハ行政事件ト民事トノ區別
ノ立テ方ガ江木サンノ仰シヤルヤウニ日本ノ現行法ガナツテ居レ
バ満足スルノテアリマスケレトモ其處ガ甚ダ怪シイ私ハ寧ロ裁判
所ノ解釋ハ反對デハナイカ今迄ノ習慣ハ確カニ政談集會ヲ解釋シ
タトキテモ賠償デ來タガ爲ノニ矢張り本案ニ着手シテ判決ヲ與ヘ
テ居ル

江木 衷君 今ノ論ニナツテ來ルトソレハ裁判所ノ解釋ガ間違ツテ
居ルば一すノ議論デアルト損害賠償ハ必ズシモ民事デナイト言フ
テ居ル實際權限ヲ超エタカドウカ、職權ヲ濫用シテ惡意ヲ以テヤ

ツタノテアルカドウカト云フコトニナル他ノ行政廳デハ事實ノ審
判ハ容易ニ出來ナイ裁判所ニ持テ來タトキニ是ハ民事デナイト裁
判シテ了ヘバ先決問題ノミチ行政廳ニ持テ往ツテ處分チシテ貰ウ
必要ハナイト思ヒマス又裁判所ハ是ハ職權ヲ超エタモノテアルヤ
否ヤヲ視ル能力ハ持テ居ラナケレバナラヌ詰リ最終ノ裁判ガ確定
シテ始メテ其終結ノ裁判ニ向テ權限爭議ヲ起スコトヲ許セバ宜カ
ラウ裁判所ハ事實ヲ調べルニ違ヒナイサウシテ其事實ハ職權ヲ超
エタモノテナイト云フコトデアツタナラバソレデ宜シイ通常ハ裁
判官モ能力ガアルモノト見レバ或ハ之ヲ跳付ケテ了ウカモ知レヌ
大概職權ヲ超エタモノテアルカナイカニ付テ間違ツテ判断チ下ス
モノテナイ若シ万一間違ツテ判断チ下シタ場合ニ於テノミ爭議ヲ
提起スルコトガ出來レバ充分デアルト思フマダ裁判所ハミツト
モ極マラヌノニ斯ウ云フ事ハ民事ノ裁判官ガヤルベキモノデナイ

ト云フノデ始メカラ行政廳ニ持テ往クト云フコトハ誤ツテ居ルト考ヘル

都筑馨六君 私ハ江木サンニ誤解ガアリハシナイカト思ヒマスカラ一寸御注意マデニ申上ゲテ置クノハ是ハ爭議ヲ起ス權利ヲ行政官衙ニ與ヘルノテ必ズシモ總テノ場合ニ於テ爭議ヲ提起セネバナラヌト云フ義務ヲ背負ハセル制度デハナイ從テ今日李滯西デドウ云フ效果ヲ奏シテ居ルカト云フト第一ニ此制度ガアルガ爲メニ餘リ些々タル事柄ニ付テ單ニ行政官ヲ苦メルノ目的ヲ以テ訴訟ヲ起サヌト云フ豫防的ノ效力ト今一ツハ事實ニ付テ争ヒハナク明カニ行政官ガ職權内デヤツタ場合ニ爭議ヲ起スコトヲ得ル又起スコトヲスルノテス例ヘバ先列申シタヤウニ園田ガ政談集會ヲ解散シタ其時ニハ事實ニ付テ少シモ争ヒハナイ誰ガ見テモ職權内デヤツタ事柄ニ違ヒナイ殘ル問題ハ賠償ト云フ問題ガ殘ル其時ニハ訴訟全体

ニ對シテ爭議ヲ起セル斯ウ云フ論ニナル、ソレガ起セレバ私モ安心デアルト思ヒマスケレドモ恐ラク日本ノ民事ト行政ノ區別ガあなたノ仰シヤルヤウニナツテ居ラヌカラ已ムヲ得ズ斯ウ云フ制度ヲ設ケナケレバナルマイト云フノテアリマス

江木 衷君 事實ニ付テ争ヒハシナイ事實ハ司法裁判所ガ見テ居ル此者ハ職權ヲ超エテ居ルカラ損害賠償ガアルト云フ裁判チシタケレトモ行政廳ノ解釋デハ決シテ職權ヲ超エテ居ラナイ斯ウ云フノデ爭議ヲ起スノデナケレバ可カヌ先決問題ノ時ニ斯ウ云フコトヲスル必要ハナカラウト思フ

都筑馨六君 判決ノアツタ後ニ爭議ノ訴訟ヲ許スヤ否ヤト云フコトハ第二ノ問題デアルト思ヒマス或説ニ據レバ確定判決後ニ許スガ宜イト云フ説モアル、ケレドモ餘所ノ例チ見ルト判決後ニハ許サヌト云フコトニナツテ居ル

横田國臣君 私ハ之ニ付テハ餘程決シ兼ヘルノテアリマス最初之ヲ見マシタ時分ニ餘程疑ヒノ點モアツタソレデ今丁度起ツテ居ル間題ノ中デモ先ヅ之レガ行政裁判所ニ屬スル事、之レガ司法裁判所ト云フコトサヘマダ判然トナツテ居ラナイ、デ私ハ能ク分リマセヌケレトモ江木君ノ御説ノヤウニ行政權ノ濫用デアルカ濫用デナイカ、サウ云フモノカラ出テ來タ事ハモウ總テ司法裁判所ニ往ク場合デナイ斯ウ云フコトニナレバ私ハ江木君ノ通りデモ宜カラウト思ヒマス併ナガラサウデナイ場合モ又アルカノヤウニ思フソレハ私ハ能ク文ヲ覺エマセヌガ兎モ角獨逸ノ訴訟法ノ丁度刑事ハ民事ヲ中止スルト云フノト同ジコトデ行政官廳ノ處分ヲ爲シ終ル間中止スルト云フヤウナ事柄モアルソレデサウ云フ事ガ定マラヌデハドウモ之ヲ決シ惡クイ唯併ナガラ斯ウ云フ事丈ケハドウモ確カデアルト思フノデゴザイマス是ハ幾分カ行政權ノ獨立トカ或ハ行

政權ノ擴張トカ云フヤウナ意味ヲ持テ居ルト云フコトハ確カデア
ル舊トハ刑事ハ民事ヲ中止スルトカ或ハ又自分ノ事ニ付テ民事ノ
方ヲ先キニシテ刑事ハ待ツテ居ルトカ色々ナ事ガアリマシタガ今
日ハ大抵チヤント關係ハ遮斷シテ了ツテあ、云フコトノナイヤウ
ニ民事ナラバ民事裁判所、刑事ナラバ刑事裁判所ト云フ方ニ總テ
ノ事ガ傾イテ來テ居ルト思フノデス併ナガラ或ハ行政官ハ正當ナ
權利ヲ行フタノニ無理ナ訴訟ヲ起シテ見タリ又裁判所モソレニ付
テ裁判ヲシテヤルヤウナ場合モアルカモ知レマセヌガサウ云フ事
ハ又起草者ニ能ク辨明シテ實ヒタイ又手續ニシテモ若シ之ヲヤリ
マスルトドウ云フ風ニ立テルカ或ハ堤防ノ事ニ付テ行政官ヲ相手
取ツテ司法裁判所ニ訴ヘタ時分ニハ原被共ニ引揚ゲテ裁判ヲスル
ノカ、ソレカラ一寸此處ノ所デ見マスルト之ヲ權限爭鬭ノ方ニ組
入レルヤウニモ見エマスルケレドモ併シサウデモアルマイト思フ

ノデスソレデ是ハ裏面ノ意味ト云フモノハ行政權ヲ蹂躪サセヌヤ
ウニト云フコトカモ知レマセヌケレドモ正面カラ言ヘバ矢張り事
門ノ處デヤラセルト云フノガ趣意デアラウト思ヒマス、所デ權限
裁判所ニ持テ往クトシタナラバ矢張り可ケマイト思フ官吏ノ權限
ヲ超エタカ超エナイカト云フノテアルカラ或場合ニハ行政官廳、
或場合ニハ行政裁判所トカ斯ウ云フ風ニ專門ノ處ニ持テ往カネバ
ナルマイト思ヒマスソレデ私ノ今申上ゲタコトモ矢張り自分ニモ
能ク分ラナイ

梅 謙次郎君 此問題ハ餘程重大ナ問題デモアリ且ツ餘程困難ナ問
題デアル私共ハ平生少シモ調べテモ居ラヌシ又此問題ガ参リマシ
テカラ調べルト宜カツタノデスガ色々ナ用事ガアツテ其時モナカ
ツタノデ一向調べテ居リマセヌソレデ今日此席ニ参リマシテ専門
家諸君ノ御説ヲ拜聽シタ上デ自分ノ意見ヲ定メヤウト云フ甚ダ無

責任ノヤウニ聞エマスケレドモ詰リ外ニ致方ガナカツタ實ハサウ
云フ考ヘデ参ツタ唯今江木君杯カラ段々御論ジニナリマシタ點モ
アリマシタガ是ハ私ノ考ヘマスル所デハ寧ろ手續上ノ問題デ此争
議ト云フモノガ起ツタナラバソレガ先決問題トナツテ事件ハ其儘
ニシテ置クノデアアルカドウデアアルカト云フヤウナコトハソレハ別
問題デアルト思ヒマス唯判決ヲシテ了ツテカラ後トデ矢張りソレ
ヲドウ斯ウスルト云フ方ガ實際便利デアアルカ寧ろ先ヅ手續ヲ中止
シテ置テサウシテ其問題ヲ決シテカラ後ニ司法裁判所ガ判決ヲ下
ス方ガ便利デアアルカト云フコトニナルト思ヒマス私ハ此問題ニ付
テハ先ヅ手續上ノ問題ヲ離レテ論ジヤウト思ヒマス手續上ノ問題
ニナリマスルト唯此問題許リデハナク純然タル權限争議ノ問題ニ
付テモ尙ホ充分ニ研究ヲシナケレバナラヌ權限争議ノ場合ニドウ
云フ手續ヲ踏ムカソレカラ此争議ヲ提起シタ場合デモドウ云フ手

續テ賭ムカト云フ他ノ手續ト牽連シテ居リマスカラ兎ニ角ソレハ別問題ト致シマシテ此處ニ出テ居ル問題はハ實ハ極ク明瞭デアハナイノテアリマス起草委員諸君デアハ能ク明カニナツテ居ルデアリマセウガ吾々素人が見テハ極ク明瞭デアハアリマセヌ「權限ヲ超エ」ト云フ方ハマダ或ハ明カカモ知レマセヌケレドモ「職務上ノ義務ニ違反シタル」ト云フ文字ハ最モ廣イヤウデアリマシテ此内ニ少シモ區別ヲシナイト云フコトニナツタナラバ大變關聯スル所ガ多カラウト思ヒマスノデ私共ノ考ヘデアハ此問題モ大問題デアリ大變六ヶ敷イ問題デアリマスケレドモ此問題ト牽連シテモウ一ツ或ハ是レヨリモモウ一層重大ナ問題、今一層六ヶ敷イ問題ガアリハセヌカト思ヒマス其問題ト之レト併セテ論ジマセヌトキニハドウモ問題ガ明カニナラヌ其問題ト云フノハ何ンデアアルカト申シマスルト先刻カラ例ガ出マスルケレドモ例ヘバ官吏ガ其職務ヲ行フニ

當ツテ官吏トシテノ充分ノ義務ヲ盡サナカツタ即チ職務ノ行ヒ方ガ悪ルカツタト云フコトデア司法裁判所ニ訴ヘルコトガ出來ルモノデアアルカドウカ成程其悪ルカツタ處分ヲ取消シテ呉レトカ無効ヲ宣告シテ呉レトカ云フヤウナコトハ言ヘヌニシテモ例ヘバソレヨリ生シタル損害賠償ノ訴チ官吏ニ對シテ起スコトガ出來ルモノデアアル即チ權限内ノ事デアハアル權限内ノ事デアハアルケレドモ其職務ノ行ヒ方ガ悪ルカツタ職務ニ付テ過失ノアツタト云フ場合ニハ何時モソレチ司法裁判所ニ持テ往ケルモノデアアル斯ウ云フコトデアツタナラバソレハ私ハ所謂行政權ノ獨立ト云フコトハナクナツテ了ウダラウト思フ少クモ日本ノ是迄ノ慣例ニ大ナル變動ヲ來タスデアラウト思ヒマス此問題ハ併ナガラ餘程六ヶ敷イ問題デアツテドウモ憲法ノ明文ヤラ其他ノ法律ノ明文デアハ實ハ明カニナツテ居ラナイ從來ハ私ノ記憶シテ居ル所デアハ官吏ガ職務ノ權限内デアツ

タモノテアレバ縱令其職務ノ行ヒ方ガ悪ルカツタト言ツテモ原則トシテハ司法裁判所ニ訴ヘラレヌ方デアルヤウニ心得テ居リマスソレナラ何カ依リ所ガアルカト言ハレルト別ニ依リ所ハナイ唯ソレハ從來ノ慣習法トデモ言ハウカ他ニ依リ所ハナイ併シ時トシテハ其場合ニ訴訟ヲ許シテ居ル例ヘバ登記官吏ト云フ者ガ其職務ヲ行フニ付テ過失ノアツタ場合ニ矢張り損害賠償ノ責ガアルト云フコトガアルノデス、是ハ私共ハ立法上ニ於テハ至極結構デアツテ或ハ現行ノ不動産登記法ノ規定ヨリモモウ少シ責任ノ範圍ヲ擴メテモ宜カラウト思ヒマスソレハ何ゼカト言ヘバ登記ト云フモノハ財産權ヲ保護スル丈ケノ目的デアル其登記ヲ扱フ者ガ財産權ヲ保護セズシテ却テ財産權ヲ害スルト云フヤウナ場合ニハ即チ其事ヲ司ツテ居ル官吏ニ過失ガアレバ之ヲシテ賠償セシメルト云フコトニナラヌデハ詰リ人民ガ財産上ノ保護ヲ受ケルコトガ出來ヌト云

フ點カラ致シマシテ其場合ニ登記官吏ニ責任ガアルト云フコトニセラレタノハ尤モト思ヒマスガ總テノ官吏ニ對シテソレト同一筆法デ過失ガアレバ直チニ損害賠償ノ責任ガアルト云フコトニナツタナラバ如何デアラウカ私ハドウモソレハ餘程困ルコトニナリハセヌカト思ヒマス併ナガラ若シ一般ニサウ云フ主義ニナツテサウシテ又其主義ハ依リ所ノナイ譯デハ決シテナイ例ヘバ憲法上ニ於テモ別ニサウ云フ場合ニ於テハ訴ヲ起スコトガ出來ヌト云フコトハナイ又行政裁判法ニモ行政裁判所ニ損害賠償ノ訴ヲ起スコトハ出來ヌト云フコトハナイテアラウ又司法裁判所ニ訴ヘルコトモ出來ルトモ出來ヌトモ書イテナイ故ニソレ等ノ問題ガ決セラレマシテ其上デ若シ此司法裁判所ニ繫屬スヘキ事件デスナ、司法裁判所ニ繫屬スヘキ事件其者ノ範圍ガ今申ス通り廣クナルソレ程廣クナラヌデモ稍々其位廣クナルト何ントカ他ノ方法ヲ以テ行政權ノ獨

立チ妨グヌヤウニセヌケレバ實際不便デアリハシナイカト云フ考
ヘチ持テ居ル併シ是迄殆ド實際ノヤウニ思フガ是迄ノ實際デア
ト行政官ガ苟モ權限内デシタノナラバ縱令其爲シタ事柄自身ハ先
ヅ公平ナ目カラ見テ悪ルカツタ仕様ガ悪ルカツタト言ツテモ之ニ
依テ生スル損害ヲ賠償セシムル尙ホ之ニ付テ司法裁判所ニ訴テ起
スコトハ出來ヌモノト云フコトニナツテ居リハシナイカト思ヒマ
ス若シサウ云フコトニナツテ居リマスルト「權限ヲ超エ」ト云フ
方ハ分ツテ居ルガ「職務上ノ義務ニ違反シタル」ト云フ事柄ハ是
レデハ大變廣イヤウニ見エテ居リマスケレドモ此適用ハサウ廣ク
ナイト云フコトニナル若シサウ云フコトニナツタナラバ果シテ原
案ノ「爭議ヲ提起スル」云々ト云フコトガ必要デアルカドウカト
云フコトニナル假リニ私ハ其範圍ニ於テ議論ヲシヤウト思ヒマス
私ガ此席ニ出マストキノ傾キハドウデアツタカト云フト或ハ佛蘭

西法杯カラ自然養成セラレタ頭デ所謂先入主トナルト云フコトガ
アツタカモ知レマセヌケレドモドウモ矢張り斯ウ云フコトハ必要
デアラウ其方法ニ至ツテハ六ヶ敷イケレドモ何カ斯ウ云フモノガ
原則トシテナクテハナルマイ併シ行政裁判所デソレテ決セシメル
或ハ爭議裁判所デ決セシメルト云フコトニ至ツテハ六ヶ敷イ問題
デアル何ゼト云フト横田君ノ言ハレタヤウニ唯専門々々デヤルト
云フ方カラ言フト無論行政裁判所ニ決セシメテケレバナラヌト云
フコトニナルカモ知レマセヌケレドモ其行政裁判所ノ判決ニ司法
裁判所ガ拘束セラルルト云フコトニナルト行政權ト司法權トノ關
係ニ於テ司法權ガ行政權ニ其點ニ於テ負ケルト云フコトニナツテ
面白クナイ、ダカラ理窟ハ立タヌカモ知レマセヌケレトモ便宜上
或ハ權限爭議裁判所ニ持テ往ツタ方ガ宜イデハナイカ政略問題ト
シテ公平ラシクテ其方ニ人ガ服シ易イカラ其方ガ宜クハナイカト

云フ考ヘテ持テ居ツタ、所ガ段々こちらニ來テカラ諸君ノ御意見
ヲ承ツテ見、又自分モ其御意見ヲ承リナガラ考ヘテ見マスルト成
ハ穂積君ノ言ハレルガ如ク是ハ矢張り一旦司法裁判所ノ權限ニ屬
スルモノト極マツタ以上ハ其判決スル事柄ニ牽連シタ問題ニ付テ
此處ニ關フガ如キ權限ヲ超エ又ハ職務上ノ義務ニ違反スルト云フ
ヤウナコトガアツテモ矢張り是ハ司法裁判所デ決セシメテ宜シイ
モノデハアルマイカ、司法權ト行政權ノ獨立ト云フコトハ何ソダ
カあくちたんノヤウニ言フ人ガ幾ラモアリマスケレドモ私共ハ兼
々サウ云フ考ヘハ持テ居ラヌ一体三權分立ト云フヤウナコトハ古
イ説デアルソレハ實際ノ違リ方トシテハ三權分立ト云フモノデナ
クテハ可ケマセヌケレドモソレテ定規トシテ論ズルノハ誤ツテ居
ルト思ヒマス請リ訴權ノ働キト云フモノハ立法權ガ本ニナツテソ
レテ行政權ト司法權デ行ツテ性クノデざれ丈ケガ行政權ニ屬サナ

ケレバナラヌざれ丈ケガ司法權ニ屬サナケレバナラヌト云フコト
ハナイ、ソレダカラ選舉問題ヲ司法裁判所デヤルノハ悪ルイト云
フ人モアルケレドモサウ云フ理窟ハ少シモナイ畢竟司法權ト行政
權ノ獨立ト云フコトハ便宜問題デアル其便宜問題カラ考ヘテ成ル
ベクハ行政權デシタ事ニ司法權ガ味ヲ容レズ又通常裁判所デ決ス
ベキモノデアラナラバソレニハ行政廳ガ味ヲ容レルコトニセヌ方
ガ宜イト云フコトハ一般ニハ言ヘルケレドモドウシテモ是ハ絕對
ニハ性カヌ先刻カラ議論ノアル通り司法裁判所ノ裁判スヘキ事柄
デモ官吏ノ行爲ヲ目的トシテ居ルモノモアリ、ソレカラ司法裁判
所ニ屬セヌト云フコトガ明カナモノデモ即チ所有權ノ問題其他審
察等ニ關スル請リ憲法問題モ決シナケレバナラヌト云フコトニナ
ルノデ其場合ニ先決問題トシテ一方ハ司法裁判所デ決セシメテ他
ノモノヲ行政裁判所デ決セシメルト云フコトハ實ニ煩ハシクテ利

益ハナイト思ヒマスカラ今日ノ所デハ本案ニ對シテ消極說即チ種
續君ノ說ニ御同意チシテ置カウト思ヒマス

一本喜徳郎君 此問題ハ或ハ審キ方ガ少シ明瞭チ缺イテ居ツタカモ
知レマセヌガ梅君ヨリ御話ノアツタ官吏ハどれ丈ケノ過失ニ付テ
賠償ノ責チ負フカト云フ問題ハ是レデ決スルト云フ考ヘデハナカ
ツタノデス詰リ現行法デドウ云フヤウナ解釋ニナルカト云フコト
ハ扱措キマシテ兎ニ角現行法上官吏チシテ若シ或程度ノ職務違反
アレハ賠償ノ責任チ負ハシムルト云フヤウナ場合ニ始メテ此問題
ガ起ルノデアリマスソレデアリマスカラ其見解ハ私モ梅君ノ御說
ニ同意スルカモ知レヌト思フシ又是ハ別論トシテ御考ヘチ願ツテ
宜シイト思ヒマス尙ホ序ニ自分ノ考ヘチ申シテ置キマスガ私ハ先
刺江木君ノ御說チ伺ツタ時ニドウモ其趣意ガ分リ兼ネタノデアリ
マス段々他ノ御方ノ御意見チ伺ツテ見テ或ハ江木君ハ私ガ之レカ

ラ述ベヤウト思フ所ト同ジ御考ヘデハナイカト云フ考ヘチ起シマ
シタソレハドウ云フ事デアルカト云フト行政官ガ行政廳トシテ或
働キチ爲シタ即チ處分チ爲シタト云フヤウナ場合ニハ先刺モ一寸
例ニ舉ゲマシタヤウナ場合ニ付テ見レバ是ハモウ先決問題デハナ
クシテ行政廳ノ處分チ續ヘスベキ裁判チ裁判所ガスルコトハ出來
ナイノデアリマス假令名義ハドウ云フ名義デ出テ來ヤウトモ其求
ムル所ノ判決ガ詰リ行政廳ノ處分チ覆ヘスヤウナ場合ニハ事件其
者ガ本來民事ノ事件デナイ司法裁判所デ裁判チスル事デハナイノ
デアリマスカラ此處ニ關フ争議ト云フノデハナク權限争議ノ原因
ニナルデアラウト思ヒマス又行政廳ノ處分ニ付テ取消シテ吳レト
云フコトヲ求メルノデハナク求メル所ハ賠償ニアツテ行政廳ノ處
分ニ依テ損害チ受ケタト云フヤウナ場合ニハ民事デハナイ行政廳
ノ處分ニ依テ損害チ受ケタト云フコトデアリマスレバ行政裁判所

デ裁判スヘキ事項ノ中ニ掲ゲテアレバ行政裁判所デ裁判スルコト
ニナル例ヘバ土地所有ノ如キハ今日賠償ノ問題マデ行政裁判所デ
裁判セズニ民事裁判所デ裁判スベキコトニナツテ居ルガ性質カラ
言フタナラバ行政裁判所テスベキモノテアルト思ヒマス行政官ガ
行政廳トシテ或ル處分ヲ爲シタ其處分ノ結果トシテ損害ヲ受ケタ
カラ賠償ヲ得タイト云フコトデアレバ是ハ其事件ガ矢張り行政ノ
事件デアル列記事項トシテ行政裁判所デ裁判ヲ受ケル事件デアル
ヤ否ヤハ分リマセヌケレドモ兎ニ角若シ訴訟ヲ許セバ行政裁判所
ニ訴フベキ事柄テアルサウシテ見レバ或場合ニ於テ官吏ガ其職權
ヲ超エテ即チ一個人トシテ或行爲ヲ爲シタガ爲ノニ自分ハ損害ヲ
受ケタノテアル斯ウ云フ事ヲ主張シテ往キマシテモ處分其者ガ存
在シテ備イテ行キマヌル以上ハ詰リ其處分ニ依テ生ジタ所ノ損害
デアルト云フコトニ歸着シハシナイカ、サウスレバ此場合ニ於テ

ハ爭議ト云フ手續ニ依ラズシテ權限爭議ノ手續ニ依テ司法裁判所
ハ其事件ヲ裁判スルコトガ出來ヌト云フコトヲ主張スルコトガ出
來ハシナイカト思ヒマスサウ致シマスレバ尙更ラ爭議ノ手續ハ餘
リ實ニ於テ必要ノナイ事柄ニナル又先刻追々例ノ出マシタヤウナ
處分ト目スルコトノ出來ナイ單ニ官廳ノ名デ報告シタヤウナ事柄
ニ付テハソレニ依テ損害ヲ受ケタト云フコトヲ言フノガ抑モ間違
ヒデハナイカト思ヒマス損害ヲ受ケタト云フ以上ハ何カ其報告ニ
基イテ或ハ殊ニ公示セラレタト云フコトデナケレバナラヌ公示セ
ラレタナラバ矢張り處分ニナリハシナイカト思ヒマスサウスレハ
行政裁判所デ裁判スヘキモノテアル又公示セラレナケレバ損害賠
償ノ事實ガ生ジナイサウ云フコトニ解釋シテ往キマシタナラバ益
々爭議ト云フコトハ必要ガナイコトニナリハシナイカト思ヒマス
其他先刻部會ノ經過トシテ御報道致シマシタコトヤ總務君ノ御意

見杯カラ段々考へテ見マズレバ別ニ他言ヲ要シマセヌ唯江木君ノ御意見ハサウ云フ御意見デアリハシナイカト氣付キマシタカラ一言申シテ置キマス

長谷川 喬君 モウ段々採決ニナリマセウガ私ハドウモ確定シタル意見ハアリマセヌケレドモごちらニ立ツカト云フコトヲ明カニスル爲ノニ一言申シテ置キタイソレハドウカト云フト行政裁判所ト云フモノガ設ケテアル以上ハ性質上カラ言フタナラバ矢張り積極論ノ方ガ正シイ即チ都筑君ノ言ハレル方ガ宜カラウト思ヒマス然ルニ便宜上ハドウテアルカト云フニ至ツテハ甚ダ疑ツテ居ル先ツ大体ハ其便宜モ比較シタ所デゴツちニシタガ宜イカト云フニ行政裁判所ニヤラセル方ガ宜カラウト思フノデスガ後ニ都筑君ノ言ハレタヤウニ事實ト云フモノチ何處デ調ベルカ茲ニ至ツテ又大ニ不便デアリハシナイカト云フコトヲ考へタ其事實チモ行政裁判所デ

調ベルト云フコトデアルナラバ不便ハ少クナルケレトモ若シ或行爲チシタカドウカト云フコトハ司法裁判所デ調ベソレカラ其行爲ガ権限内デアルカ権限外デアルカト云フコトハ行政裁判所デ調ベル斯ウ云フコトニナルト事實ノ有無ニ付テハ通常一審二審ト二ツノ裁判ヲ受ケルコトガ出來ルノニ或ハ一ツシカ受ケラレヌヤウナ結果チ生ジハシナイカ又二ツノ裁判ヲ受ケテソレカラ行政裁判所ノ判決ト云フモノヲ受ケルコトニナルノテアルカ、ソレ等ノ手續チ考へテ見ルト隨分手續上ニ不便ガアリハシナイカト思ヒマスサウシテ見レバ實際上格別ノ妨グモナイ以上ハ命令性質ハ行政裁判所ニ屬スルモノトシテモ便宜上司法裁判所ニヤラセタ方ガ宜クハナイカ既ニ性質ガ司法裁判所ニ屬スルモノチバ行政裁判所ニ於テ裁判チシ或ハ其反對ニ行政裁判所ニ屬スルモノチバ司法裁判所ニ於テ裁判チスルト云フ例ノアルコトモ御説明ニナツテ居ル、而已

ナラズ先刻都筑君ハ何ンデモ彼デモ損害賠償ナラバ總テ民事裁判所ノ管轄デアルト云フガ如キ御答ヘニナツタ斯ノ如キ解釋デアツタナラバ大ニ又恐レナケレバナラヌ御デアリマスガドウモ此項ノ判決例ハ恐ラクソレ程迄ニナツテハ居ルマイト思ヒマスカラソレデ私ハ便宜上司法裁判所ノ方ニ屬スルト云フコトヲバ贊成スル積リテアリマス

江木 東君 一寸都筑君ニ御尋ネテシタイ例ヘバ損害賠償ノ形チデ司法裁判所ニ訴ヘルサウシテ裁判所ガ調ベテ其事實ハ確定シテ居ル行政廳ハ行政官吏ノ職權内ナルコトヲ認メルケレドモ司法裁判所デソレハ職權内デナイト言ツテ損害賠償ヲ言渡シタ其時ニハ私ノ考ヘデハ矢張權限爭議チヤラセルコトガ出來ルモノト考ヘル、ト云フノハ職權内ト云フコトデアルナラバ行政廳ハ矢張り行政官吏ノ行爲ト之ヲ見ナケレバナラヌ即チ行政權ガ其行爲ヲ許シテ居

ルト見ナケレバナラヌソレニ對シテ司法裁判所ガ損害賠償ヲ命スルト云フコトニナレバ全ク權限ニ屬シテ居ルモノテアツテ此問題ハ先決問題ノ如クアルケレドモ矢張り權限爭議デヤラレルト云フ考ヘテアリマス、シテ見ルト權限爭議ニ付テノ問題デ此場合ニサウ云フモノチ別種ノモノトシテ先決問題ノ起ツタトキニハ直グ爭議ヲ提起スルト云フヤウナ特別ナル方法ヲ用キズシテ權限爭議デ防イデ宜カラウト思フ私ハ先決問題トシテ權限爭議ヨリ別ニ斯ウ云フモノチ一ツ置クト云フコトニナルト此案ニハ反對チシナケレバナラヌコトニナル

都筑君六君 一ツ江木サンニ御考ヘテ願ヒタイノハ獨逸ノ訴訟法ノ立テ方ト云フモノガ日本ノ訴訟法ノ立テ方ト同ジコトデアルサウシテ權限爭議ノ規定ト云フモノモ日本デ今起草シツツアル權限爭議ノ規定ト同ジコトデアアル即チ事件ノ性質如何ニ依テ權限爭議チ

起スコトが出来ルコトニナツテ居ルニ拘ハラズ其上ニ斯ウ云フ制
度が大ニ不必要トシテ攻撃ヲ受ケタニ拘ハラズ矢張り存シテ居ル
何ゼナラバサウ云フ場合ニ於テ理由ガ行政官ガ職權ヲ超エタカラ
ト云フ理由デアツテモ要求其者ノ性質ガ民事デアル以上ハ權限爭
議ヲ起セヌカラコソ斯ウ云フ制度ガ同ジ訴訟法ノ仕組ミデアリナ
ガラ存シテ居ル長谷川サンノ御論モアリマシタガ儘ニ園田ガ被告
ト爲ツタ場合ニハ妨斷ノ抗辯ガ成立タナカツタ、無論賠償ノ義務
ハ生ジマセヌデアリマシタカラ要求ハ立タナカツタケレドモ兎ニ
角本案ニ立入ツテ民事トシテ之ヲ審理シナケレバナラナイ、ソレ
カラ一寸一ツ梅サンニ御考ヘテ願ヒタイノハ此問題ノ審キ方ハ成
程細カク論ズレバ恐ルイノデアリマスガ先刻一本サンカラ述べラ
レタヤウニ官吏ガ總テ違法ノ行爲ヲ爲シタ場合ニ於テ官廳ノ資格
ヲ脱シテ爲シタカト云フト決シテサウテハナイ官吏ノシタ行爲ノ

中デ職權ヲ超エテ居ツテモ尙ホ官廳ノ保護ノ下ニ立ツテ爲ス場合
ガ幾ラモアル職權内デアツテモ間違ツテヤル場合モアル轉意デヤ
ル場合ガアル即チ懲戒ノ責任ノ範圍内ニ於テ權限ヲ超エテヤルコ
トガアル併ナガラアツテモサウ云フノハ必ズシモ官吏其者ノ資格
ヲ脱シテヤツタ行爲ト見ナイカラコソ固ヨリ違法ノ處分チスル職
權ト云フモノハアリヤウカナイ違法ノ處分チスル職權ハナイニ拘
ハラズサウ云フ場合ニ於テハ總テ矢張り職權カラ出テ來タ事柄ト
シテ行政ノ手續ニ依テ救濟ヲ求メテ居ル是ハ官吏ガ被告トナツタ
場合ニ於テ其原告トナツタ方ハ官吏ノ資格ヲ脱シタ程ニ違法ノ處
分ト見テ居ル場合丈ケテ指シタ積リテアルノテス

小松原英太郎君 私ハ都筑君ニ賛成デスガモウ大抵論ガ盡キテ居ル
ヤウテスカラ採決ニナツテハ如何デアリマスカ

道家 齊君 私モ都筑君ノ説ニ大体賛成デアリマス別ニ詳細ナ理由

ヲ述ベル必要ハナイノデアリマスガ唯併ナガラ都筑君ト少シ違ヒ
マスルノハ私モ矢張り是ハ争議ヲ起サセルノガ宜シイデアリマス
ルガ争議ヲ起サセル以上ハ行政裁判所ニ持テ往ツテ事實ノ審査ヲ
サスヘキモノデアルト思ヒマス既ニ行政裁判所ガ設置セラレテサ
ウシテ種々ノ行政ニ關スル事項ト云フモノノ審査ヲ許シテ判決ヲ
下サセルト以上ハソレヘ持テ往ツテ事實ノ審査ヲサセルト云フコ
トハ實際煩雜デモナケレバ又充分ニ審査ハ出來ルモノデアルト思
ヒマスカラ矢張り審査ハ行政裁判所ニ持テ往ツテサセルト云フコ
トニシテサウシテ都筑君ニ私ハ賛成ヲ致シマス

議長(三浦 安君) 大概御論ハ盡キタヤウニ思ヒマスガ

江木 衷君 私ハマダ議論ガ充分ニ盡キタトハ思ハナイ現ニ手續ハ
ドウ云フコトニスルガ宜イト云フ手續上ノ成算ガナクテ之ヲ決ス
ルト云フコトハ宜シクナイ手續ハドウスルカソレヲ決シテ案ヲ立

テナケレハナラヌ然ルニ其手續モ充分ニ出來テ居ラヌシ又事實ノ
點モ矢張り司法裁判所デヤルノカ行政裁判所デヤルノカ分ツテ居
ラヌヤウニ考ヘルサウ云フ事ガ此問題ヲ決スルニ付テ重要ナ點ニ
ナツテ來ルソレデ事實ノ審査ノ如キニナリマスルト權限裁判所ハ
ドウ云フモノカ知りマセヌガ今日ノ行政裁判所ノ例デ見マスルト
事實ノ審議ト云フモノハ證據其他ノ事ガ甚ダ不充分デアル通常裁
判所ニ較べルト實ニ驚クノテス、ト云フノハ無理モナイ日本ノ行
政裁判所デ裁判スル事柄ハ全國ニ關聯シテ居ル例ヘバ官有地民有
地ノ區分ニ付テ争ヒノ起ツタ場合ニ實地ノ調査ガ充分ニ出來ルヤ
否ヤ其處ヘ核ガ立ツテ居ルカラソレヲ行ツテ見ナケレバナラヌ私
ノ聞ク所ニ據ルト役人が實地調査ニ行ツテ山ノ上ニ登ツテ向フノ
方ヲ雙眼鏡デ見テ宜シキト云フ御論ヘリニナツタト云フコト
デアルサウ云フヤウナ事ガアル實際事實ノ調べト云フモノハ今日

ノ行政裁判所デ出来ルモノデナイ、サウ云フ譯デアルカラソレ等
ノ點ガ極マツテ居ラヌト困ル鬼ニ角純然タル權限爭議ノ方ニ入レ
ルコトノ出来ルモノハ入レタイト思ヒマスガ場合チ廣クシテ一種
ノ制度チ設ケルト云フコトハ實際ソレ程ノ利益ハナイヤウニ考ヘ
ル

小松原英太郎君 江木君、大体私ハ爭議チ許スカ許サヌカト云フ方
デ決チ採ツテ貰ツタラ宜カラウト思フガドウデスカ

都筑馨六君 事實ノ調査ノ困難ト云フコトハ孰レノ場合ニ於テモ同
ジヤウナコトデアルト思ヒマスケレドモ眞逆ニ權限爭議ノ場合ニ
於テハ事實ノ調査チサセヌト云フ御論ハアルマイト思フ

村田 保君 採決チ願ヒマス

議長（三浦 安君） 起草委員ニ御相談チ致シマスガ梅君ノ如ク別
ノ問題チ入レナケレバナラヌト云フ御意見モアルソレチ取捨シテ

モウ一週之チ御修正ニナルト云フ御考ヘテアリマスカ

一本喜徳郎君 梅君ノハ私ノ承ツタ所デハ問題チ修正シナケレバナ
ラヌト云フ御意見デハナカツタト思ヒマス此案ニ對シテ各々考ヘ
チ極ノルニ付テハ職務上ノ義務ニ違反スルト云フコトハざれ迄ニ
往ケバ賠償ノ責任ガ生スルカ或ハ刑事上ノ責任ガ生ズルカソレハ
銘々腹ノ中デ極ノテ居ラナケレバナラヌノテスガ梅君ノハ此問題
チ修正スルト云フノデハナカツタト思ヒマスソレデ矢張り此形チ
デ直グ決チ御採リニナツテ差支ナカラウト思ヒマス

議長（三浦 安君） ソレデハ決チ採リマス手續上ノ事ハ後トデ極
ノルトシテ鬼ニ角今ハ爭議チ提起スルコトチ得セシムヘキヤ否ヤ
ト云フコト丈ケデ決チ採ラウト思ヒマスガ御異議ハアリマセヌカ
小松原英太郎君 ソレデ宜イテセウ

村田 保君 ソレテハドウカ決チ願ヒマス

議長（三浦 安君） 決ヲ採リマスガ決ノ採リヤウハ手續上ニ付テ
 ハ種々御意見モアリマスガ先ヅ行政廳ヲシテ争議ヲ提起スルコト
 ナ得セシムルカ得セシメヌカト云フ大体上デ決ヲ採リマス然ラバ
 此際行政廳ヲシテ争議ヲ提起スルコトヲ得セシムルト云フ説ニ贊
 成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少数

議長（三浦 安君） 少数、然ラバ争議ヲ提起スルコトヲ得セシム
 ルヲ否トスル方ニ贊成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多数

議長（三浦 安君） 多数、ソレデハ此案ハ否決シマス今日ハ是レ
 デ散會

午後五時五十五分 散會

昭和十二年九月十四日寫了司法省法律調査會藏書

日本學術振興會

